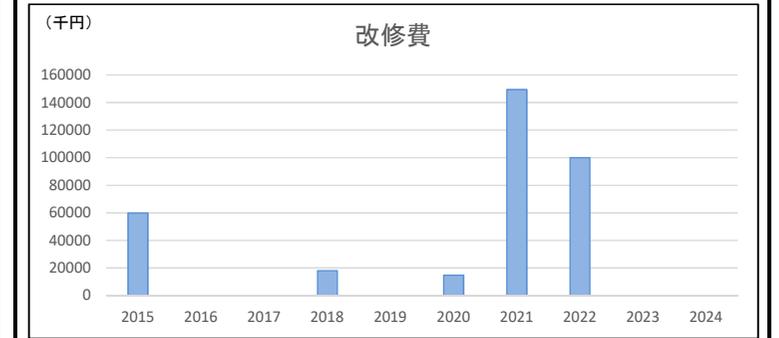


リストNo	04-001	施設コード	00017	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	アクトシティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)			
所在(町名・番地)	中央区中央三丁目9-1			
利用者の圏域別分類等	広域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	市民部創造都市・文化振興課			
所管課	市民部創造都市・文化振興課			
設置根拠(法)				
条例	アクトシティ浜松条例 浜松市楽器博物館条例			
設置目的	楽器に関する知識を広め、音楽文化の向上に寄与するため(浜松市楽器博物館条例第1条)			
主な利用者	浜松市内に限らず全国から来館があり、年齢層も幼児から高齢者まで幅が広い。			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2025/04/01 ~			
管理者名	(公財)浜松市文化振興財団			
開館時間	09:30~17:00			
土地情報	土地面積	5,920.54 m ²	総延床面積	0.00 m ²
	うち所有面積	5,920.54 m ²	構造(主要建物)	
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	0
代表地目(現況地目)	宅地		耐震性能(I _{se} 値)(主要建物)	新
用途地域	商業地域		耐震工事(主要建物)	-
立地適正化計画	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1994/8/23
	都市機能誘導区域	-	経過年数(主要建物)	30
	居住誘導区域	-		
防災情報	土砂災害警戒区域※	○	身障者用駐車場	○
	浸水エリアの場合の浸水深		車イスでの施設利用	○
	洪水ハザードマップ※	1m~3m	エレベーター	○
	南海トラフ巨大地震津波※		多機能トイレ	○
緊急避難場所		太陽光発電		
避難所		ZEBの種類		
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。 収入、支出、及び利用状況の一部は「00015アクトシティ浜松Aゾーン」に計上			



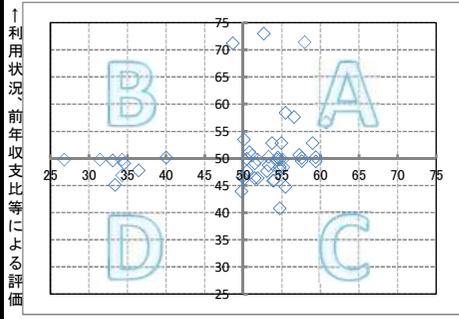
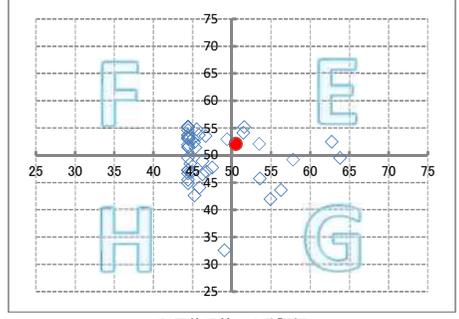
項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	42,834	36,537	31,038
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	6,430	6,475	16,714
	収入計(A)	49,264	43,012	47,752
	人件費	57,755	52,744	51,182
支出(千円)	物件費(委託料)	1,436	1,328	1,695
	維持補修費(修繕費)	171	159	53
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	59,362	54,231	52,930
行政コスト(B-A)	10,098	11,219	5,178	
収支前年比	90.01	216.67	20.63	
(参考)指定管理料	40,264	48,207	40,264	
(参考)減価償却費	0	0	0	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,169,654	879,133	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	-	-	-	
財源	国・県	-	-	-
	寄付金	-	-	-
	その他	-	-	-
	市債	-	-	-
	一般財源	-	-	-

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	空調自動制御機器更新工事	100,100			
2021	A・C・Dゾーン給水・消火設備弁類等更新工事	92,848			
2021	Dゾーン空調調和機整備工事(4期工事)	56,540			
2020	展示イベントホール及び音楽工房ホール音響設備更新工事	14,741			
2018	楽器博物館天窓改修工事	6,134			
2018	Dゾーンエレベーター更新工事	11,891			
2015	楽器博物館機能強化・リニューアル改修工事	59,706			
2014	Dゾーンエレベーター改修工事	21,098			



近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
04-009	浜松科学館	市域	0.2	
04-014	浜松復興記念館	地域	1.1	
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	1.3	
04-002	浜松城公園天守閣	広域	1.4	
04-007	美術館	市域	1.5	
04-012	茶室「松韻亭」	地域	1.6	
同分類	12-001	アクトシティ浜松Cゾーン(展示イベントホール)	広域	0.1
	19-002	観光バス公共駐車場	地域	0.1
	09-005	中央保健福祉センター(いきいきプラザ中央)	地域	0.2
	10-001	ふれあい交流センターいたや(いきいきプラザ中央)	地域	0.2
	19-001	駅北駐車場	地域	0.2
	11-002	子育て情報センター	市域	0.3
	08-001	なのはな保育園	生活	0.3
	03-001	アクトシティ浜松Aゾーン(大ホール・中ホール・コングレスセンター)	広域	0.3

基本情報	リストNo	04-001	施設コード	00017	主管課	市民部創造都市・文化振興課			
	施設名	アクトシティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)			所管課	市民部創造都市・文化振興課			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	音楽のあふれるまちづくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		楽器に関する知識を広め、音楽文化の向上に寄与するため(浜松市楽器博物館条例第1条)							
		主な業務内容	音楽資料(楽器、楽譜、音楽史等に関する資料)の収集・保管・展示、専門的・技術的な調査研究、講演会・講座等の開催						
		主な利用者	浜松市内に限らず全国から来館があり、年齢層も幼児から高齢者まで幅が広い。						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		幅広い年齢層が利用する施設として一定のニーズが見込まれる。						
	特記事項		数々の企画展を開催し、好評を得ている。						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		①企画展「響き渡る 日本にやってきたラッパ」		2024	—	—	70,872		
		②特別展「フォルテピアノの芸術 音楽の都ウィーン」の19世紀」		2023	—	—	61,641		
		③企画展「海をわたった楽器たち ～多彩な文化の地ラテンアメリカの旅」		2022	—	—	59,985		
				2024	—	—	995		
事業②		ミュージアムサロン(通年開催・計7回)		2023	—	—	876		
				2022	—	—	892		
				2024	—	—	681		
事業③		レクチャーコンサート(計3回)		2023	—	—	516		
				2022	—	—	359		
			2024	—	—	—			
事業④			2023	0	0	0			
			2022	—	—	—			
			2024	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	86,245	75,367	64,361	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	332	332	333	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	—	—	—	1人当たりのコスト(円)	117	149	80	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	30,416	33,792	15,550	
	1日当たり利用者(人)	260	227	193	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考									

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)		
					
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>					
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>					
<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>					
施設に関する課題等(ハード面から)					
課題	経年劣化による施設設備の損傷・故障等が発生している。一定規模の修繕については指定管理者負担で行ってもらっているものの、大規模な改修や設備更新については市で実施する必要がある。				
対応策	平成23年度に中長期計画、平成27年度に平成28年度から平成32年度までの5年間の短期計画、令和元年度に令和3年度から令和12年度までの10年間の計画、令和2年度に建築後80年までの長期修繕計画を作成し、計画的に改修等を行うとともに、突発的な緊急修繕にも対応していく。				
今後の方針					
見直し方針	方向性	該当	備考欄		
	廃止	—	—		
	民間移管	—	—		
	管理主体変更	—	—		
	非保有	—	—		
	統廃合	—	—		
複合化	—	—			
広域化	—	—			
民活導入	展示の更新やソフト事業の企画・運営などについて、民間活力を活用していく。				
個別方針	民間との複合施設であり、適切な維持管理に努める。				

リストNo	04-002	施設コード	02380	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	浜松城公園天守閣			
所在(町名・番地)	中央区元城町			
利用者の圏域別分類等	広域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	都市整備部公園管理事務所			
所管課	都市整備部公園管理事務所			
設置根拠(法)	都市公園法			
条例	浜松市都市公園条例			
設置目的	都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること(都市公園法第1条)			
主な利用者	一般等			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2025/04/01 ~			
管理者名	遠鉄アシスト㈱			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	0.00 m ²	総延床面積	311.27 m ²
	うち所有面積	0.00 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	3
用途地域	代表地目(現況地目)		耐震性能(Ia値)(主要建物)	0.68
	誘導施設		耐震工事(主要建物)	-
	都市機能誘導区域	-	建築年月日(主要建物)	1958/4/26
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	67
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	○
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用	
特記事項	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	
	緊急避難場所		多機能トイレ	
	避難所		太陽光発電	
			ZEBの種類	

※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。
維持管理経費は、NO.17-24に一括計上。



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
	行政コスト(B-A)	0	0	0
	収支前年比	—	—	—
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	0	0	0
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	—	—	—
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	外装改修工事	52,406			



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-007	美術館	市域	0.1
04-012	茶室「松韻亭」	地域	0.4
04-014	浜松復興記念館	地域	0.6
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	0.8
04-013	犀ヶ崖資料館	地域	1.0
04-001	アクトシティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)	広域	1.4
04-015	賀茂真淵記念館	地域	1.5
04-009	浜松科学館	市域	1.6
01-001	本庁舎	市域	0.2
15-097	浜松中部学園(中部小学校・中学校)	生活	0.2
06-001	中央図書館	市域	0.2
07-011	中部学園放課後児童会	生活	0.3
14-028	浜松第1分団	コミュニティ	0.4
14-002	消防局・中消防署	市域	0.5
01-003	元目分庁舎	市域	0.5
07-010	広沢子育て支援ひろば	生活	0.6

基本情報	リストNo	04-002	施設コード	02380	主管課	都市整備部公園管理事務所			
	施設名	浜松城公園天守閣			所管課	都市整備部公園管理事務所			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	都市公園・緑地の整備							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること(都市公園法第1条)							
		主な業務内容	展示業務、自主事業						
		主な利用者	一般等						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		利用者の多くが一般利用者であり、ニーズに大きな変化はないと考える。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—			2024	0	0	0	
		—			2023	—	—	—	
		—			2022	—	—	—	
		—			2024	0	0	0	
事業②		—			2023	—	—	—	
		—			2022	—	—	—	
		—			2024	0	0	0	
事業③		—			2023	—	—	—	
		—			2022	—	—	—	
		—			2024	0	0	0	
事業④		—			2023	—	—	—	
		—			2022	—	—	—	
	—			2024	0	0	0		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	418,104	218,743	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	362	362	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	0	0	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	0	0	
	1日当たり利用者(人)	—	1,155	604	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

↑利用状況、前年収支比率等による評価 ← 前年収支比率、施設1あたりの市食採額等による評価

【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】

A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】

E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	天守閣は、昭和33年に鉄筋コンクリート造で再建され57年が経過。平成19年度実施の耐震診断では、耐震改修促進法に基づく構造耐震指標であるIs値が0.68。静岡県での判定基準では耐震性能がやや劣る建物で倒壊する危険性は低いがかなりの被害を受けることも想定される建築物と判定。耐震補強基準を満たすための耐震補強等が必要となる。
対応策	浜松城天守閣は、市のシンボルであり、年間約20万人の方々にご来場いただいている。今後、天守閣としての魅力を損なわないよう、展示スペースの確保などの課題を見据え、耐震補強等の方向性を検討する。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	
	民間移管	—	
	管理主体変更	—	
	非保有	—	
	統廃合	—	
	複合化	—	
	広域化	—	

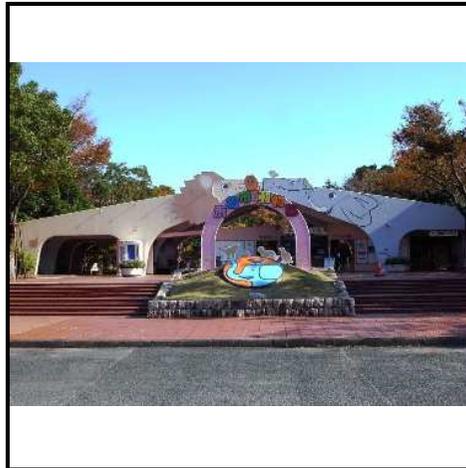
民活導入

指定管理者制度導入施設であり、ニーズにあった自主事業の展開など、公園としての公用発揮、有効活用の推進に努める。

個別方針

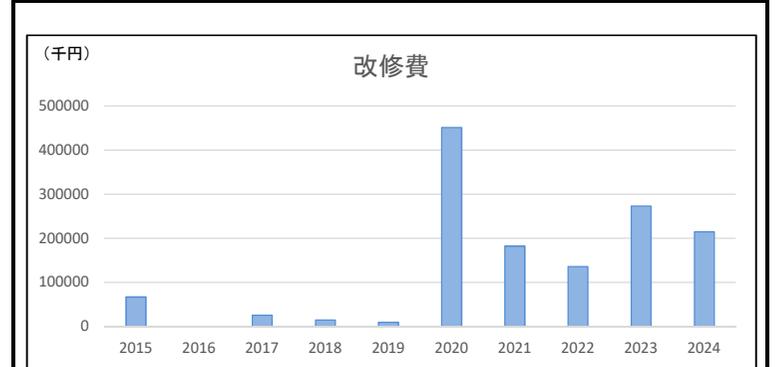
当面適切な維持管理に努める。

リストNo	04-003	施設コード	02339	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	動物園			
所在(町名・番地)	中央区館山寺町199			
利用者の圏域別分類等	広域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	公園	
主管課	都市整備部動物園			
所管課	都市整備部動物園			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	実際に見ることで、動作や色、声などそれぞれの動物が持つ様々な特徴を知ってもらい、動物が置かれている環境やいのちの大切さなどについて、学習する場を提供する。 また、動物園としては、飼育動物の種の保存をはじめ、園内で快適に暮らせるよう飼育を通して生態の調査、研究を行う。			
主な利用者	市民全般、観光客			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	09:00～16:30			
土地情報	土地面積	217,753.02 m ²	総延床面積	10,817.96 m ²
	うち所有面積	133,361.02 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造
	うち借地面積	84,392.00 m ²	地上階数(主要建物)	1
代表地目(現況地目)	山林		耐震性能(1a値)(主要建物)	新
用途地域	市街化調整区域		耐震工事(主要建物)	-
立地適正化計画	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1983/1/1
	都市機能誘導区域	-	経過年数(主要建物)	42
	居住誘導区域	-		
防災情報	土砂災害警戒区域※	○	身障者用駐車場	○
	浸水エリアの場合の浸水深		車イスでの施設利用	○
	洪水ハザードマップ※		エレベーター	
	南海トラフ巨大地震津波※		多機能トイレ	○
緊急避難場所		脱炭素	太陽光発電	
避難所			ZEBの種類	
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。			



項目	2024	2023	2022	
収入(千円)	使用料・手数料	62,323	64,936	62,888
	国県支出金	959	959	959
	その他収入	5,222	1,660	2,820
	収入計(A)	68,504	67,555	66,667
支出(千円)	人件費	222,800	230,400	230,400
	物件費(委託料)	26,749	25,561	24,069
	物件費(光熱水費)	38,996	34,390	39,221
	物件費(借地料)	13,909	13,909	13,917
支出計(B)	307,823	313,160	324,279	
行政コスト(B-A)	239,319	245,605	257,612	
収支前年比	97.44	95.34	108.58	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	11,486	12,067	16,643	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	666,845	255,591	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	—	—	—	
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2024	猛禽舎改修工事	214,489	2021	公衆トイレ改築工事(建築工事)	93,470
2023	給排水設備改修工事(3期工事)	252,010	2020	いのちのふれあいゾーン整備工事(建築工事)	229,550
2023	園内外灯更新工事	20,907	2020	いのちのふれあいゾーン整備工事(電気設備工事)	55,402
2022	給排水設備改修工事(3期工事)	110,990	2020	いのちのふれあいゾーン整備工事(機械設備工事)	86,187
2022	電気設備屋根改修工事	14,330	2020	いのちのふれあいゾーン第3期整備工事	22,701
2022	園路舗装整備工事	10,589	2020	いのちのふれあいゾーン第2期整備工事	17,534
2021	給排水設備改修工事(2期工事)2工区	48,389	2020	汚水処理施設改修工事	9,570
2021	汚水処理施設改修工事	4,070	2020	給排水設備等改修工事(1期電気工事)	13,292
2021	公衆トイレ改築工事(機械設備工事)	28,100	2020	給排水設備等改修工事(1期機械設備工事)	16,964
2021	公衆トイレ改築工事(電気設備工事)	8,289	2019	汚水処理施設・堆肥化設備改修	9,295



近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
04-004	フラワーパーク	広域	0.6	
04-016	館山寺ターミナル事務所	地域	1.3	
04-043	館山寺門前広場・門前通り公共駐車場	小規模等	1.5	
09-004	動物愛護教育センター	市域	0.0	
08-041	北庄内幼稚園	生活	0.4	
25-049	上下水道部西営業所		0.5	
18-012	旧北庄内小学校	地域	0.7	
14-053	浜松第39分団	コミュニティ	0.9	
03-098	平松会館	コミュニティ	1.2	
20-001	平和最終処分場	市域	1.2	
20-008	静ヶ谷排水処理施設	地域	1.5	

基本情報	リストNo	04-003	施設コード	02339	主管課	都市整備部動物園			
	施設名	動物園			所管課	都市整備部動物園			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	動物園再生							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		実際に見ることで、動作や色、声などそれぞれの動物が持つ様々な特徴を知ってもらい、動物が置かれている環境やいのちの大切さなどについて、学習する場を提供する。 また、動物園としては、飼育動物の種の保存をはじめ、園内で快適に暮らせるよう飼育を通して生態の調査、研究を行う。							
		主な業務内容	動物の飼育・展示、						
		主な利用者	市民全般、観光客						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の需要があり、確保されている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化が進んでいるが、教育活動(ふれあい含む)の展開により維持の見込み						
	特記事項		H26. 4月 動物愛護教育センター併設						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		動物の飼育・展示	2024	181,726	—	312,715			
			2023	149,078	0	301,701			
			2022	152,935	—	370,342			
事業②		ナイトZOO	2024	1,059	—	6,588			
			2023	951	0	9,445			
			2022	1,028	—	10,935			
事業③		春の写生大会、秋の写生大会	2024	287	—	613			
			2023	296	0	603			
			2022	254	—	662			
事業④	動物学習教室、職場体験学習	2024	1,646	—	6,032				
		2023	672	0	6,814				
		2022	581	—	5,697				
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	312,715	301,701	370,342	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	361	357	362	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	22,122	22,703	23,813	1人当たりのコスト(円)	765	814	696	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	662,934	687,969	711,635	
	1日当たり利用者(人)	866	845	1,023	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

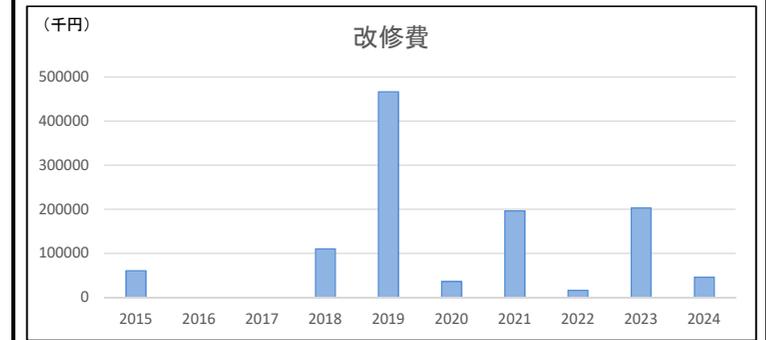
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>	
			供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)
【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】	A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある	【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】	E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	館山寺地区に移転後、40年近く経過しているため、老朽化により改修等が必要な施設が目立つ。また、開園当初から使用している多くの施設は、動物福祉の観点に配慮した造りとなっていない。 園内は起伏が大きく坂道が多いため、小さな子どもや高齢者にとっては、徒歩のみで観覧するには多少負担が大きい。		
対応策	動物園再生計画に取組み、動物学習の場の提供、展示動物種及び方法など東海地区における特色ある動物園づくりを目指す。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	可能な限り、民間活力を導入をするよう検討する。		
個別方針	当面適切な維持管理に努める。明確な方向性を示したうえでリニューアルを検討するとともに、民間活力導入も検討する。		

リストNo	04-004	施設コード	00464		
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設				
施設名	フラワーパーク				
所在(町名・番地)	中央区館山寺町195				
利用者の圏域別分類等	広域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	公園		
主管課	都市整備部緑政課				
所管課	都市整備部緑政課				
設置根拠(法)					
条例	浜松市都市公園条例				
設置目的	花みどり園芸文化の普及や園芸情報発信機能の強化及び浜名湖周辺の地域振興				
主な利用者	市内外住民及び観光客など				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~				
管理者名	(公財)浜松市花みどり振興財団				
開館時間	09:00~17:00				
土地情報	土地面積	148,960.04 m ²	総延床面積	6,377.11 m ²	
	うち所有面積	148,960.04 m ²	構造(主要建物)	鉄骨造	
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1	
代表地目(現況地目)	公園		耐震性能(Ia値)(主要建物)	新	
用途地域	市街化調整区域		耐震工事(主要建物)	-	
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	2003/3/1	
	都市機能誘導区域	-	経過年数(主要建物)	22	
立地適正	居住誘導区域	-			
	防災情報	土砂災害警戒区域※	○	身障者用駐車場	○
		浸水エリアの場合の浸水深		車イスでの施設利用	○
洪水ハザードマップ※			エレベーター	○	
防災情報	南海トラフ巨大地震津波※		多機能トイレ	○	
	緊急避難場所		太陽光発電	○	
	避難所		ZEBの種類		
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



項目	2024	2023	2022	
収入(千円)	使用料・手数料	523,133	255,589	268,393
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	9,610	61,042	25,998
	収入計(A)	532,743	316,631	294,391
支出(千円)	人件費	172,768	163,197	157,171
	物件費(委託料)	62,117	33,879	39,061
	維持補修費(修繕費)	15,129	35,430	11,392
	物件費(光熱水費)	23,118	20,947	27,598
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	273,132	253,453	235,222
行政コスト(B-A)	-259,611	-63,178	-59,169	
収支前年比	410.92	106.78	53.67	
(参考)指定管理料	136,200	136,200	136,200	
(参考)減価償却費	39,925	41,498	41,515	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	634,452	477,586	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	-	-	-	
財源	国・県	-	-	-
	寄付金	-	-	-
	その他	-	-	-
	市債	-	-	-
	一般財源	-	-	-

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2024	三角花壇更新工事	32,641	2022	高架水槽解体撤去工事	9,240
2024	大温室温水ボイラー修繕工事	4,994	2022	SL屋根塗装工事	6,969
2024	観覧車機器更新工事	8,580	2021	受変電設備改修工事	46,739
2023	空調熱源設備他更新工事	54,718	2021	浜松総合公園(はままつフラワーパーク)舗装修繕工事	10,771
2023	すみれ橋長寿命化修繕工事	13,285	2021	フラワーパーク東屋新築工事	19,682
2023	駐車場機器更新工事	46,200	2021	浜松総合公園(はままつフラワーパーク)舗装改修工事	12,320
2023	芝生広場北側舗装改修工事	9,281	2021	浜松総合公園(はままつフラワーパーク)ハフ横改修工事	32,230
2023	舗装改修工事	18,798	2021	浜松総合公園(はままつフラワーパーク)井水受水槽更新工事	74,800
2023	園路改良工事	44,658	2020	浜松総合公園(はままつフラワーパーク)園路改修工事	10,825
2023	空調熱源設備改修工事	16,162	2020	令和2年度 フラワーパーク休憩所新築工事	25,408

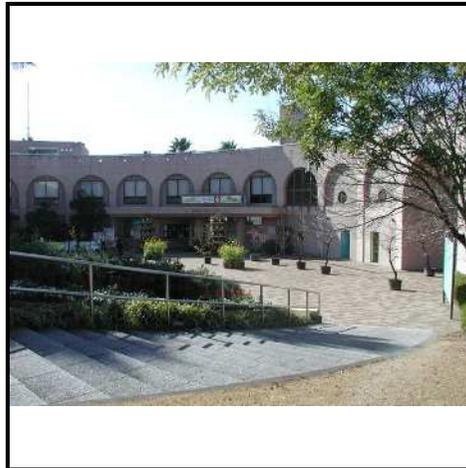


近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
04-003	動物園	広域	0.6	
04-016	館山寺ターミナル事務所	地域	1.7	
同分類				
09-004	動物愛護教育センター	市域	0.6	
25-049	上下水道部西営業所		0.6	
08-041	北庄内幼稚園	生活	0.7	
20-001	平和最終処分場	市域	0.7	
03-098	平松会館	コミュニティ	0.8	
18-012	旧北庄内小学校	地域	0.8	
14-053	浜松第39分団	コミュニティ	0.9	
20-008	静ヶ谷排水処理施設	地域	1.5	

基本情報	リストNo	04-004	施設コード	00464	主管課	都市整備部緑政課			
	施設名	フラワーパーク			所管課	都市整備部緑政課			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	緑化推進・緑地保全							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		花みどり園芸文化の普及や園芸情報発信機能の強化及び浜名湖周辺地域振興							
		主な業務内容	園芸文化の普及						
		主な利用者	市内外住民及び観光客など						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	花博等の開催により、全国的な知名度も高まり、新たな顧客層やリピーターを獲得している。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	浜名湖観光圏を代表する観光施設として定着し、入園者や財政状況が安定している。							
	特記事項								
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		はままつフラワーパークの運営 浜名湖花博2024の開催	2024	840,610	0	670,090			
			2023	585,757	0	394,914			
			2022	—	—	408,881			
			2024	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2024	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
	2024		—	—	—				
事業④	—	2023	—	—	—				
		2022	—	—	—				
		2024	—	—	—				
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	670,090	394,914	408,881	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	356	358	362	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	-40,710	-9,907	-9,278	1人当たりのコスト(円)	-387	-160	-145	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	-729,244	-176,475	-163,450	
	1日当たり利用者(人)	1,882	1,103	1,130	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

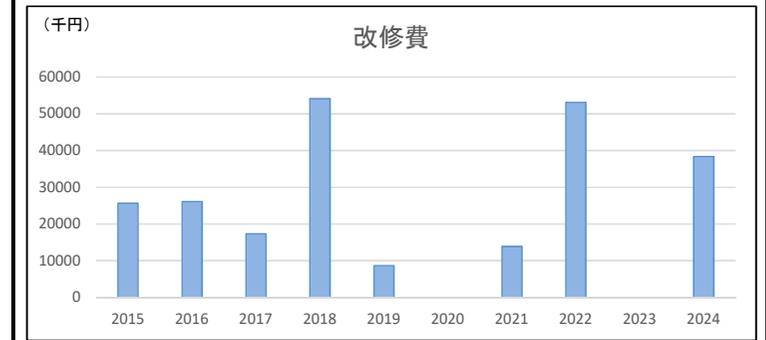
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)	<p>↑利用状況、前年収支比率等による評価</p> <p>→前年収支比率、施設1人当たりの市食料額等による評価</p> <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>	供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	<p>供給状況等による評価→</p>
	<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い</p> <p>B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある</p> <p>C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある</p> <p>D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い</p> <p>F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある</p> <p>G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある</p> <p>H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	指定管理者制度の導入により、フラワーパークの入園者は増加している。安定した入園者を継続して確保するために、魅力を高める施設整備や長寿命化計画に基づく施設改修を進める必要がある。		
対応策	魅力を高める施設整備や老朽化施設の改修を計画的に実施していく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	指定管理者制度を導入し、一定の成果を収めている。また、地域民間企業との連携を深め、多角的に支援や協力を得る活動にも注力し、成果を得ている。		
個別方針	今後も適切な維持管理に努める。施設のリニューアル時には、時代に即した施設のあり方を検討する。		

リストNo	04-005	施設コード	00117	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	フルーツパーク			
所在(町名・番地)	浜名区都田町4263-1			
利用者の圏域別分類等	広域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	産業部農業水産課			
所管課	産業部農業水産課			
設置根拠(法)				
条例	浜松市フルーツパーク条例			
設置目的	果実をはじめとする地域の農産物に親しみ、理解を深めることができる場をつくることにより、農業及びその関連事業の振興を図り、もって地域の活性化に資すること。			
主な利用者	市民			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~			
管理者名	(株)時之栖			
開館時間	09:00~17:00			
土地情報	土地面積	413,968.53 m ²	総延床面積	11,693.65 m ²
	うち所有面積	270,372.53 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート一部鉄骨造
	うち借地面積	143,596.00 m ²	地上階数(主要建物)	3
代表地目(現況地目)	公園		耐震性能(1e値)(主要建物)	新
用途地域	市街化調整区域		耐震工事(主要建物)	-
立地適正化計画	誘導施設	建物情報		
	都市機能誘導区域	-	建築年月日(主要建物)	1996/10/1
	居住誘導区域	-	経過年数(主要建物)	28
防災情報	土砂災害警戒区域※	○	身障者用駐車場	○
	浸水エリアの場合の浸水深		車イスでの施設利用	○
	洪水ハザードマップ※	5m~10m	エレベーター	○
	南海トラフ巨大地震津波※		多機能トイレ	○
緊急避難場所		脱炭素	太陽光発電	
避難所		ZEBの種類		
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。			



項目	2024	2023	2022	
収入(千円)	使用料・手数料	302,938	329,218	323,654
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	437	357	579
	収入計(A)	303,375	329,575	324,233
支出(千円)	人件費	220,547	232,247	196,453
	物件費(委託料)	18,874	18,260	16,805
	物件費(光熱水費)	29,676	25,895	32,387
	物件費(借地利)	16,332	16,332	16,332
支出計(B)	289,457	314,594	324,197	
行政コスト(B-A)	-13,918	-14,981	-36	
収支前年比	92.90	41613.89	0.12	
(参考)指定管理料	103,413	103,413	87,446	
(参考)減価償却費	48,705	58,448	60,382	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,000,555	455,069	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	9,814,922	-	9,814,922	
財源	国・県	459,268	-	459,268
	寄付金	-	-	-
	その他	371,350	-	371,350
	市債	-	-	-
	一般財源	8,984,304	-	8,984,304

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2024	トロピカルドーム等ガラス改修工事	38,368	2016	給水設備及び汚水処理設備改修工事	26,126
2022	自動火災報知設備及び放送設備改修工事	37,950	2015	遊具塗装等改修工事	19,440
2022	温室環境制御装置更新工事(第2期工事)	15,180	2015	放送設備雷害対策工事	6,156
2021	売店空調設備更新工事	13,882	2014	遊具(虹のじゅうたん)ネット張替工事	11,869
2019	温室環境制御装置更新工事	8,690	2014	トロピカルドーム空調設備改修工事	4,336
2018	消防設備復旧及び雷害対策工事	9,962	2014	非常放送設備更新工事	3,888
2018	中央監視装置更新工事	17,820	2011	※静岡県立浜松高等学校(旧)はままつフルーツパーク(旧)管理棟 屋根・フラット改修工事	4,967
2018	光配線等改修工事	16,999			
2018	汚水処理設備改修工事	9,298			
2017	汚水処理設備改修工事	17,344			



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
23-035	滝沢キャンプ場トイレ	小規模等	1.1
12-007	農業バイオセンター	市域	0.9
14-001	消防ヘリポート	広域	1.0
15-108	都田中学校	生活	1.4
14-064	浜松第31分団	コミュニティ	1.7
18-019	大平書庫	地域	1.7
14-087	亀玉分団大平	コミュニティ	1.7
03-053	都田協働センター	生活	1.8

基本情報	リストNo	04-005	施設コード	00117	主管課	産業部農業水産課			
	施設名	フルーツパーク			所管課	産業部農業水産課			
	複合施設	果樹産地活性化特別対策事業場、農林業体験実習館							
施設運営分析	関連政策名	地域資源の保全と活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		果実をはじめとする地域の農産物に親しみ、理解を深めることができる場をつくることにより、農業及びその関連事業の振興を図り、もって地域の活性化に資すること。							
		主な業務内容	施設運営業務、施設維持管理業務						
		主な利用者	市民						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		地域に親しまれる施設として根付いており一定のニーズが継続して見込める						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		果樹収穫体験	2024	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2023	—	—	—	35,810		
			2022	—	—	—	42,224		
			2024	0	0	0	0		
事業②		—	2023	0	0	0	0		
			2022	—	—	—	—		
			2024	0	0	0	0		
事業③		—	2023	0	0	0	0		
			2022	—	—	—	—		
	2024		0	0	0	0			
事業④	—	2023	0	0	0	0			
		2022	—	—	—	—			
		2024	0	0	0	0			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	220,108	226,939	242,399	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	365	365	366	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	-1,190	-1,281	-3	1人当たりのコスト(円)	-63	-66	0	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	-38,132	-41,044	-98	
	1日当たり利用者(人)	603	622	662	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

↑利用状況、前年収支比率等による評価

↑前年収支比率、施設1人当たりの市食料額等による評価

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】

A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】

E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	開園から29年が経過して施設及び設備の老朽化が進み、交換部品のない設備も増えてきていることから、計画的に改修を行っていく必要がある。
対応策	利用者の安全性や施設の運営に与える影響の大きさを考慮して、計画的に改修を行っていく。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	
	民間移管	—	
	管理主体変更	—	
	非保有	—	
	統廃合	—	
	複合化	—	
	広域化	—	

民活導入

指定管理施設として運営しており、指定管理者の行う施設整備や自主事業を積極的に認めることで民間活力を活用していく。

個別方針

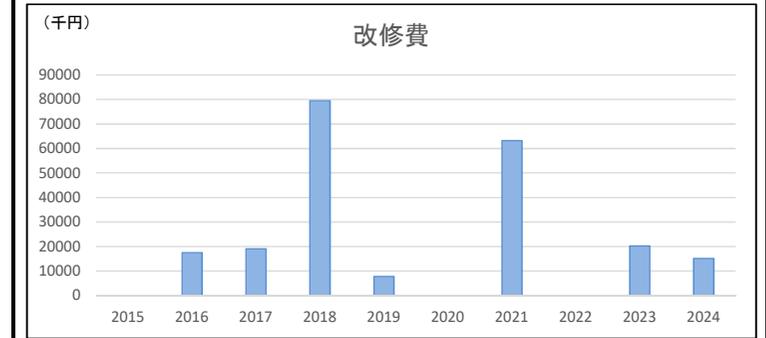
地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、今後の施設のあり方について引き続き検討する。

リストNo	04-006	施設コード	04366	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	国民宿舎奥浜名湖			
所在(町名・番地)	浜名区細江町気賀1023-1			
利用者の圏域別分類等	広域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
所管課	浜名区・北行政センター			
設置根拠(法)				
条例	浜松市国民宿舎奥浜名湖条例			
設置目的	市民の保健休養及び福祉の向上並びに観光の振興を図るため。			
主な利用者	浜松市民、観光客			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2024/04/01 ~			
管理者名	ヤタロー・共同グループ			
開館時間	09:00~21:00			
土地情報	土地面積	4,075.64 m ²	総延床面積	3,143.18 m ²
	うち所有面積	0.00 m ²	構造(主要建物)	鉄骨造
	うち借地面積	4,075.64 m ²	地上階数(主要建物)	4
立地適正化計画	代表地目(現況地目)		耐震性能(1e値)(主要建物)	新
	用途地域	市街化調整区域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	2003/12/13
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	21
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	○
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用	○
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	○
特記事項	緊急避難場所		多機能トイレ	○
	避難所		太陽光発電	
※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	295,747	248,488	187,565
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	17,377	17,162	13,102
	収入計(A)	313,124	265,650	200,667
支出(千円)	人件費	89,216	76,836	53,526
	物件費(委託料)	20,226	16,096	11,165
	物件費(光熱水費)	20,489	17,561	20,198
	物件費(借地料)	1,350	1,350	1,350
	維持補修費(修繕費)	12,369	6,775	5,260
	行政コスト(B-A)	-169,474	-147,032	-109,168
	收支前年比	115.26	134.68	-952.27
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	16,162	16,162	16,162
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	125,393	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	-	-	-
財源	国・県	-	-	-
	寄付金	-	-	-
	その他	-	-	-
	市債	-	-	-
	一般財源	-	-	-

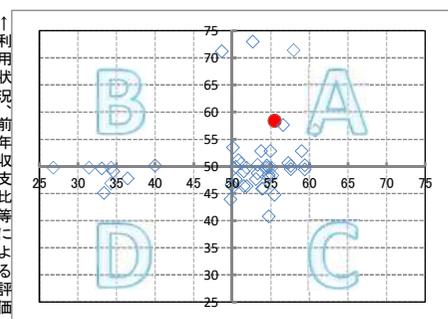
年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2024	市水揚水・加圧給水ポンプ更新工事	15,175	2016	温水設備ろ過設備改修工事	17,496
2023	厨房給排気ファン等更新工事	20,229	2012	3階デッキ天井壁破損修繕工事	4,379
2021	電話設備更新工事	3,630			
2021	共用部エアコン更新工事	59,510			
2019	国民宿舎奥浜名湖客室他屋根改修工事	7,827			
2018	国民宿舎奥浜名湖エレベーター改修工事	3,985			
2018	国民宿舎奥浜名湖浄化槽移転新設工事	69,638			
2018	国民宿舎奥浜名湖ロビー一層上防水改修工事	5,832			
2017	国民宿舎奥浜名湖厨房屋根他防水改修工事	3,750			
2017	国民宿舎奥浜名湖客室エアコン更新工事	15,247			



近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
04-019	姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館	地域	0.1	
04-021	気賀関所	地域	0.5	
04-020	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域	0.6	
同分類				
その他の分類				
15-080	気賀小学校	生活	0.4	
03-013	みをつくし文化センター	地域	0.5	
06-014	細江図書館	地域	0.5	
10-012	細江介護予防センター	地域	0.5	
15-137	細江中学校	生活	0.5	
09-007	細江健康センター	地域	0.5	
01-017	北行政センター	地域	0.5	
08-067	中央幼稚園	生活	0.6	

基本情報	リストNo	04-006	施設コード	04366	主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
	施設名	国民宿舎奥浜名湖			所管課	浜名区・北行政センター			
施設運営分析	関連政策名	魅力ある観光コンテンツ造成による観光誘客の促進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		市民の保健休養及び福祉の向上並びに観光の振興を図るため。							
		主な業務内容	国民宿舎の利用の許可に関する業務、国民宿舎の施設及び設備の維持管理に関する業務						
		主な利用者	浜松市民、観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	市民の保健休養及び福祉の向上並びに観光振興施設として一定の需要が見込まれる。							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2024)				年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	0	0	0	
		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
		—			2024	0	0	0	
事業②		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
		—			2024	0	0	0	
事業③		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
事業④		—			2024	0	0	0	
		—			2023	0	0	0	
—			2022	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	6,273	5,295	4,156	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	11,748	11,451	10,263	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	73,458	65,602	53,080	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	356	347	311	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	110	110	110	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	-53,918	-46,778	-34,732	1人当たりのコスト(円)	-2,307	-2,241	-2,057	
	施設利用率(%)	53.4	46.2	40.5	1開館日当たりのコスト(円)	-476,051	-423,723	-351,023	
	1日当たり利用者(人)	206	189	171	1定員当たりのコスト(円)	-1,540,673	-1,336,655	-992,436	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※利用状況欄の項目「時間数(分)」は「部屋数」を示す								

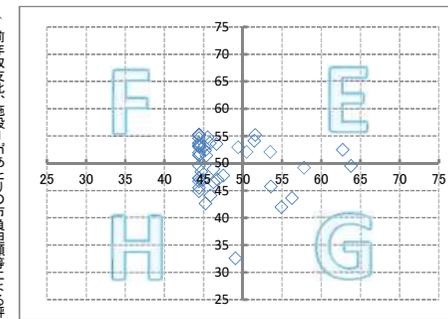
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)



建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)



利用状況等による評価→

↑利用状況、前年収支比率等による評価

←前年収支比率、施設1人当たりの市負担額等による評価

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	施設のリニューアルから15年以上を経過し、経年劣化による施設設備の損傷・故障等が発生している。指定管理者制度導入施設であり、リスク分担に基づいて、一定規模の修繕については、指定管理者において実施しているものの、大規模な改修等は市で実施する必要がある。
対応策	優先度を設定し修繕計画を立て、計画的に修繕を行うとともに、突発的な緊急修繕には事後保全により対応していく。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—

民活導入 平成23年度に指定管理者制度を導入済み。

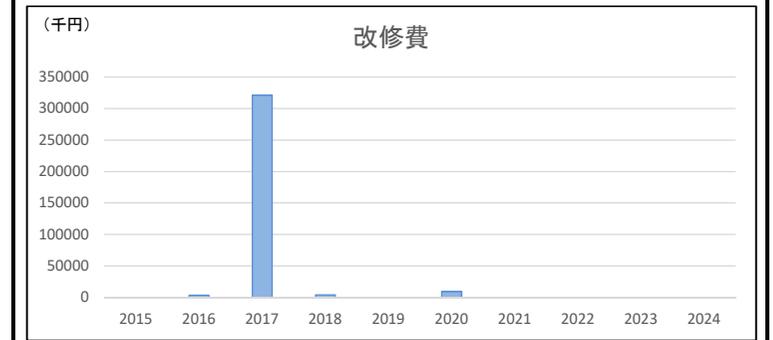
個別方針 現在の運営状況等を踏まえ、当面の間は、現行の指定管理による運営を継続する。
 なお、施設の状況を見て、継続、貸付、廃止など様々な可能性について関係部署と連携し検討していく。

リストNo	04-007	施設コード	02341		
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設				
施設名	美術館				
所在(町名・番地)	中央区松城町100-1				
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
主管課	市民部美術館				
所管課	市民部美術館				
設置根拠(法)	博物館法				
条例	浜松市美術館条例				
設置目的	市民の美術に対する知識及び教養の向上並びに文化の振興に資するため博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき設置(浜松市美術館条例第1条)				
主な利用者	市民(児童・生徒含む)、観光客など				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	09:30～17:00				
土地情報	土地面積	0.00 m ²	総延床面積	2,621.72 m ²	
	うち所有面積	0.00 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	2	
代表地目(現況地目)			耐震性能(I ₆ 値)(主要建物)	1.16	
用途地域	第二種住居地域		耐震工事(主要建物)	-	
立地適正化計画	誘導施設	○		建築年月日(主要建物)	1971/7/1
	都市機能誘導区域	広域サービス型		経過年数(主要建物)	53
	居住誘導区域	○			
防災情報	土砂災害警戒区域※	○		身障者用駐車場	○
	浸水エリアの場合の浸水深	○		車イスでの施設利用	○
	洪水ハザードマップ※	○		エレベーター	○
	南海トラフ巨大地震津波※	○		多機能トイレ	○
緊急避難場所	○		太陽光発電		
避難所	○		ZEBの種類		
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



項目	2024	2023	2022	
収入(千円)	使用料・手数料	4,395	13,447	3,364
	国県支出金	0	0	6,401
	その他収入	13,314	38,508	333
	収入計(A)	17,709	51,955	10,098
支出(千円)	人件費	72,541	69,741	69,907
	物件費(委託料)	11,253	10,534	8,205
	物件費(光熱水費)	18,301	15,440	20,185
	物件費(借地利)	0	0	0
維持補修費(修繕費)	2,158	1,310	2,265	
行政コスト(B-A)	86,544	45,070	90,464	
収支前年比	192.02	49.82	135.40	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	1,253	1,253	1,253	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	37,644	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	250,000	—	250,000
財源	国・県	15,000	—	15,000
	寄付金	100,000	—	100,000
	その他	—	—	—
	市債	50,000	—	50,000
	一般財源	85,000	—	85,000

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	防火扉改修工事	9,638	2012	ハロンガス消火設備更新工事	1,796
2018	チリングユニット防音対策工事	4,104	2011	第二収蔵庫空調設備設置工事	2,583
2017	展示室照明設備改修工事	14,580	2010	トイレ改修工事(建築工事)	9,104
2017	屋上防水改修工事	8,100	2010	トイレ改修工事(機械設備工事)	7,560
2017	施設大規模改修及びトラッキング増設工事(機械設備工事)	124,155	2009	内外装タイル改修工事	16,319
2017	施設大規模改修及びトラッキング増設工事(建築工事)	118,627	2006	空調用自動制御装置改修工事	3,623
2017	施設大規模改修及びトラッキング増設工事(電気設備工事)	55,690			
2016	湯沸し室流し改修工事	1,026			
2016	配線ダクト改修工事	2,376			
2013	地下タンク改修工事	1,596			



近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
04-002	浜松城公園天守閣	広域	0.1	
04-012	茶室「松韻亭」	地域	0.4	
04-014	浜松復興記念館	地域	0.7	
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	0.8	
04-013	犀ヶ崖資料館	地域	1.0	
04-015	賀茂真淵記念館	地域	1.4	
04-001	アクトシティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)	広域	1.5	
04-009	浜松科学館	市域	1.7	
15-097	浜松中部学園(中部小学校・中学校)	生活	0.1	
01-001	本庁舎	市域	0.2	
07-011	中部学園放課後児童会	生活	0.3	
06-001	中央図書館	市域	0.3	
07-010	広沢子育て支援ひろば	生活	0.5	
14-002	消防局・中消防署	市域	0.5	
14-028	浜松第1分団	コミュニティ	0.5	
01-003	元目分庁舎	市域	0.6	

基本情報	リストNo	04-007	施設コード	02341	主管課	市民部美術館		
	施設名	美術館	所管課	市民部美術館				
施設運営分析	関連政策名	市民に愛される美術館						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		市民の美術に対する知識及び教養の向上並びに文化の振興に資するため博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき設置(浜松市美術館条例第1条)						
		主な業務内容	特別展・館藏品展等の開催及び美術品の収集・保存並びに調査・研究、教育普及活動等					
		主な利用者	市民(児童・生徒含む)、観光客など					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		美術鑑賞に対して一定の利用があり需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も美術鑑賞に対する一定の利用が予想される。					
	特記事項		芸術・文化の主要施設として、必要不可欠である。					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		特別展・企画展開催事業 開催日数:178日			2024	46,568	35,000	30,563
		特別展「7人のミュージズ展」			2023	45,200	70,000	70,455
		企画展「浜松ゆかりの洋画展」&「ひっぱりだこ展」「小杉コレクション展」			2022	47,115	55,000	30,945
					2024	2,408	50,000	62,733
事業②		平常展等開催事業 開催日数258日			2023	4,849	15,000	59,036
		「館藏品展」「第72回市展」「子どもの市展」			2022	3,538	25,000	30,936
					2024	0	0	0
事業③		—			2023	0	0	0
					2022	—	—	—
				2024	0	0	0	
事業④	—			2023	0	0	0	
				2022	—	—	—	
				2024	0	0	0	
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	93,296	129,491	78,159	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	258	188	194	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	33,010	17,191	34,506	1人当たりのコスト(円)	928	348	1,157
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	335,442	239,734	466,309
	1日当たり利用者(人)	362	689	403	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>利用状況等による評価→</p>	
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い</p> <p>B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある</p> <p>C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある</p> <p>D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い</p> <p>F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある</p> <p>G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある</p> <p>H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	既存施設は築50年を超えているため、経年劣化による施設・設備の損傷が毎年発生している。長寿命化基本方針に示す目標使用年数80年までに新たな美術館整備方針の検討が必要。		
対応策	既存施設においては当面、長寿命化計画方針に沿った改修を行うとともに、緊急性の高いものから修繕を行う。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
複合化	—	建替えに向けて検討を行う際、複合化の方向性も含めて検討する	
広域化	—	—	—
民活導入	建替えに向けて検討を行う際、PPP/PFI及び指定管理の方向性も含めて検討する		
個別方針	長寿命化計画に沿った改修及び緊急性の高いものからの修繕の実施により、施設・設備の適切な維持管理を行うことで、良好な美術館環境を提供する。		

リストNo	04-008	施設コード	02340	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	博物館			
所在(町名・番地)	中央区蛸塚四丁目22-1			
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	市民部博物館			
所管課	市民部博物館			
設置根拠(法)	博物館法			
条例	浜松市博物館条例			
設置目的	教育、学術及び文化の発展に寄与するため設置(浜松市博物館条例第1条)			
主な利用者	市民、児童生徒、観光客			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	09:00～17:00			
土地情報	土地面積	0.00 m ²	総延床面積	3,197.90 m ²
	うち所有面積	0.00 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	2
代表地目(現況地目)	第一種中高層住居専用地域			
用途地域	誘導施設	建物情報		
	都市機能誘導区域	耐震性能(I _{se} 値)(主要建物)		
	居住誘導区域	耐震工事(主要建物)		
防災情報	土砂災害警戒区域※	建築年月日(主要建物)		
	浸水エリアの場合の浸水深	経過年数(主要建物)		
	洪水ハザードマップ※	身障者用駐車場		
	南海トラフ巨大地震津波※	車イスでの施設利用		
	緊急避難場所	エレベーター		
避難所	多機能トイレ			
脱炭素	太陽光発電			
	ZEBの種類			
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。 蛸塚遺跡(公園)の借地料を含む。			



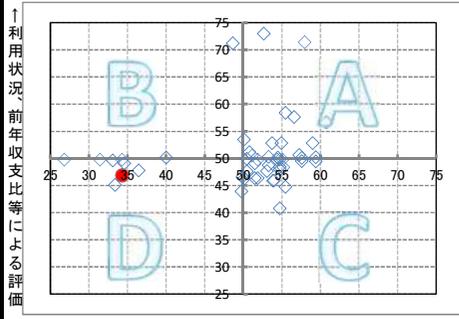
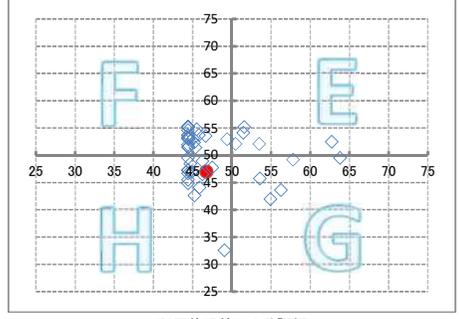
項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	2,743	2,633	3,501
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1,405	1,835	3,211
	収入計(A)	4,148	4,468	6,712
	人件費	86,433	86,077	86,029
支出(千円)	物件費(委託料)	7,936	7,359	6,844
	維持補修費(修繕費)	2,059	1,790	1,519
	物件費(光熱水費)	7,998	7,986	8,781
	物件費(借地料)	4,448	4,448	4,471
	支出計(B)	108,874	107,660	107,644
行政コスト(B-A)	104,726	103,192	100,932	
収支前年比	101.49	102.24	98.30	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	23,539	23,539	23,539	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	117,693	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	867,336	—	867,336
財源	国・県	178,000	—	178,000
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	450,000	—	450,000
	一般財源	239,336	—	239,336

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2024	受変電設備変圧器改修工事	6,050	2010	特別展示室他改修工事	4,174
2023	館内防犯カメラシステム設置工事	4,730	2008	空調設備改修工事(機械設備工事)	24,570
2019	浜松市博物館屋根改修工事	12,338	2008	展示室コンコース空調機更新工事	17,094
2019	令和元年度 浜松市博物館講座室排煙窓改修工事	4,649			
2015	空調熱源設備改修工事	25,920			
2015	正面玄関前広場改修工事	18,058			
2014	体験学習室他空調設備改修工事	10,908			
2013	特別展示室・講座室空調設備改修工事	23,734			
2011	ハロンガス消火設備更新工事	8,610			
2010	常設展示室改修工事	37,779			

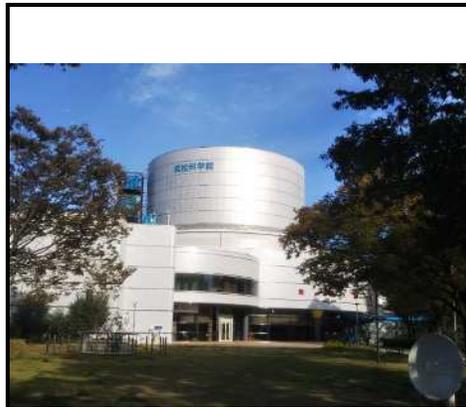


近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
04-031	蛸塚公園	文化財	0.0	
04-032	旧高山家住宅	文化財	0.0	
04-013	犀ヶ崖資料館	地域	1.6	
04-015	賀茂真淵記念館	地域	1.7	
04-007	美術館	市域	1.9	
04-012	茶室「松韻亭」	地域	1.9	
04-002	浜松城公園天守閣	広域	2.0	
16-001	看護専門学校	市域	0.4	
22-001	浜松医療センター	広域	0.4	
15-102	蛸塚中学校	生活	0.5	
13-007	蛸塚団地	地域	0.7	
24-001	鴨江雨水調整池	—	0.8	
15-122	佐鳴台中学校	生活	0.8	
07-013	さなる放課後児童会	生活	0.9	
26-007	御前谷ポンプ場	—	0.9	

基本情報	リストNo	04-008	施設コード	02340	主管課	市民部博物館		
	施設名	博物館	所管課	市民部博物館				
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	多くの人が歴史に接する機会の創出						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		教育、学術及び文化の発展に寄与するため設置(浜松市博物館条例第1条)						
		主な業務内容	市域の文化財の収集保管・展示、歴史情報の調査と公開、歴史体験講座、移動博物館等					
		主な利用者	市民、児童生徒、観光客					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		地域史の検証と歴史文化の継承の場として重要性が高まる。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		地域の歴史文化を創造する中核都市としての役割が増す。					
	特記事項		中核館として地域拠点5館、文化財収蔵庫、公園を管理					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		常設展・テーマ展・特別展開催事業	2024	912	不特定	25,413		
			2023	1,176	不特定	26,239		
			2022	13,203	不特定	31,547		
事業②		講座・体験館等開催事業	2024	1,304	不特定	6,854		
			2023	1,123	不特定	7,612		
			2022	1,751	不特定	11,416		
事業③		学校団体受入事業	2024	—	不特定	6,645		
			2023	—	不特定	6,687		
			2022	—	不特定	7,686		
事業④	—	2024	0	0	0			
		2023	0	0	0			
		2022	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	163,500	2,954	4,499	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	424,800	7,200	6,816	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	32,267	34,325	42,963	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	300	305	284	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	32,748	32,269	31,562	1人当たりのコスト(円)	3,246	3,006	2,349
	施設利用率(%)	38.5	41.0	66.0	1開館日当たりのコスト(円)	349,087	338,334	355,394
	1日当たり利用者(人)	108	113	151	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

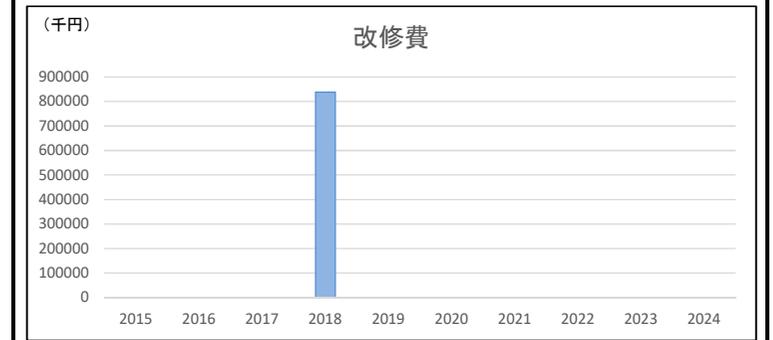
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		 <p>利用状況等による評価→</p>	
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い</p> <p>B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある</p> <p>C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある</p> <p>D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い</p> <p>F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある</p> <p>G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある</p> <p>H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	建築後40年以上が経過し、長寿命化を図るための大規模改修が必要な時期にきている。また、来館者用エレベーターの未設置やトイレ洋式化未完、音声や点字による解説の非対応など、ユニバーサルデザインに一部対応していない設備がある。		
対応策	必要な修繕、長寿命化対策工事を行う。博物館のリニューアルに向けて基本計画を策定する。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	DBO方式等の採用を視野に、民間活力を導入した展示・運営方法を検討する。		
個別方針	リニューアル基本構想に基づき、整備手法・運営体制の検討など想定される事業スケジュールに沿って準備を進める。		

リストNo	04-009	施設コード	05123		
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設				
施設名	浜松科学館				
所在(町名・番地)	中央区北寺島町256-3				
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
主管課	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当				
所管課	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当				
設置根拠(法)					
条例	浜松科学館条例				
設置目的	科学に関する知識の普及及び啓発を図る(浜松科学館条例第1条)				
主な利用者	保育園・幼稚園の園児、小・中・高校の児童・生徒、一般				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/07/01 ~				
管理者名	乃村工藝社・SBSプロモーション共同事業体				
開館時間	09:30~17:00				
土地情報	土地面積	9,852.78 m ²	総延床面積	6,891.95 m ²	
	うち所有面積	9,852.78 m ²	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造	
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	4	
代表地目(現況地目)	宅地		耐震性能(I ₆ 値)(主要建物)	新	
用途地域	商業地域		耐震工事(主要建物)	-	
立地適正化計画	誘導施設	建物情報		建築年月日(主要建物)	1986/1/1
	都市機能誘導区域	-	経過年数(主要建物)	39	
	居住誘導区域	-			
防災情報	土砂災害警戒区域※	UD化情報		身障者用駐車場	○
	浸水エリアの場合の浸水深			車イスでの施設利用	○
	洪水ハザードマップ※	1m~3m		エレベーター	○
	南海トラフ巨大地震津波※			多機能トイレ	○
緊急避難場所	脱炭素		太陽光発電		
避難所			ZEBの種類		
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	57,383	60,666	61,198
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	13,565	15,078	6,293
	収入計(A)	70,948	75,744	67,491
支出(千円)	人件費	130,091	122,766	124,244
	物件費(委託料)	34,923	34,700	34,963
	物件費(光熱水費)	38,112	34,076	47,400
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	209,880	196,963	213,068	
行政コスト(B-A)	138,932	121,219	145,577	
収支前年比	114.61	83.27	93.75	
(参考)指定管理料	189,710	140,711	151,871	
(参考)減価償却費	95,994	95,994	95,994	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	995,649	1,055,935	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	3,478,046	-	3,478,046	
財源	国・県	169,970	-	169,970
	寄付金	14,000	-	14,000
	その他	100,000	-	100,000
	市債	2,599,500	-	2,599,500
	一般財源	594,576	-	594,576

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2018	浜松科学館大規模改修工事 プラネタリウム改修工事	219,510			
2018	浜松科学館大規模改修工事 機械設備工事	379,756			
2018	浜松科学館大規模改修工事 電気設備工事	61,386			
2018	浜松科学館大規模改修工事 建築工事	178,124			
2014	ようこそLEDの世界へ(展示更新工事)	14,990			



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-001	アクトシティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)	広域	0.2
04-014	浜松復興記念館	地域	1.2
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	1.4
04-002	浜松城公園天守閣	広域	1.6
04-007	美術館	市域	1.7
04-012	茶室「松韻亭」	地域	1.8
12-001	アクトシティ浜松Cゾーン(展示イベントホール)	広域	0.1
19-001	駅北駐車場	地域	0.2
14-033	浜松第5分団	コミュニティ	0.2
18-010	北寺島倉庫	地域	0.3
11-002	子育て情報センター	市域	0.3
08-001	なのはな保育園	生活	0.3
19-002	観光バス公共駐車場	地域	0.4
09-005	中央保健福祉センター(いきいきプラザ中央)	地域	0.4

基本情報	リストNo	04-009	施設コード	05123	主管課	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当		
	施設名	浜松科学館			所管課	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	生涯学習社会の実現						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		科学に関する知識の普及及び啓発を図る(浜松科学館条例第1条)						
		主な業務内容	展示業務、貸館(ホール・講座室)業務、科学学習等講座開催業務					
		主な利用者	保育園・幼稚園の園児、小・中・高校の児童・生徒、一般					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	子供たちの科学学習の拠点として需要がある。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	子供たちのほか、大人の知的好奇心の高まりによる需要増が期待される。					
		特記事項	進歩する科学に触れ未来を想像することによる次代の人材の育成が求められている。					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況 のべ募集人員 参加者数	
事業①		サイエンスショー実施事業 科学館のメインコンテンツとして演者と参加者がショーを通して交流することを目的に、予測したり考えたりするプロセスを重視したプログラムを1日5回、計1,516回実施。			2024	—	— 49,549	
					2023	—	— 50,556	
					2022	—	— 51,110	
事業②		プラネタリウム投影事業 キッズプラネタリウム、生解説プラネタリウム、大型映像及び学習投影を実施。計1,269回実施。			2024	—	— 79,843	
					2023	—	— 81,861	
					2022	—	— 82,522	
事業③		ミニワークショップ実施事業 観察、実験、工作等のプログラムを通してスタッフと利用者がコミュニケーションを図りながら、体験時間30分未満で気軽に参加できるように実施。1日1回、計312回実施。			2024	—	— 14,770	
					2023	—	— 13,981	
					2022	—	— 16,659	
事業④	「夏の特別展」開催事業 しかけ絵本に用いられる7つの科学原理を職員内製の実験道具で紹介。また、120種類のしかけ絵本を楽しめる空間をつくった。計44日間実施。			2024	—	— 5,350		
				2023	—	— 8,764		
				2022	—	— 7,038		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	27,000	220	193	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	149,040	3,949	4,342	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	214,231	215,474	186,949	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	312	314	313	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	20,159	17,588	21,123	1人当たりのコスト(円)	649	563	779
	施設利用率(%)	18.1	5.6	4.4	1開館日当たりのコスト(円)	445,295	386,048	465,102
	1日当たり利用者(人)	687	686	597	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

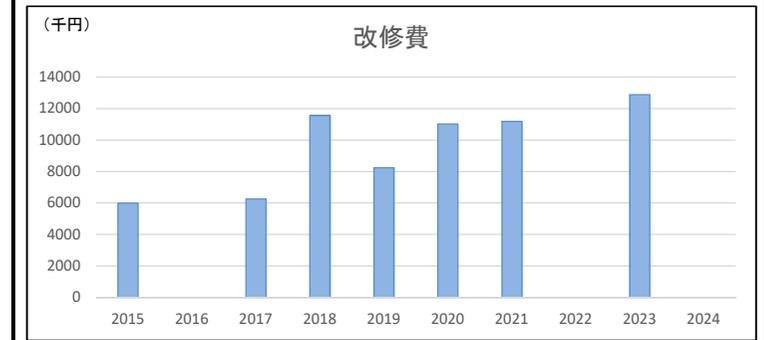
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>	
			<p>↑利用状況、前年収支比率等による評価</p>
供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)		<p>↑前年収支比率、施設1人当たりの市食負担額等による評価</p> <p>→利用状況等による評価→</p>	
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】	<p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		
【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	<p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	引き続き、経年劣化に対応していく必要がある。		
対応策	各種点検を実施し、緊急性の高いものから修繕等を実施していく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	2006年度より指定管理制度を導入しており、今後も指定管理による運営を継続していく。		
個別方針	令和元年度にリニューアルオープン。今後は、適切な維持管理に努め、施設の長寿命化を図る。なお、令和6年度に第1期展示更新を実施し、令和8年度に第2期展示更新を予定している。		

リストNo	04-010	施設コード	00021		
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設				
施設名	あらたまの湯				
所在(町名・番地)	浜名区四大地9-921				
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
主管課	産業部観光・シティプロモーション課				
所管課	浜名区・まちづくり推進課				
設置根拠(法)	条例				
条例	浜松市浜北温泉施設あらたまの湯条例				
設置目的	福祉の向上及び健康の増進並びに地域の観光振興を図る				
主な利用者	観光客、市民等				
運営形態	指定管理者				
指定管理または 包括管理委託等の期間	2025/04/01 ~				
管理者名	浜名梱包輸送(株)				
開館時間	09:00~21:00				
土地情報	土地面積	27,491.48 m ²	総延床面積	2,069.72 m ²	
	うち所有面積	758.00 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	うち借地面積	26,733.48 m ²	地上階数(主要建物)	1	
代表地目(現況地目)	原野		耐震性能(1e値)(主要建物)	新	
用途地域	市街化調整区域		耐震工事(主要建物)	-	
立地適正 化計画	誘導施設			建築年月日(主要建物)	2007/3/16
	都市機能誘導区域	-		経過年数(主要建物)	18
	居住誘導区域	-			
防災情報	土砂災害警戒区域※			身障者用駐車場	○
	浸水エリアの場合の浸水深			車イスでの施設利用	○
	洪水ハザードマップ※			エレベーター	
	南海トラフ巨大地震津波※			多機能トイレ	○
緊急避難場所			太陽光発電		
避難所			ZEBの種類		
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



項目	2024	2023	2022	
収入(千円)	使用料・手数料	153,814	154,917	153,131
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	103,278	110,126	93,520
	収入計(A)	257,092	265,043	246,651
	人件費	63,024	61,277	54,034
支出(千円)	物件費(委託料)	14,154	14,078	13,219
	維持補修費(修繕費)	8,254	23,887	7,933
	物件費(光熱水費)	66,733	61,510	72,743
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	152,165	160,752	147,929
行政コスト(B-A)	-104,927	-104,291	-98,722	
収支前年比	100.61	105.64	235.18	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	25,210	25,210	25,210	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	7	383,891	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	-	-	-	
財源	国・県	-	-	-
	寄付金	-	-	-
	その他	-	-	-
	市債	-	-	-
	一般財源	-	-	-

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	源泉施設復旧工事	12,870	2006	(仮称)浜北温泉施設建設工事(建築工事)	535,500
2021	令和3年度 浜北温泉施設「あらたまの湯」源泉施設復旧工事	11,176	2006	(仮称)浜北温泉施設建設工事(給排水衛生設備工事)	159,131
2020	令和5年度 浜北温泉施設「あらたまの湯」源泉施設湯ポンプ設置取替工事	11,012	2006	(仮称)浜北温泉施設建設工事(電気設備工事)	88,940
2019	源泉施設復旧工事	8,239	2006	(仮称)浜北温泉施設建設工事(源泉施設設備工事)	85,458
2018	浜北温泉施設「あらたまの湯」源泉施設湯ポンプ設置取替工事(災害復旧)	11,556	2006	(仮称)浜北温泉施設建設工事(空調設備工事)	37,420
2017	平成29年度 浜北温泉施設「あらたまの湯」源泉施設湯ポンプ設置取替工事	6,264			
2015	源泉施設 湯湯ポンプ取替工事	5,994			
2013	源泉施設湯湯ポンプオーバーホール工事	7,875			
2013	救護室新設工事	4,095			
2008	湯湯ポンプオーバーホール工事	4,552			



近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
その他の分類	21-004	浜北畜場	地域	0.2
	20-003	浜北環境センター	市域	0.7
	15-129	鹿玉中学校	生活	0.9
	05-023	明神池運動公園	地域	1.1
	13-060	宮口団地	地域	1.4
	07-078	鹿玉イーグルクラブ	生活	1.4
	15-066	鹿玉小学校	生活	1.4
	08-055	宮口幼稚園	生活	2.0

基本情報	リストNo	04-010	施設コード	00021	主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
	施設名	あらたまの湯			所管課	浜名区・まちづくり推進課			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	魅力ある観光コンテンツ造成による観光誘客の促進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		福祉の向上及び健康の増進並びに地域の観光振興を図る							
		主な業務内容	温泉施設及び設備の維持管理業務						
		主な利用者	観光客、市民等						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		利用者数は堅調に推移することが見込まれる。						
	特記事項		固定客が多い。						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—		2024	0	0	0		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
		—		2021	—	—	—		
事業②		—		2024	0	0	0		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業③		—		2024	0	0	0		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業④		—		2024	0	0	0		
		—		2023	—	—	—		
	—		2022	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	260,053	261,153	258,346	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	306	314	340	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	-50,696	-50,389	-47,698	1人当たりのコスト(円)	-403	-399	-382	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	-342,899	-332,137	-290,359	
	1日当たり利用者(人)	850	832	760	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

↑利用状況、前年収支比率等による評価

←前年収支比率、施設1人当たりの市費負担額等による評価

【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	源泉の揚湯量が減少傾向であるほか、経年劣化による施設根本に係る設備の不具合が増えてきている状況である。
対応策	基本協定に基づき修繕を行っているが、施設管理者とのリスク分担を基本に予算の範囲内において優先順位を付けて平準化し、計画的に必要な改修を行っていく。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—

民活導入 引き続き、指定管理による運営を実施していく。

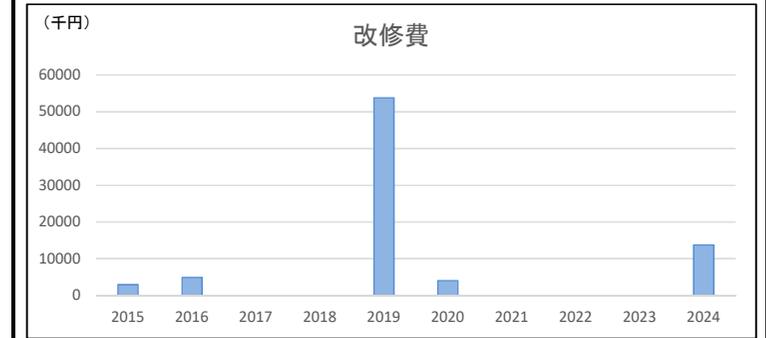
個別方針 現在の運営状況等を踏まえ、当面の間は、現行の指定管理による運営を継続する。

リストNo	04-011	施設コード	01172		
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設				
施設名	秋野不矩美術館				
所在(町名・番地)	天竜区二俣町二俣130				
利用者の圏域別分類等	市域	中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
主管課	市民部美術館				
所管課	市民部美術館				
設置根拠(法)	博物館法				
条例	浜松市美術館条例				
設置目的	郷土の作家、秋野不矩の作品を収集、保管、調査研究を行い、研究成果を様々な展覧会を通して広く市民に紹介する。また、他地区の美術館や博物館との連携も深めながら、地域の文化、創造を発信する拠点としての機能も担っていく。				
主な利用者	市民(児童・生徒含む)、観光客、行政視察者など				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2025/04/01 ~				
管理者名	公益財団法人浜松市文化振興財団				
開館時間	09:30~17:00				
土地情報	土地面積	19,306.00 m ²	総延床面積	999.63 m ²	
	うち所有面積	19,306.00 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	2	
代表地目(現況地目)	宅地		耐震性能(I ₆ 値)(主要建物)	新	
用途地域	第二種中高層住居専用地域		耐震工事(主要建物)	-	
	誘導施設	○		建築年月日(主要建物)	1997/11/18
	都市機能誘導区域			経過年数(主要建物)	27
立地適正	居住誘導区域				
	防災情報	土砂災害警戒区域※	UD化情報	身障者用駐車場	○
		浸水エリアの場合の浸水深		車イスでの施設利用	○
洪水ハザードマップ※		エレベーター		○	
南海トラフ巨大地震津波※	1m~3m	多機能トイレ	○		
緊急避難場所			脱炭素	太陽光発電	
避難所			ZEBの種類		
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



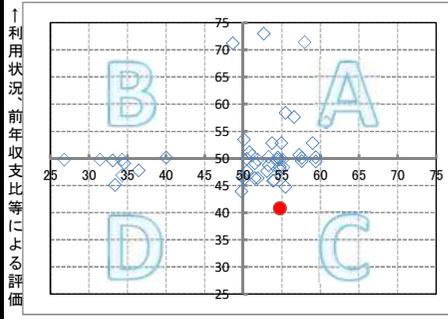
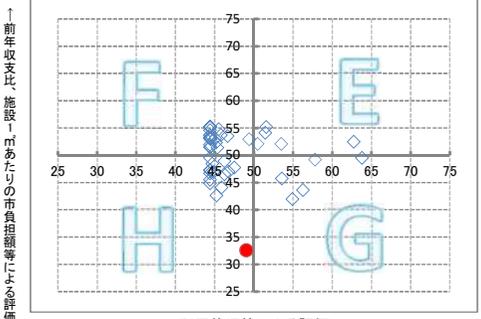
項目	2024	2023	2022	
収入(千円)	使用料・手数料	10,950	9,422	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	2,070	2,173	4
	収入計(A)	13,020	11,595	4
支出(千円)	人件費	21,595	19,619	17,875
	物件費(委託料)	11,633	11,495	9,561
	維持補修費(修繕費)	330	533	306
	物件費(光熱水費)	6,157	5,637	7,550
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	39,715	37,284	35,292	
行政コスト(B-A)	26,695	25,689	35,288	
収支前年比	103.92	72.80	94.24	
(参考)指定管理料	76,600	76,600	76,660	
(参考)減価償却費	10,737	10,737	10,737	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	658,528	246,957	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	1,131,244	-	1,131,244	
財源	国・県	-	-	-
	寄付金	-	-	-
	その他	-	-	-
	市債	-	-	-
	一般財源	1,131,244	-	1,131,244

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2024	給水ポンプ改修工事	1,650			
2024	空調自動制御中央監視装置更新工事	12,100			
2020	浜松市秋野不矩美術館屋根・外壁改修工事	4,048			
2019	屋根・外壁点検改修工事	22,308			
2019	空調改修工事	31,453			
2016	自動火災報知設備更新工事	4,903			
2015	監視カメラ設備更新工事	2,976			



近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
04-024	ヤマタケの蔵	地域	0.4	
04-037	ものづくり伝承館	文化財	0.5	
04-045	二俣歴史散策路	小規模等	0.7	
04-025	内山真龍資料館	地域	1.4	
04-038	田代家住宅	文化財	1.4	
03-060	二俣ふれあいセンター	生活	0.1	
08-057	二俣幼稚園	生活	0.2	
13-061	田組西団地	地域	0.2	
14-088	天竜第1分団横町	コミュニティ	0.4	
14-090	天竜第1分団諏訪町	コミュニティ	0.5	
15-055	二俣小学校	生活	0.6	
07-080	ふたまた児童クラブ	生活	0.6	
03-017	天竜壬生ホール	地域	0.7	

基本情報	リストNo	04-011	施設コード	01172	主管課	市民部美術館		
	施設名	秋野不矩美術館			所管課	市民部美術館		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	市民に愛される美術館						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		郷土の作家、秋野不矩の作品を収集、保管、調査研究を行い、研究成果を様々な展覧会を通して広く市民に紹介する。また、他地区の美術館や博物館との連携も深めながら、地域の文化、創造を発信する拠点としての機能も担っていく。						
		主な業務内容	秋野不矩作品の収集・保管・調査研究業務、展示業務、市民ギャラリーの管理業務					
		主な利用者	市民(児童・生徒含む)、観光客、行政視察者など					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		新東名高速道路の開通に伴い、他地区からのニーズが高まってきている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		地元のニーズと、他地区からのニーズが変化する可能性がある。					
	特記事項		芸術・文化の拠点施設として必要不可欠である。					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		特別展開催事業 3回 「内田あぐり 汎 Fluxes」「日本画☆動物園」「秋野不矩と高畑郁子-インドとの邂逅-」	2024	29,962	16,000	17,796		
			2023	29,823	17,000	14,296		
			2022	27,682	14,000	13,937		
事業②		館蔵品展開催事業 5回	2024	4,974	7,000	6,823		
			2023	5,001	10,000	7,898		
			2022	4,512	8,000	7,181		
事業③		—	2024	—	—	—		
			2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
事業④	—	2024	—	—	—			
		2023	—	—	—			
		2022	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	24,619	22,194	21,118	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	240	307	237	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	26,705	25,699	35,301	1人当たりのコスト(円)	1,084	1,157	1,671
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	111,229	83,678	148,895
	1日当たり利用者(人)	103	72	89	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

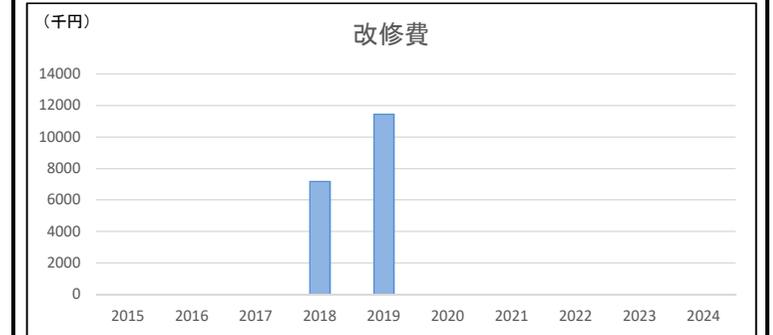
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→		利用状況等による評価→	
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	築後20年以上が経過し、徐々に機器類の機能低下が懸念される状況にある。一定規模の修繕については指定管理者負担で行っているものの、大規模な改修や設備更新については長寿命化計画等の整備計画に基づく対応が必要。		
対応策	長寿命化計画方針に基づく改修を実施するとともに、突発的な緊急修繕にも随時対応し、適切な施設の維持管理に努める。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	令和4年度に指定管理者制度を導入済み。今後も指定管理による運営を継続していく。		
個別方針	引き続き、指定管理者による運営を行う。		

リストNo	04-012	施設コード	01852		
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設				
施設名	茶室「松韻亭」				
所在(町名・番地)	中央区鹿谷町11-4				
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
主管課	市民部創造都市・文化振興課				
所管課	市民部創造都市・文化振興課				
設置根拠(法)					
条例	浜松市茶室条例				
設置目的	茶道文化の普及及び伝承を図り、市民文化の向上に寄与するため(浜松市茶室条例第1条)				
主な利用者	呈茶客、浜松茶道連盟、茶道稽古人等				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~				
管理者名	遠鉄アシスト(株)				
開館時間	09:30~17:00				
土地情報	土地面積	0.00 m ²	総延床面積	362.95 m ²	
	うち所有面積	0.00 m ²	構造(主要建物)	木造	
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1	
代表地目(現況地目)			耐震性能(I ₆ 値)(主要建物)	新	
用途地域	第二種住居地域		耐震工事(主要建物)	-	
立地適正化計画	誘導施設			建築年月日(主要建物)	1997/10/1
	都市機能誘導区域	-		経過年数(主要建物)	27
	居住誘導区域	-			
防災情報	土砂災害警戒区域※	○		身障者用駐車場	○
	浸水エリアの場合の浸水深			車イスでの施設利用	○
	洪水ハザードマップ※			エレベーター	
	南海トラフ巨大地震津波※			多機能トイレ	○
緊急避難場所			太陽光発電		
避難所			ZEBの種類		
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	4,292	4,314	4,055
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	82	18	45
	収入計(A)	4,374	4,332	4,100
支出(千円)	人件費	11,049	10,755	10,320
	物件費(委託料)	1,149	1,169	1,163
	物件費(光熱水費)	925	847	1,140
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	13,198	13,391	14,379
行政コスト(B-A)		8,824	9,059	10,279
収支前年比		97.41	88.13	120.53
(参考)指定管理料		12,000	12,000	12,000
(参考)減価償却費		256	256	256
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	2,572	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	-	-	-	
財源	国・県	-	-	-
	寄付金	-	-	-
	その他	-	-	-
	市債	-	-	-
	一般財源	-	-	-

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2019	空調設備改修工事	11,447			
2018	塀改修工事	7,171			
2013	月見台改修工事	3,570			
2007	屋外トイレ新築工事	6,668			



近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
04-007	美術館	市域	0.4	
04-002	浜松城公園天守閣	広域	0.4	
04-013	犀ヶ崖資料館	地域	0.7	
04-014	浜松復興記念館	地域	1.0	
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	1.2	
04-001	アクトシティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)	広域	1.6	
04-015	賀茂真淵記念館	地域	1.7	
04-009	浜松科学館	市域	1.8	
07-011	中部学園放課後児童会	生活	0.1	
03-010	勤労会館(Uホール)	地域	0.2	
14-002	消防局・中消防署	市域	0.3	
15-097	浜松中部学園(中部小学校・中学校)	生活	0.3	
13-006	鹿谷(市立東)団地	地域	0.5	
01-001	本庁舎	市域	0.5	
01-003	元目分庁舎	市域	0.5	
07-010	広沢子育て支援ひろば	生活	0.6	

基本情報	リストNo	04-012	施設コード	01852	主管課	市民部創造都市・文化振興課			
	施設名	茶室「松韻亭」			所管課	市民部創造都市・文化振興課			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	音楽のあふれるまちづくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		茶道文化の普及及び伝承を図り、市民文化の向上に寄与するため(浜松市茶室条例第1条)							
		主な業務内容	呈茶サービス、茶室の貸し部屋業務、茶道をはじめとする日本伝統文化に関する講座						
		主な利用者	呈茶客、浜松茶道連盟、茶道稽古人等						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		利用者の高齢化により、ニーズは減少する可能性がある。						
	特記事項		茶道連盟会員数が減少するなど、茶道人口は減少傾向にある。						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—		2024	—	—	—	—	
		—		2023	—	—	—	—	
		—		2022	—	—	—	—	
		—		2024	—	—	—	—	
事業②		—		2023	—	—	—	—	
		—		2022	—	—	—	—	
		—		2024	—	—	—	—	
事業③		—		2023	—	—	—	—	
		—		2022	—	—	—	—	
		—		2024	—	—	—	—	
事業④		—		2023	—	—	—	—	
		—		2022	—	—	—	—	
		—		2024	—	—	—	—	
利用状況		項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
		利用時間数(分)/年※	298,440	4,971	4,703	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	571,200	9,432	9,368	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	31,259	32,346	28,376	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	317	314	312	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	24,312	24,959	28,321	1人当たりのコスト(円)	282	280	362	
	施設利用率(%)	52.2	52.7	50.2	1開館日当たりのコスト(円)	27,836	28,850	32,946	
	1日当たり利用者(人)	99	103	91	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

↑利用状況、前年収支比率等による評価 ←前年収支比率、施設1人当たりの市食振替額等による評価

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】

A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】

E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	建物の老朽化が進んでおり、数寄屋建築という特殊な建築手法で建てられているため、修繕が必要な際に対応できる業者が限られ、早急な対応ができない場合がある。
対応策	計画的に修繕等を行うとともに緊急修繕にも対応していく。数寄屋建築という特殊な建築手法で建てられた施設のため、修繕に制限があるが、状態を確認しながら慎重に修繕等を行う。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	
	民間移管	—	
	管理主体変更	—	
	非保有	—	
	統廃合	—	
	複合化	—	
	広域化	—	

民活導入

地元茶道連盟の協力により講演会等の講師に浜松にゆかりのある方を迎えるなど民間活力を活用していく。

個別方針

当面適切な維持管理に努める。

リストNo	04-013	施設コード	00926	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	犀ヶ崖資料館			
所在(町名・番地)	中央区鹿谷町25番10号			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
所管課	中央区・まちづくり推進課			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	歴史と文化を広く紹介し、観光振興・文化振興を図る。			
主な利用者	市民及び観光客			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	09:00～17:00			
土地情報	土地面積	1,698.82 m ²	総延床面積	79.49 m ²
	うち所有面積	1,698.82 m ²	構造(主要建物)	木造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1
立地適正化計画	代表地目(現況地目)	官公庁用地	耐震性能(I ₀ 値)(主要建物)	新
	用途地域	第二種住居地域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	2015/3/26
防災情報	土砂災害警戒区域※	○	経過年数(主要建物)	10
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	○
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用	○
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	
特記事項	緊急避難場所		多機能トイレ	○
	避難所		太陽光発電	
※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				

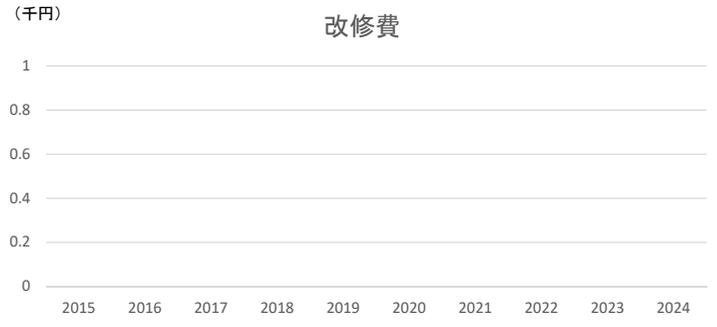


項目	2024	2023	2022	
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	6	6	6
	収入計(A)	6	6	6
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	402	121	2,586
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	402	121	2,586
行政コスト(B-A)	396	115	2,580	
収支前年比	344.35	4.46	276.82	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	928	928	928	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	121,318	12,811	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	31,469,150	—	31,469,150	
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	31,469,150	—	31,469,150

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2014	改築工事	28,712			

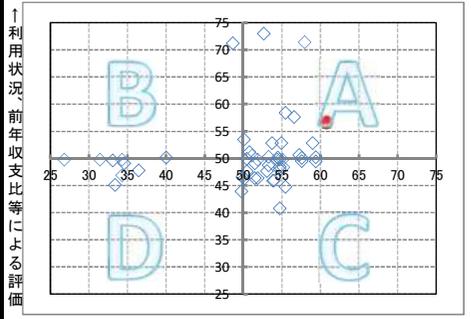
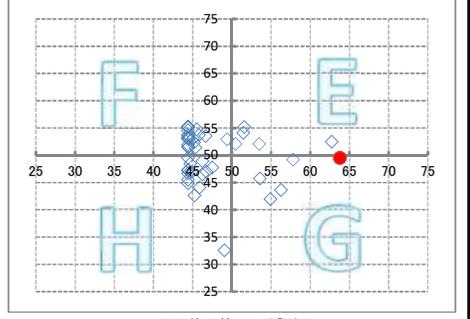
(千円)

改修費



近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
04-012	茶室「松韻亭」	地域	0.7	
04-007	美術館	市域	1.0	
04-002	浜松城公園天守閣	広域	1.0	
04-032	旧高山家住宅	文化財	1.6	
04-008	博物館	市域	1.6	
04-031	蛸塚公園	文化財	1.6	
04-014	浜松復興記念館	地域	1.6	
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	1.7	
14-030	浜松第3分団	コミュニティ	0.1	
15-006	追分小学校	生活	0.2	
13-006	鹿谷(市立東)団地	地域	0.3	
03-027	西部協働センター	生活	0.5	
15-141	市立高等学校	市域	0.5	
08-009	西保育園	生活	0.5	
03-074	城北会館	コミュニティ	0.5	
03-010	勤労会館(Uホール)	地域	0.5	

基本情報	リストNo	04-013	施設コード	00926	主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
	施設名	犀ヶ崖資料館			所管課	中央区・まちづくり推進課			
施設運営分析	複合施設								
	関連政策名	魅力ある観光コンテンツ造成による観光誘客の促進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		歴史と文化を広く紹介し、観光振興・文化振興を図る。							
		主な業務内容	徳川家康関連(主に三方ヶ原の戦い)の資料、遠州大念仏の資料の展示及び紹介						
		主な利用者	市民及び観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	歴史愛好家や研究家等の根強い関心がある。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	歴史愛好家や研究家等の一定のニーズを保持している。						
		特記事項	平成26年度に大規模改修(建替え)を実施。						
主な事業	事業名・開催回数(2024)				年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①				2024	—	—	—	
					2023	0	0	0	
					2022	—	—	—	
					2024	—	—	—	
	事業②				2023	0	0	0	
					2022	—	—	—	
					2024	—	—	—	
	事業③				2023	0	0	0	
					2022	—	—	—	
					2024	—	—	—	
	事業④				2023	0	0	0	
					2022	—	—	—	
			2024	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	13,187	28,309	14,533	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	305	300	299	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	4,982	1,447	32,457	1人当たりのコスト(円)	30	4	178	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	1,298	383	8,629	
	1日当たり利用者(人)	43	94	49	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

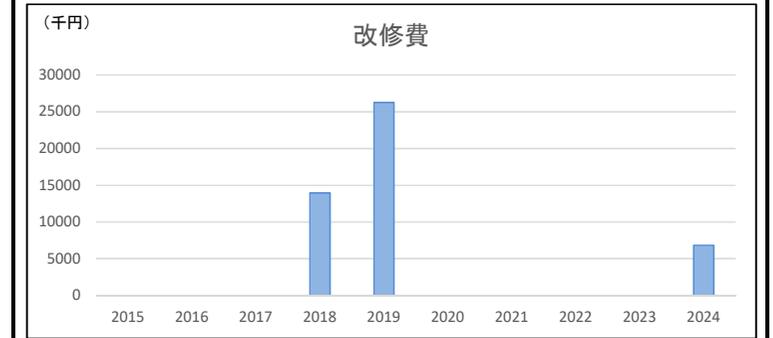
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
 <p>↑利用状況、前年収支比等による評価</p> <p>→前年収支比、施設1人当たりの市食振替額等による評価</p> <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		 <p>→前年収支比、施設1人当たりの市食振替額等による評価</p> <p>↑利用状況等による評価</p>					
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>				<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>			
施設に関する課題等(ハード面から)							
課題	平成26年度に建て替えを実施しており、施設に大きな問題はない。敷地内の地下には防火用水槽が埋設されており、水槽の強度が不明なため、建物前面への駐車は不可としている(消防と協議済み)。						
対応策	敷地内に高低差があり、防火用水槽がないスペースへ大型バスを駐車できるようにするためには、大規模な造成工事が必要となる。現状は、大型バス等で敷地内に駐車できない場合は、近隣の交通量が少ない場所へバスを停車させ、乗降場所としている。						
見直し方針				今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄				
	廃止	—					
	民間移管	—					
	管理主体変更	—					
	非保有	—					
	統廃合	—					
	複合化	—					
	広域化	—					
民活導入	引き続き管理運営委託により維持管理を実施していく。						
個別方針	現在の運営状況を踏まえ、最適な管理運営方法について検討していく。						

リストNo	04-014	施設コード	02381	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	浜松復興記念館			
所在(町名・番地)	中央区利町304-2			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	市民部創造都市・文化振興課			
所管課	中央区・まちづくり推進課			
設置根拠(法)				
条例	浜松復興記念館条例			
設置目的	西遠広域都市計画事業復興土地区画整理事業の完了を記念して、戦災からの復興の記録と市民生活、文化及び町並みの変遷を後世に伝えるため(浜松復興記念館条例第1条)			
主な利用者	市民、その他			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~			
管理者名	復興記念館管理運営グループ			
開館時間	09:00~17:00			
土地情報	土地面積	1,203.45 m ²	総延床面積	685.40 m ²
	うち所有面積	1,203.45 m ²	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	2
立地適正化計画	代表地目(現況地目)	宅地	耐震性能(1g値)(主要建物)	新
	用途地域	商業地域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1988/8/1
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	36
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用	○
特記事項	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	
	緊急避難場所		多機能トイレ	○
	避難所		太陽光発電	
※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



項目	2024	2023	2022	
収入(千円)	使用料・手数料	979	1,043	1,034
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	129	3	18
	収入計(A)	1,108	1,046	1,052
支出(千円)	人件費	9,596	9,580	9,715
	物件費(委託料)	1,273	1,045	984
	維持補修費(修繕費)	102	1,688	270
	物件費(光熱水費)	1,182	1,165	1,094
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	12,153	13,478	12,063	
行政コスト(B-A)	11,045	12,432	11,011	
収支前年比	88.84	112.91	85.82	
(参考)指定管理料	13,098	13,098	13,427	
(参考)減価償却費	8,225	8,225	8,225	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	132,848	115,154	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	321,300	—	321,300
	国・県	—	—	—
財源	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	221,700	—	221,700
	一般財源	99,600	—	99,600

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2024	トイレ洋式化改修工事	6,842			
2019	浜松復興記念館空調設備改修工事	26,255			
2018	外壁改修工事	7,541			
2018	浜松復興記念館外壁及びトップライト改修工事	6,413			



近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	0.2	
04-002	浜松城公園天守閣	広域	0.6	
04-007	美術館	市域	0.7	
04-012	茶室「松韻亭」	地域	1.0	
04-015	賀茂真淵記念館	地域	1.1	
04-001	アクトシティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)	広域	1.1	
04-009	浜松科学館	市域	1.2	
04-013	犀ヶ崖資料館	地域	1.6	
22-004	夜間救急室	市域	0.1	
03-007	鴨江アートセンター	地域	0.3	
19-003	ザザシティ駐車場	地域	0.3	
14-028	浜松第1分団	コミュニティ	0.3	
07-001	浜松こども館	市域	0.4	
01-006	ザザシティ浜松中央館5階	市域	0.4	
06-001	中央図書館	市域	0.4	
15-001	西小学校	生活	0.5	

基本情報	リストNo	04-014	施設コード	02381	主管課	市民部創造都市・文化振興課			
	施設名	浜松復興記念館			所管課	中央区・まちづくり推進課			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	音楽のあふれるまちづくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		西遠広域都市計画事業復興土地区画整理事業の完了を記念して、戦災からの復興の記録と市民生活、文化及び町並みの変遷を後世に伝えるため(浜松復興記念館条例第1条)							
		主な業務内容	資料の収集・保存・研究業務、資料の展示紹介業務、貸し館業務						
		主な利用者	市民、その他						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		貸館については、特定団体の定期的な使用や新たな利用者の獲得など、一定のニーズを確保している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		展示・貸館ともに減少が予想される。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		—	2024	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2023	0	0	0	0		
			2022	—	—	—	—		
			2024	—	—	—	—		
事業②		—	2024	—	—	—	—		
			2023	0	0	0	0		
			2022	—	—	—	—		
			2024	—	—	—	—		
事業③		—	2024	—	—	—	—		
			2023	0	0	0	0		
			2022	—	—	—	—		
			2024	—	—	—	—		
事業④		—	2024	—	—	—	—		
			2023	0	0	0	0		
			2022	—	—	—	—		
	2024		—	—	—	—			

利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	83,910	64	965	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	915,000	1,313	14,986	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	9,878	9,975	9,734	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	304	301	289	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	16,115	18,138	16,065	1人当たりのコスト(円)	1,118	1,246	1,131
	施設利用率(%)	9.2	4.9	6.4	1開館日当たりのコスト(円)	36,332	41,302	38,100
	1日当たり利用者(人)	32	33	34	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示

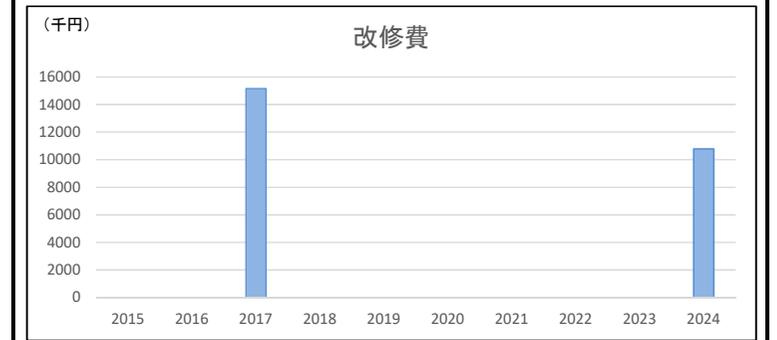
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→ ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。		
供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	利用状況等による評価→		
【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある			
【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある			
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	十分な駐車スペースが確保できない。		
対応策	2台ある駐車スペースは、原則的に2階会議室利用者を優先に使用を認めているが、会議室の予約が入っていないときは一般来場者にも使用を認めるなど、指定管理者による柔軟な対応がとられている。立地的に、新たな駐車スペースを確保するのは難しいが、近隣の民間駐車場と連携して、駐車料を割引するサービスを実施している。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	○	—
複合化	—	—	
広域化	—	—	
民活導入	施設利用者の利便性から、近隣の民間駐車場と連携し、駐車料の割引サービスを行っている。		
個別方針	当面適切な維持管理に努める。大規模な改修等が必要となった時点で、施設の役割や利用状況を踏まえ、統廃合などを含めた施設のあり方を検討する。		

リストNo	04-015	施設コード	00410	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	賀茂真淵記念館			
所在(町名・番地)	中央区東伊場一丁目22-2			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	市民部文化財課			
所管課	市民部文化財課			
設置根拠(法)				
条例	浜松市立賀茂真淵記念館条例			
設置目的	浜松出身の国学者・賀茂真淵の業績および遠江の国学に関する知識を広め、文化の向上に資する。			
主な利用者	遠江の国学者や歴史に興味のある人、キッズアートプロジェクト参加者、県立小学校各学年や市内近郊小中学生			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~			
管理者名	(一社)浜松史蹟調査顕彰会			
開館時間	09:30~17:00			
土地情報	土地面積	3,248.79 m ²	総延床面積	715.66 m ²
	うち所有面積	3,248.79 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	2
代表地目(現況地目)	宅地		耐震性能(I ₆ 値)(主要建物)	新
用途地域	第一種中高層住居専用地域		耐震工事(主要建物)	-
立地適正化計画	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1984/3/31
	都市機能誘導区域	-	経過年数(主要建物)	41
	居住誘導区域	-		
防災情報	土砂災害警戒区域※		身障者用駐車場	○
	浸水エリアの場合の浸水深		車イスでの施設利用	○
	洪水ハザードマップ※		エレベーター	
	南海トラフ巨大地震津波※		多機能トイレ	○
緊急避難場所		脱炭素	太陽光発電	
避難所			ZEBの種類	
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。			



	項目	2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	196	165	146
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	928	1,262	632
	収入計(A)	1,124	1,427	778
支出(千円)	人件費	14,408	14,034	14,194
	物件費(委託料)	1,725	1,835	1,668
	物件費(光熱水費)	1,616	1,348	1,680
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	18,108	18,218	17,555
	行政コスト(B-A)	16,984	16,791	16,777
	収支前年比	101.15	100.08	98.34
	(参考)指定管理料	21,780	21,780	21,780
	(参考)減価償却費	7,793	7,793	7,793
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	111,187	70,137	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	-	-	-
財源	国・県	-	-	-
	寄付金	-	-	-
	その他	-	-	-
	市債	-	-	-
	一般財源	-	-	-

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2024	自動火災報知設備等更新工事	10,780			
	2017	外壁改修工事	7,346			
	2017	屋根防水工事	7,817			
	2013	空調設備改修工事	14,846			
	2011	ハロゲン化物消火設備改修工事	2,520			
	2011	収蔵庫用空調設備改修工事	2,310			



近隣施設					
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)	
	04-033	旧浜松銀行協会	文化財	0.9	
	04-036	伊場遺跡公園	文化財	0.9	
	04-014	浜松復興記念館	地域	1.1	
	04-007	美術館	市域	1.4	
	04-002	浜松城公園天守閣	広域	1.5	
	04-012	茶室「松韻亭」	地域	1.7	
	04-032	旧高山家住宅	文化財	1.7	
	04-031	蛸塚公園	文化財	1.7	
	その他の分類	15-094	西部中学校	生活	0.2
		03-030	県居協働センター	生活	0.3
		14-003	中消防署鴨江出張所・浜松第16分団	地域	0.4
		08-003	鴨江保育園	生活	0.4
		01-004	鴨江分庁舎	市域	0.5
13-015		東伊場団地	地域	0.5	
09-002		口腔保健医療センター	市域	0.5	
09-001	保健所	市域	0.5		

基本情報	リストNo	04-015	施設コード	00410	主管課	市民部文化財課		
	施設名	賀茂真淵記念館			所管課	市民部文化財課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	多くの人が歴史に接する機会の創出						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		浜松出身の国学者・賀茂真淵の業績および遠江の国学に関する知識を広め、文化の向上に資する。						
		主な業務内容	賀茂真淵翁及び遠江の国学に関する資料収集、保管、展示及び調査研究業務、講座開催業務					
		主な利用者	遠江の国学者や歴史に興味のある人、キッズアートプロジェクト参加者、県居小学校各学年や市内近郊小中学生					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		開館時よりも高い水準の入館者数を維持しており、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		団塊世代の勉学意欲が旺盛で、今後も壮高年齢者を中心に入館が期待できる。					
	特記事項		魅力ある講座の企画により、記念館への関心、参加者の増加が期待できる。					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)				年度	事業費(千円)	実施状況
事業①		特別展開催事業・開催期間:「賀茂真淵が生きた江戸時代中期」令和6年9月27日～12月26日 ※参加者数欄には各年度の同事業参加者数の数値	2024	—	—	1,796		
			2023	—	—	1,818		
			2022	—	—	1,600		
事業②		記念館「指定事業講座」開催事業・開催日数:記念館アカデミー講座・18日間※参加者数欄には各年度の同事業参加者数の数値	2024	—	720	493		
			2023	—	720	508		
			2022	—	720	581		
事業③		記念館「指定事業講座」開催事業・開催日数:冬期講座・4日間 ※参加者数欄には各年度の同事業参加者数の数値	2024	—	280	245		
			2023	—	200	150		
			2022	—	200	201		
事業④	—	2024	0	0	0			
		2023	0	0	0			
		2022	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	5,242	6,063	5,474	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	303	304	302	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	23,732	23,462	23,443	1人当たりのコスト(円)	3,240	2,769	3,065
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	56,053	55,234	55,553
	1日当たり利用者(人)	17	20	18	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>	
			<p>↑利用状況、前年収支比率等による評価</p>
供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)		<p>↑前年収支比率、施設1人当たりの市食料額等による評価</p>	
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】	<p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		
【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	<p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	無料の入館者(小・中学生や70歳以上の高齢者)が多いため、有料入館者となる客層を取り込んでいくことが課題となっている。また、築40年が経過し、建物及び設備の経年劣化が見受けられる。		
対応策	有料入館者である客層(高校生以上)を増やすため、若年層でも気軽に利用できる親しみやすい展示や講座を目指し、SNS等広報媒体を使った情報提供に力を入れていく。また、施設修繕や更新が必要である部分は、順次更新を図る。全館LED照明化は令和7年度中に完了する。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
民活導入	複合化	—	—
	広域化	—	—
	指定管理者制度による運営を継続するとともに、より効率的な運営が可能か検討していく。		
個別方針	当面、適切な維持管理に努める。		

基本情報	リストNo	04-016	施設コード	00460	主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
	施設名	館山寺ターミナル事務所			所管課	中央区・西行政センター			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	魅力ある観光コンテンツ造成による観光誘客の促進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		館山寺地区の観光振興及び情報発信の拠点として運営するため							
		主な業務内容	館山寺地区の観光振興、情報発信及びレンタサイクルの貸し出し						
		主な利用者	観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		年間を通してレンタサイクルの需要がある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		サイクリング利用は今後も堅調に推移すると見込まれる。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業②		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業③		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業④		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	3,233	7,656	1,440	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

↑利用状況、前年収支比率等による評価

↑前年収支比率、施設1人当たりの市食料額等による評価

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】

A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い

B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある

C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある

D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】

E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い

F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある

G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある

H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	施設の老朽化等大きな問題はない。
対応策	必要な修繕により維持管理していく。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	
	民間移管	—	
	管理主体変更	○	
	非保有	—	
	統廃合	—	
	複合化	—	
	広域化	—	

民活導入 民間活力導入の可能性について検討していく。

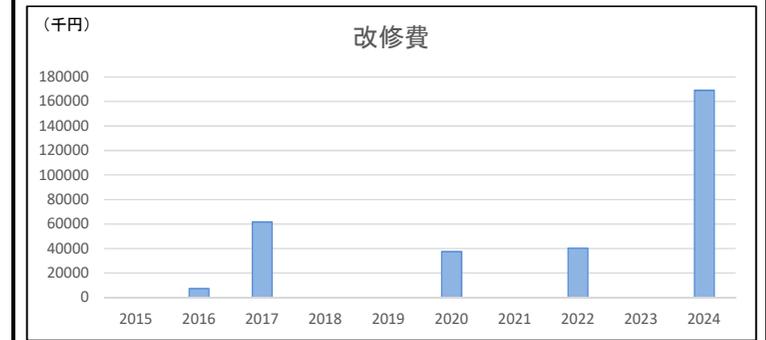
個別方針 現在の管理運営を基本としながら、館山寺ターミナル事務所に隣接する公共駐車場との一体管理も含めた管理運営の可能性を検討していく。

リストNo	04-017	施設コード	01236	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	渚園			
所在(町名・番地)	中央区舞阪町弁天島5005-1			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	公園	
主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
所管課	中央区・西行政センター			
設置根拠(法)				
条例	浜松市弁天島海浜公園・渚園条例			
設置目的	市民の健康の増進及び観光の振興を図るため。			
主な利用者	キャンプ、運動施設、イベント利用者			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2025/04/01 ~			
管理者名	東海ビル管理(株)			
開館時間	08:30~21:00			
土地情報	土地面積	155,606.02 m ²	総延床面積	1,273.66 m ²
	うち所有面積	155,606.02 m ²	構造(主要建物)	鉄骨造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1
立地適正化計画	代表地目(現況地目)	宅地	耐震性能(Ia値)(主要建物)	0.81
	用途地域	商業地域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1979/10/5
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	45
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	○
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用	○
	南海トラフ巨大地震津波※	1m~3m	エレベーター	
緊急避難場所	○	脱炭素	多機能トイレ	○
避難所	○		太陽光発電	
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。			



項目	2024	2023	2022	
収入(千円)	使用料・手数料	77,284	78,643	79,202
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	11,232	14,684	14,914
	収入計(A)	88,516	93,327	94,116
支出(千円)	人件費	50,822	49,564	48,642
	物件費(委託料)	4,497	4,997	5,042
	物件費(光熱水費)	4,183	4,960	4,276
	物件費(借地料)	0	0	0
維持補修費(修繕費)	7,399	2,874	13,322	
支出計(B)	66,901	62,395	71,282	
行政コスト(B-A)	-21,615	-30,932	-22,834	
収支前年比	69.88	135.46	93.51	
(参考)指定管理料	2,621	2,000	2,000	
(参考)減価償却費	3,829	1,919	1,925	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	6,246,693	75,939	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	117,500	-	117,500	
財源	国・県	-	-	-
	寄付金	-	-	-
	その他	-	-	-
	市債	-	-	-
	一般財源	117,500	-	117,500

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2024	大規模改修工事	159,464	2010	野球場バックネット取替工事	14,907
2024	ユニバーサルデザイン化整備工事	3,792			
2024	耐震補強工事	5,937			
2022	受変電設備改修工事	40,200			
2020	渚園ダッグアウト等改築工事	37,475			
2017	平成25年度 浜松市清瀬下水道切替及び屋外便所新築工事(機械設備工事)	18,932			
2017	平成25年度 浜松市清瀬下水道切替及び屋外便所新築工事(電気設備工事)	14,935			
2017	平成25年度 浜松市清瀬下水道切替及び屋外便所新築工事(建築工事)	27,769			
2016	野球場バックスクリーン改修工事	7,162			
2013	テニスコートフェンス改修工事	7,615			



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-044	弁天島駅観光案内所	小規模等	0.9
04-034	舞坂宿脇本陣	文化財	1.5
10-022	舞阪高齢者福祉施設	コミュニティ	0.4
26-016	観月園中継ポンプ場	-	0.5
13-032	蓬萊園団地	地域	0.5
08-014	舞阪第1保育園	生活	0.5
10-006	ふれあい交流センター陽だまり	地域	0.7
26-015	蓬萊園中継ポンプ場	-	0.7
26-014	弁天島中継ポンプ場	-	1.0
05-006	雄踏総合公園庭球場、水泳場	広域	1.1

基本情報	リストNo	04-017	施設コード	01236	主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
	施設名	渚園			所管課	中央区・西行政センター			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	「魅力ある観光コンテンツ造成による観光誘客の促進」							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		市民の健康の増進及び観光の振興を図るため。							
		主な業務内容	キャンプ場、野球場・テニスコート等の管理施設						
		主な利用者	キャンプ、運動施設、イベント利用者						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		キャンプ場は年間利用者が2万人を超え、スポーツ施設は10万人以上が年間で利用している。施設の社会ニーズは設置当初に比べ、減少することなく、増加傾向である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		スポーツ施設は野球場・テニスコート、多目的広場等があり、施設利用に高いニーズが見込まれる。イベント及びキャンプは夏の期間のニーズの減少が考えられる。						
	特記事項		-						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)				年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		-			2024	0	0	0	
		-			2023	-	-	-	
		-			2022	-	-	-	
		-			2024	0	0	0	
事業②		-			2023	-	-	-	
		-			2022	-	-	-	
		-			2024	0	0	0	
事業③		-			2023	-	-	-	
		-			2022	-	-	-	
		-			2024	0	0	0	
事業④		-			2023	-	-	-	
		-			2022	-	-	-	
		-			2024	0	0	0	
利用状況		項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
		利用時間数(分)/年※	-	-	-	図書貸出冊数/年	-	-	-
	利用可能時間数(分)/年※	-	-	-	蔵書数	-	-	-	
	施設利用者数/年	274,517	-	-	入居戸数	-	-	-	
	開館日数/年	360	-	-	全戸数	-	-	-	
	施設定員数	-	-	-	クラス数	-	-	-	
					園児・児童・生徒数	-	-	-	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	-17,913	-25,634	-18,923	1人当たりのコスト(円)	-79	-	-	
	施設利用率(%)	-	-	-	1開館日当たりのコスト(円)	-60,042	-	-	
	1日当たり利用者(人)	763	-	-	1定員当たりのコスト(円)	-	-	-	
	図書貸出率(%)	-	-	-	1貸出冊当たりのコスト(円)	-	-	-	
	入居率(%)	-	-	-	1戸当たりのコスト(円)	-	-	-	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

↑利用状況、前年収支比率等による評価 ← 前年収支比率、施設1人当たりの市食負担額等による評価

【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	トイレやスポーツ施設など、経年劣化に伴う施設の老朽化が進んでいる。
対応策	指定管理者制度導入施設であり、リスク分担に基づいて、計画的な修繕を行っていく。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	-	
	民間移管	-	
	管理主体変更	-	
	非保有	-	
	統廃合	-	
広域化	-		

民活導入 指定管理による運営を実施していく。

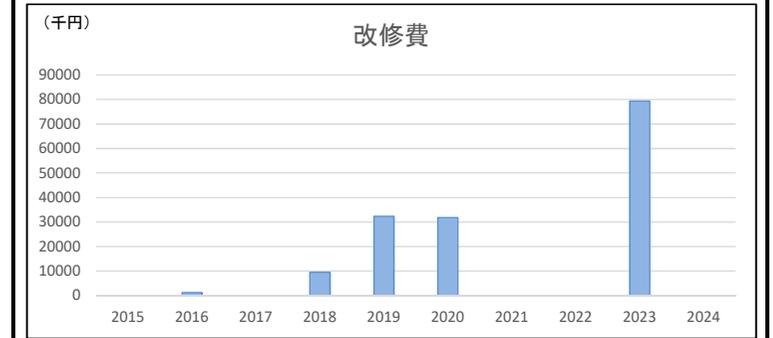
個別方針 指定管理による運営を継続する。老朽化が進む一部の施設については、利用状況等を踏まえた上で、維持修繕を実施する。

リストNo	04-018	施設コード	02329	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	浜松まつり会館			
所在(町名・番地)	中央区中田島町1313			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
所管課	中央区・南行政センター			
設置根拠(法)				
条例	浜松まつり会館条例			
設置目的	「浜松まつり」に関する資料の収集、保管及び展示することにより、広く内外に宣伝・紹介し、観光の発展及び市民の文化の向上に寄与すること			
主な利用者	市民及び観光客			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2025/04/01 ~			
管理者名	遠鉄アシスト㈱			
開館時間	09:00~16:30			
土地情報	土地面積	0.00 m ²	総延床面積	1,696.54 m ²
	うち所有面積	0.00 m ²	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1
立地適正化計画	代表地目(現況地目)		耐震性能(1g値)(主要建物)	新
	用途地域	第一種中高層住居専用地域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1985/4/1
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	40
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	
	洪水ハザードマップ※	1m~3m	車イスでの施設利用	○
	南海トラフ巨大地震津波※	1m~3m	エレベーター	
特記事項	緊急避難場所		多機能トイレ	○
	避難所		太陽光発電	
※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				
ZEBの種類				



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	2,538	2,398	1,903
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	903	2,013	812
	収入計(A)	3,441	4,411	2,715
支出(千円)	人件費	11,225	10,558	10,431
	物件費(委託料)	5,128	5,640	5,143
	物件費(光熱水費)	5,222	4,120	5,332
	物件費(借地料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	3,645	170	539
行政コスト(B-A)	21,779	16,077	18,730	
收支前年比	135.47	85.84	109.85	
(参考)指定管理料	15,840	15,851	15,840	
(参考)減価償却費	13,248	13,248	13,248	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	145,728	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	588,880	—	588,880
財源	国・県	30,000	—	30,000
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	558,880	—	558,880

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	外壁改修工事	43,109			
2023	屋根防水工事	36,269			
2020	吊り天井落下防止対策工事	19,800			
2020	受変電設備改修工事	12,023			
2019	令和元年度 浜松まつり会館空調設備更新工事	32,359			
2018	浜松まつり会館排煙窓取替改修工事	9,493			
2016	空調設備更新工事	1,134			
2010	防水改修工事	10,301			



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
同分類	13-039	中田島団地	地域 0.2
	26-038	中田島団地雨水ポンプ場	— 0.3
	24-025	六軒川排水機場	— 0.4
	17-005	遠州灘海浜公園	地域 0.6
	24-026	中田島排水機場	— 0.9
	01-014	南行政センター	地域 0.9
	10-009	ふれあい交流センター江之島	地域 0.9
24-027	寺脇排水機場	— 1.0	
その他の分類			

基本情報	リストNo	04-018	施設コード	02329	主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
	施設名	浜松まつり会館			所管課	中央区・南行政センター			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	魅力ある観光コンテンツ造成による観光誘客の促進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		「浜松まつり」に関する資料の収集、保管及び展示することにより、広く内外に宣伝・紹介し、観光の発展及び市民の文化の向上に寄与すること							
		主な業務内容	浜松まつりの紹介、資料の収集、保管及び展示						
		主な利用者	市民及び観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		浜松まつりを広く内外に紹介する施設として、一定のニーズが見込まれる。						
	特記事項		展示内容のマンネリ化、老朽化が進んでいるため、刷新が必要。						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①				2024	—	—	—		
				2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2024	—	—	—		
事業②				2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2024	—	—	—		
事業③				2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2024	—	—	—		
事業④				2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
			2024	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	22,567	20,255	17,886	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	362	362	362	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	12,837	9,476	11,040	1人当たりのコスト(円)	965	794	1,047	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	60,163	44,412	51,740	
	1日当たり利用者(人)	62	56	49	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
<p>↑利用状況、前年収支比等による評価</p> <p>→前年収支比、施設1人当たりの市食料額等による評価</p> <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>↑前年収支比、施設1人当たりの市食料額等による評価</p> <p>→利用状況等による評価</p>					
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>				<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>			
施設に関する課題等(ハード面から)							
課題	老朽化により設備に不具合が生じているため、大規模修繕を含め対応が必要である。						
対応策	施設の維持継続に必要な修繕を優先的に実施していく。						
今後の方針							
見直し方針	方向性	該当	備考欄				
	廃止	—	—				
	民間移管	—	—				
	管理主体変更	—	—				
	非保有	—	—				
	統廃合	—	—				
	複合化	○	—				
	広域化	—	—				
民活導入	引き続き、指定管理による運営を実施していく。						
個別方針	現在の運営状況等を踏まえ、当面の間は、現行の指定管理による運営を継続する。						

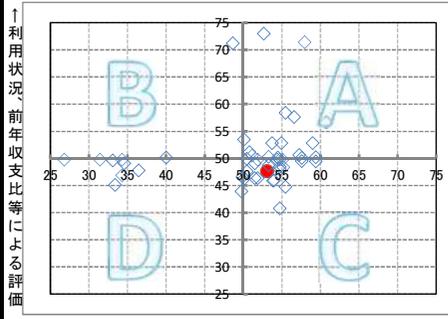
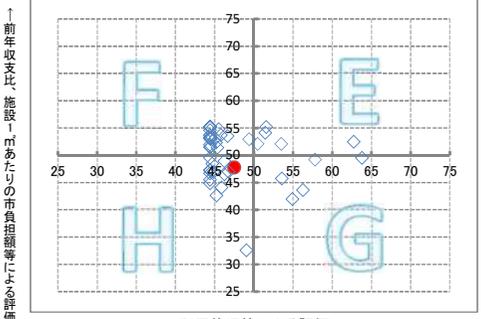
基本情報	リストNo	04-019	施設コード	02320	主管課	市民部博物館			
	施設名	姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館			所管課	浜名区・北行政センター			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	多くの人が歴史に接する機会の創出							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		教育、学術及び文化の発展に寄与するため設置(浜松市博物館条例第1条) 浜名湖の漁労、蘭草栽培、姫街道、銅鐸等の歴史文化資産を保管・展示する施設							
		主な業務内容	考古・民俗・歴史・自然等に関する博物館資料の収集・保管・展示、施設管理						
		主な利用者	市民・観光客・歴史愛好家ほか						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		平成23年度の入館料の無料化後、一定の需要が見込まれる。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		近隣小中学生の郷土学習や歴史愛好家の研究に欠かせない資料があり、継続的な需要を保持している。						
	特記事項		地域の貴重な遺産を保護・活用し、後世に継承していくために重要な施設と考えられる。						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		常設展示	2024	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2023	—	—	—	3,780		
			2022	—	—	—	3,981		
事業②		巡回展の開催	2024	—	—	—	1,377		
			2023	—	—	—	2,798		
			2022	—	—	—	2,696		
事業③		—	2024	0	0	0	0		
			2023	0	0	0	0		
			2022	—	—	—	—		
事業④	—	2024	0	0	0	0			
		2023	0	0	0	0			
		2022	—	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	3,780	3,555	3,981	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	300	301	297	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	3,449	3,857	2,764	1人当たりのコスト(円)	569	677	433	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	7,173	7,997	5,808	
	1日当たり利用者(人)	13	12	13	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)	
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>利用状況等による評価→</p>	
【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】	<p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い</p> <p>B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある</p> <p>C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある</p> <p>D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い</p> <p>F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある</p> <p>G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある</p> <p>H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>	
	施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	建築後40年以上が経過し、建物の老朽化が随所に見られるようになってきた。小規模な修繕は行ってきたが、消防設備の更新など、今後大規模な修繕を必要とする箇所がある。またエレベーターやトイレ等ユニバーサルデザインに対応していない設備がある。			
対応策	来館者の安全面を考え、不具合な箇所を臨時的に修繕していく。経年劣化による施設の不具合については、重要性、危険度合等を考慮し、計画的に修繕を行っていく。			
今後の方針				
見直し方針	方向性	該当	備考欄	
	廃止	—		
	民間移管	—		
	管理主体変更	—		
	非保有	—		
	統廃合	—		
民活導入	複合化	○		
	広域化	—		
	重要な地域遺産の保存は、市が適切に管理する必要がある。活用の面においても展示は、市がおこなうことが望ましいと思われるが、企画については民間活力を導入する余地はある。(資料館における体験型の企画等)			
個別方針	他施設との複合化について、地元意見などを踏まえて慎重に検討する。			

基本情報	リストNo	04-020	施設コード	00333	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	地域資源の保全と活用						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		奥浜名湖地区の農村文化及び観光資源の総合的な情報提供並びに地域の活性化を図る。						
		主な業務内容	案内所の管理及び旬彩市等の運営					
		主な利用者	主に大人					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		年々利用者が増加している					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		地域の農家を含めた住民の成果を披露できる場であり、今後も役割は益々高まると思われる。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況 のべ募集人員 参加者数	
事業①		総合案内所の管理・運営		2024	7,226	— 90,861		
		—		2023	5,996	— 83,871		
		—		2022	8,100	— 76,386		
事業②		—		2024	—	— —		
		—		2023	—	— —		
		—		2022	—	— —		
事業③		—		2024	—	— —		
		—		2023	—	— —		
		—		2022	—	— —		
事業④	—		2024	—	— —			
	—		2023	—	— —			
	—		2022	—	— —			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	90,861	83,871	76,386	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	361	361	360	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	66	14,596	13,277	1人当たりのコスト(円)	0	100	100
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	105	23,194	21,156
	1日当たり利用者(人)	252	232	212	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>	
			<p>品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)</p> <p>↑利用状況、前年収支比率等による評価</p>
供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)		<p>供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)</p> <p>↑前年収支比率、施設1人当たりの市食料額等による評価</p>	
<p>供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)</p> <p>→利用状況等による評価→</p>			
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>			
<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>			
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	隣接する気賀関所との一体管理に伴い、両施設において地域住民や観光客を取り入れたりと、他施設と連携した事業を展開し、更なる利用者の拡大や地域貢献を目指した運営を行う。また、好評を博している旬彩市においては、今後も地域農業者の生産物の展示・販売の舞台として質的向上を期待。		
対応策	地域住民、農業者、各種団体等との調整が必要である。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
民活導入	複合化	○	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
個別方針	当面適切な維持管理に努める。大規模な改修等が必要となった時点で、利用状況を踏まえ複合化も検討する。		

基本情報	リストNo	04-021	施設コード	00479	主管課	産業部観光・シティプロモーション課		
	施設名	気賀関所			所管課	浜名区・北行政センター		
施設運営分析	関連政策名	魅力ある観光コンテンツ造成による観光誘客の促進						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		復元した関所を公開し、気賀関所に関する資料の保存と活用を図り、もって郷土文化の発展及び観光の振興に資する。						
		主な業務内容	関所の保存及び公開に関する業務、関所に関する資料の収集、保管及び展示に関すること等					
		主な利用者	観光客、浜松市民					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		郷土文化の発展及び観光振興施設として一定の需要は見込まれる。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
事業②		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
事業③		—		2024	0	0	0	
		—		2023	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	
事業④	—		2024	0	0	0		
	—		2023	0	0	0		
	—		2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	10,279	10,669	9,863	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	357	360	360	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	14,472	12,695	12,412	1人当たりのコスト(円)	482	407	431
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	13,874	12,069	11,800
	1日当たり利用者(人)	29	30	27	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

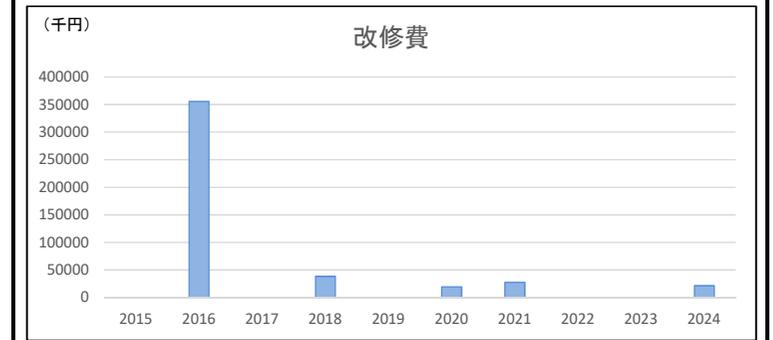
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		 <p>利用状況等による評価→</p>	
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い</p> <p>B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある</p> <p>C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある</p> <p>D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い</p> <p>F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある</p> <p>G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある</p> <p>H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	平成2年創設から30年以上を経過し、経年劣化による施設設備の損傷・故障等が発生している。指定管理者制度導入施設であり、リスク分担に基づいて、一定規模の修繕については、指定管理者において実施しているものの、大規模な改修等は市で実施する必要がある。		
対応策	優先度を設定し修繕計画を立て、計画的に修繕を行うとともに、突発的な緊急修繕には事後保全により対応していく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	平成27年度より隣接した「奥浜名湖田園空間博物館総合案内所」との一体管理を導入している。		
個別方針	現在の運営状況等を踏まえ、当面の間は、現行の指定管理による運営を継続する。		

リストNo	04-022	施設コード	05055	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	浜松市地域遺産センター			
所在(町名・番地)	浜名区引佐町井伊谷616-5			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	市民部文化財課			
所管課	市民部文化財課			
設置根拠(法)	文化財保護法			
条例				
設置目的	市内の文化財等の保存・活用を図る。			
主な利用者	市民、観光客			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	09:00～17:00			
土地情報	土地面積	3,120.00 m ²	総延床面積	3,136.43 m ²
	うち所有面積	3,120.00 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	3
立地適正	代表地目(現況地目)	宅地	耐震性能(1e値)(主要建物)	新
	用途地域	第一種住居地域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1982/11/30
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	42
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	○
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用	○
特記事項	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	○
	緊急避難場所		多機能トイレ	○
	避難所		太陽光発電	
		脱炭素	ZEBの種類	
※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	239	300	242
	収入計(A)	239	300	242
支出(千円)	人件費	59,284	58,157	61,951
	物件費(委託料)	6,420	6,627	6,479
	物件費(光熱水費)	12,036	10,606	13,665
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)		78,690	76,445	82,676
行政コスト(B-A)		78,451	76,145	82,434
収支前年比		103.03	92.37	120.41
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		18,489	18,489	18,489
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	76,035	160,188	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	655,605	—	655,605
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	655,605	—	655,605

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2024	自家発電設備更新工事	21,429			
2021	受変電設備改修工事	27,422			
2020	給水設備改修工事	19,470			
2018	外壁改修工事	25,134			
2018	屋根防水工事	13,183			
2016	地域遺産センター改修工事(機械)	118,584			
2016	地域遺産センター改修工事(電気)	51,499			
2016	地域遺産センター改修工事(建築)	185,847			
2007	空調設備修繕工事	4,305			
2007	消火栓配管改修工事	4,725			



近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
04-030	横尾歌舞伎伝承館 開明座(旧東四村農村コミュニティセンター)	コミュニティ	1.0	
01-018	引佐支所	地域	0.1	
06-015	引佐図書館	地域	0.2	
03-014	引佐多目的研修センター	地域	0.2	
08-019	引佐保育園	生活	0.3	
18-003	引佐文化財収蔵庫	地域	0.3	
15-084	井伊谷小学校	生活	0.3	
08-069	引佐幼稚園	生活	0.4	
07-066	井伊谷放課後児童会	生活	0.4	

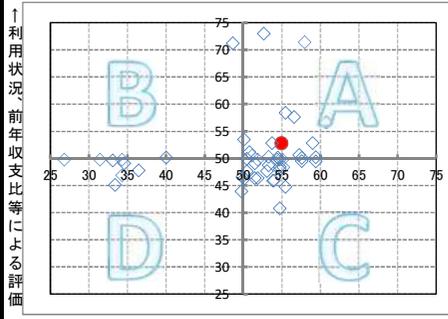
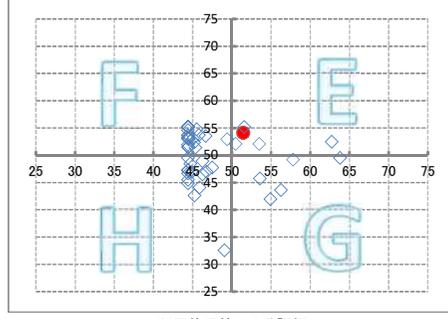
基本情報	リストNo	04-022	施設コード	05055	主管課	市民部文化財課		
	施設名	浜松市地域遺産センター			所管課	市民部文化財課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	文化、芸術、歴史の魅力に触れ、学び、楽しむ機会、場の提供						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		市内の文化財等の保存・活用を図る。						
		主な業務内容	文化財等資料の安定的保管、展示・講座・情報発信等による文化財保護の啓発、埋蔵文化財の調査・開発調整					
		主な利用者	市民、観光客					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		文化財保護の観点から必要性は変わらない。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		文化財保護の拠点施設として、今後の必要性は高まると予測される。					
	特記事項		3階部分は未改修である。					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況 のべ募集人員 参加者数	
事業①		展示事業 企画展「はままつ文化財速報展2024・古墳時代のでっかい土器」「浜名湖北岸の古墳時代」常設展「戦国の井伊谷」通常展「出土品が語る浜松の歴史」※参加者数は通年来場者数	2024	103	不特定	5,769		
			2023	96	不特定	7,633		
			2022	194	不特定	5,843		
事業②		体験学習事業:1回 ・ふれてみよう!考古学の世界(8/3(土)~8/18(日))	2024	45	不特定	138		
			2023	37	不特定	247		
			2022	15	不特定	477		
事業③		見学会事業:3回 ・「へりさんぽ31 井伊谷の古代遺跡をめぐる」(5/4(土)) ・「大屋敷C古墳群発掘調査現地説明会」(10/19(日)) ・「万斛遺跡発掘調査現地説明会」(12/14(日))	2024	—	不特定	137		
			2023	—	不特定	50		
			2022	—	50	50		
事業④	—	2024	0	0	0			
		2023	—	—	—			
		2022	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	5,769	7,633	5,843	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	264	292	270	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	25,013	24,278	26,283	1人当たりのコスト(円)	13,599	9,976	14,108
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	297,163	260,771	305,311
	1日当たり利用者(人)	22	26	22	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	↑利用状況、前年収支比率等による評価		→前年収支比率、施設1あたりの市食振替額等による評価
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→		利用状況等による評価→
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	地域遺産センターは旧引佐町役場の建物及び設備の一部を改修し、用途替えたものである。未改修部分は築40年以上経過し、老朽化が著しい。設備更新若しくは修繕の必要な箇所が複数みられる。		
対応策	修繕の緊急性・必要性の高い箇所から優先順位をつけ、工事を行っていく必要がある。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
複合化	○	地域振興・観光振興等における利活用も視野に入れる	
広域化	—	—	—
民活導入	現在は、(公社)浜松市シルバー人材センターへ受付・案内・販売・清掃等を委託しており、円滑に運営されているため、当面は現状の体制を継続予定であるが、将来的には包括的な委託や指定管理者制度の導入等を視野に入れて検討する。		
個別方針	当面、適切な維持管理に努める。		

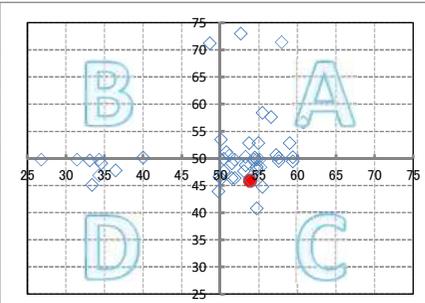
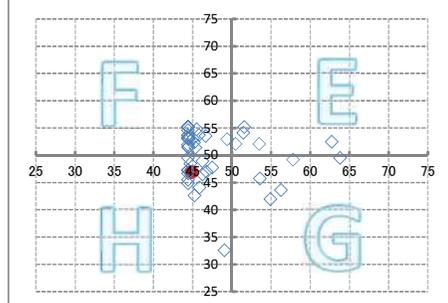
基本情報	リストNo	04-023	施設コード	00124	主管課	産業部農地整備課		
	施設名	みかんの里資料館			所管課	産業部農地整備課		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	地域資源の保全と活用						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		奥浜名湖地区の農村文化及び観光資源の情報提供並びに地域の活性化を図る。(みかん栽培の歴史等を通じて)						
		主な業務内容	みかん等農産物栽培に係る農具等の展示					
		主な利用者	主に地域住民(子供～大人)					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		みかん栽培に係る農具は地域の産業的遺産であり、保存、展示する資料館の役割は益々高まると思われる。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		資料館の運営	2024	3,584	—	5,045		
			2023	3,873	—	4,380		
			2022	3,801	—	3,914		
			2024	—	—	—		
事業②		—	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2024	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2024	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
	2024		—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	5,045	4,380	3,914	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	308	309	308	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	3,018	4,947	4,986	1人当たりのコスト(円)	153	289	326
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	2,510	4,100	4,146
	1日当たり利用者(人)	16	14	13	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→ ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。		
供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
利用状況等による評価→			
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある			
【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある			
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	三ヶ日みかんの歴史に関する学習の場として、更なる利用者数の増加に向けた新たな取り組みが必要である。		
対応策	展示物の更新及びみかんに関する講座等の実施にあたっては、農協、地元自治会・農家等と協議を行う。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	○	—
複合化	○	—	
広域化	—	—	
民活導入	みかん栽培に精通した本地域の団体等への管理委託の可能性の検討。		
個別方針	現在の運営状況を踏まえ、民間から幅広い意見を聴く中で、コンテンツの見直しなど魅力の向上を図るとともに、他施設との複合化、統廃合を検討する。		

基本情報	リストNo	04-024	施設コード	04331	主管課	—			
	施設名	ヤマタケの蔵			所管課	天竜区・まちづくり推進課			
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	地域総がかりによる文化財の保存・継承と活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		国登録有形文化財の蔵3棟(南の蔵、新蔵、北の蔵)と同じ敷地に、文化交流や地域交流の拠点として地域活性化に資するため交流棟を設置。							
		主な業務内容	交流棟(多目的スペース・ワークショップスペース)の貸館業務						
		主な利用者	一般市民						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用がある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も一定の利用が見込まれる。						
	特記事項		平成27年8月に既存の蔵3棟が国登録有形文化財に登録された。						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		交流棟(多目的スペース・ワークショップスペース)の貸館業務 ※天竜商工会、クローバー通り商店会等の開催する地域の活性化イベントへの貸し出し	2024	—	0	12,089			
			2023	—	0	17,581			
			2022	—	—	4,700			
			2024	0	0	0			
事業②		—	2023	0	0	0			
			2022	—	—	—			
事業③		—	2024	0	0	0			
			2023	0	0	0			
事業④		—	2022	—	—	—			
	2024		0	0	0				
	—	2023	0	0	0				
		2022	—	—	—				
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	28,380	34	53	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	333,960	510	510	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	12,089	17,581	4,700	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	253	255	255	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	2,103	6,755	2,467	1人当たりのコスト(円)	44	97	133	
	施設利用率(%)	8.5	6.7	10.4	1開館日当たりのコスト(円)	2,099	6,690	2,443	
	1日当たり利用者(人)	48	69	18	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
 <p>↑利用状況、前年収支比率等による評価</p> <p>→前年収支比率(施設1棟あたりの市営採算額等)の評価</p>		 <p>→利用状況等による評価</p>	
<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>			
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	既存の蔵3棟が平成27年8月に国登録有形文化財に登録された。大正時代に建築された歴史的価値のある古建築物であるため、安全な維持管理が必要である。		
対応策	国登録有形文化財に登録された既存の蔵3棟について、文化財として適切な維持管理に努めていく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
民活導入	複合化	—	—
	広域化	—	—
	—	—	—
個別方針	国登録有形文化財に登録された既存の蔵3棟について、文化財として適切な保存に努める。		

基本情報	リストNo	04-025	施設コード	02118	主管課	市民部文化財課		
	施設名	内山真龍資料館			所管課	天竜区・まちづくり推進課		
	複合施設	長屋門(市指定有形文化財)・天竜の家ふれあい館						
施設運営分析	関連政策名	多くの人が歴史に接する機会の創出						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		内山真龍の業績及び遠江の国学に関する知識を広め、文化の向上に資するため設置(浜松市立内山真龍資料館条例第1条)						
		主な業務内容	内山真龍及び遠州国学に関する資料の他、天竜地域の歴史及び文化財に関する資料の保管・展示・調査等					
		主な利用者	一般市民					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の入館者がある。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も一定の入館者が見込まれる。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況 のべ募集人員 参加者数	
事業①		常設展Ⅰ「真龍と信仰」R6.3.13～R6.6.2/常設展Ⅱ「画人としての真龍」R6.6.21～R6.9.15/常設展Ⅲ「真龍会による昭和の贈位運動」R6.10.4～R6.12.22/特別展「天竜を想う～懐かしの写真と旧家に遺された史料から～」R7.1.8～R7.3.9		2024	140	— 通年1,495人		
				2023	140	— 通年806人		
				2022	150	— 通年830人		
事業②				2024	0	0 0		
				2023	0	0 0		
事業③				2024	0	0 0		
				2023	0	0 0		
事業④				2024	0	0 0		
				2023	0	0 0		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	1,495	806	830	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	212	211	212	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
	参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023
行政コスト/面積(円)		30,930	23,407	23,745	1人当たりのコスト(円)	9,684	13,593	13,390
施設利用率(%)		—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	68,288	51,924	52,425
1日当たり利用者(人)		7	4	4	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
図書貸出率(%)		—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
入居率(%)		—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

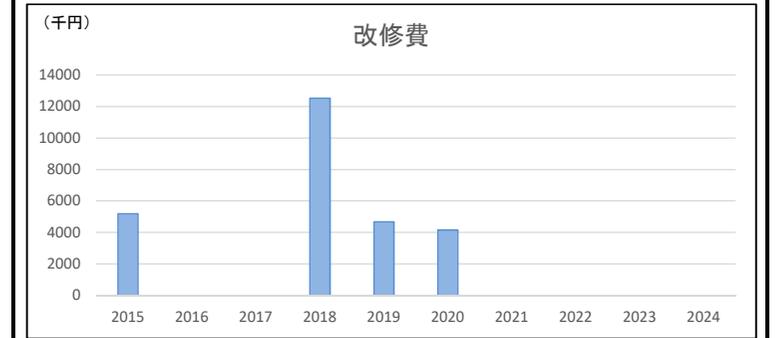
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>			
<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>			
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	平成8年に建設されたため、設備の経年劣化により、修繕を必要とする箇所が多数ある。直近の空調設備保守点検では、学習室の空調設備について、ユニットの経年劣化が進んでいるので設備の更新を検討する必要がある。また、庭の樹木やその支柱、竹垣も老朽化が著しく景観を損ねている。		
対応策	令和6年度突発的に展示室空調機が故障し動かなくなったため更新工事を実施した。展示室と同時期に設置した学習室の空調設備もいつ故障するか分からない状態のため早めの改修が必要である。景観を守るため庭の整備も必要である。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	複合化	○	—
個別方針	当面適切な維持管理に努める。		

リストNo	04-026	施設コード	01715	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	相津マリーナ			
所在(町名・番地)	天竜区相津85-2			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
所管課	天竜区・まちづくり推進課			
設置根拠(法)				
条例	浜松市天竜相津マリーナ条例			
設置目的	船明ダム湖面の安全な観光利用を図るため。			
主な利用者	カヌー愛好者 小中高校生の課外活動 その他一般の観光客			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2024/04/01 ~			
管理者名	株式会社杉の里・有限会社天龍遊船共同事業体			
開館時間	午前8時30分～日没			
土地情報	土地面積	2,460.06 m ²	総延床面積	322.86 m ²
	うち所有面積	542.26 m ²	構造(主要建物)	木造
	うち借地面積	1,917.80 m ²	地上階数(主要建物)	1
代表地目(現況地目)	宅地		耐震性能(Is値)(主要建物)	新
用途地域	都市計画区域外		耐震工事(主要建物)	-
立地適正化計画	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1984/8/1
	都市機能誘導区域	-	経過年数(主要建物)	40
	居住誘導区域	-		
防災情報	土砂災害警戒区域※	○	身障者用駐車場	
	浸水エリアの場合の浸水深		車イスでの施設利用	
	洪水ハザードマップ※	1m~3m	エレベーター	
	南海トラフ巨大地震津波※		多機能トイレ	
緊急避難場所		脱炭素	太陽光発電	
避難所			ZEBの種類	
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。			



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	70	488
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	35	154	99
	収入計(A)	35	224	587
	人件費	3,553	3,864	4,028
支出(千円)	物件費(委託料)	199	199	197
	維持補修費(修繕費)	0	222	505
	物件費(光熱水費)	469	442	490
	物件費(借地料)	629	627	671
	支出計(B)	4,850	5,354	5,891
行政コスト(B-A)	4,815	5,130	5,304	
収支前年比	93.86	96.72	106.06	
(参考)指定管理料	5,363	5,039	5,095	
(参考)減価償却費	0	0	0	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	5,790	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	65,146	-	65,146	
財源	国・県	15,000	-	15,000
	寄付金	-	-	-
	その他	-	-	-
	市債	30,000	-	30,000
	一般財源	20,146	-	20,146

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	浜松市相津マリーナ艇庫外壁及び屋根修繕工事	4,166			
2019	浜松市天竜相津マリーナ管理事務所外壁及び屋根改修工事	4,675			
2018	浜松市天竜相津マリーナ管理事務所浄化槽設置工事	12,540			
2015	舟艇揚降クレーン更新工事	5,184			



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-099	天竜第7分団相津	コミュニティ	0.4
05-030	伊砂ボートパーク艇庫	地域	0.8
05-028	天竜ボート場艇庫	地域	0.8
05-029	天竜林業体育館	地域	0.8
16-007	天竜自然体験センター湖畔の家	市域	0.9
25-024	旧月簡易水道	-	1.1

基本情報	リストNo	04-026	施設コード	01715	主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
	施設名	相津マリーナ			所管課	天竜区・まちづくり推進課			
施設運営分析	関連政策名	魅力ある観光コンテンツ造成による観光誘客の促進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		船明ダム湖面の安全な観光利用を図るため。							
		主な業務内容	○カヌーの貸出し・保管 ○カヌー教室の開催 ○ダム湖面の安全管理						
		主な利用者	カヌー愛好者 小中高校生の課外活動 その他一般の観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		アウトドアツーリズム需要は堅調に推移すると見込まれる。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		湖面利用の安全管理指導に関すること。	—	2024	—	—	—		
				2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
事業②		舟艇の貸付、保管及び管理に関すること。	—	2024	—	—	—		
	2023			—	—	110			
事業③	—	—	2024	0	0	0			
			2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2024	0	0	0			
事業④	—	—	2024	—	—	—			
			2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	110	751	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	34	317	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	14,914	15,889	16,428	1人当たりのコスト(円)	—	46,636	7,063	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	150,882	16,732	
	1日当たり利用者(人)	—	3	2	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	一定規模の修繕については指定管理者負担で行っているものの、大規模な改修や設備更新については市で実施する必要がある。県補助金等により建設した施設。
対応策	計画的に建物の修繕(平成30年度管理事務所浄化槽設置工事、令和元年度管理事務所屋根及び外壁塗装工事、令和2年度艇庫の屋根及び外壁改修工事)を実施した。建物の維持管理を行いつつ、突発的な緊急修繕にも対応していく。

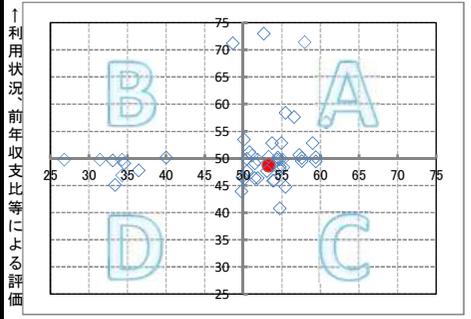
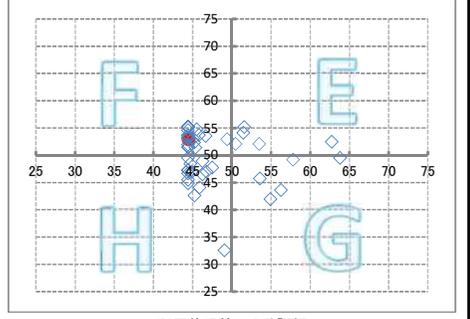
今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—

民活導入 指定管理者制度導入済み

個別方針 相津マリーナは、平成28年度から指定管理により天竜ポート場・湖畔の家・林業体育館と一体管理を実施しており、運営の効率化を図っている。現在の指定管理による運営により、適切な維持管理を実施していく。

基本情報	リストNo	04-027	施設コード	01224	主管課	市民部博物館		
	施設名	春野歴史民俗資料館			所管課	天竜区・春野支所		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	多くの人が歴史に接する機会の創出						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		教育、学術及び文化の発展に寄与するため設置(浜松市博物館条例第1条)犬居城、秋葉山、王子製紙等の考古・民俗・歴史・自然等に関する博物館資料の収集・保管・展示						
		主な業務内容	考古・民俗・歴史・自然等に関する博物館資料の収集・保管・展示、施設管理					
		主な利用者	市民、観光客、歴史愛好家					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も一定の利用が予想される。					
	特記事項		歴史博物館として地域の文化遺産継承に必要不可欠な施設					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		常設展示	2024	0	不特定	900		
			2023	0	不特定	702		
			2022	0	不特定	1,190		
事業②		勝坂神楽企画展(R6.9.21~R7.1.19)	2024	0	不特定	427		
			2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
事業③		企画展「春野の学校」(R6.1.13~R6.5.26)	2024	—	不特定	101		
			2023	—	不特定	169		
			2022	—	—	—		
事業④	—	2024	—	—	—			
		2023	—	—	—			
		2022	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	900	702	1,190	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	290	281	287	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	4,942	6,562	3,498	1人当たりのコスト(円)	2,593	4,415	1,388
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	8,048	11,028	5,756
	1日当たり利用者(人)	3	2	4	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		 <p>利用状況等による評価→</p>	
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い</p> <p>B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある</p> <p>C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある</p> <p>D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い</p> <p>F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある</p> <p>G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある</p> <p>H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	建築後30年が経過し、空調機械設備の更新と、床材等建築設備の修繕対応が必要である。		
対応策	適切な施設維持管理のため緊急性の高いものから修繕を行い、必要に応じて機械設備の更新も計画していく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	複合化	○	図書館と連携して運営
広域化	—	—	
民活導入	現段階では民活導入は難しい。		
個別方針	当面は適切な維持管理に努め、現状施設を継続して活用する。今後は併設する図書館、近隣施設の動向を踏まえて複合化を検討する。		

リストNo	04-028	施設コード	02248	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	白井鐵造記念館			
所在(町名・番地)	天竜区春野町宮川1768			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	市民部市民協働・地域政策課			
所管課	天竜区・まちづくり推進課			
設置根拠(法)				
条例	浜松市白井鐵造記念館条例			
設置目的	浜松市名誉市民である白井鐵造の功績を称え、紹介するとともに、これを次代に継承する。			
主な利用者	観光客や宝塚歌劇団愛好者など			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	09:00～17:00			
土地情報	土地面積	0.00 m ²	総延床面積	52.17 m ²
	うち所有面積	0.00 m ²	構造(主要建物)	木造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1
立地適正化計画	代表地目(現況地目)		耐震性能(1a値)(主要建物)	新
	用途地域	都市計画区域外	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1987/3/25
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	38
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	
	洪水ハザードマップ※	～0.3m	車イスでの施設利用	
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	
脱炭素	緊急避難場所		多機能トイレ	
	避難所		太陽光発電	
ZEBの種類				
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。			



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	195	216	216
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	20	18	14
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	215	234	230	
行政コスト(B-A)	215	234	230	
収支前年比	91.88	101.74	99.14	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	8,500	—	8,500
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	8,500	—	8,500
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

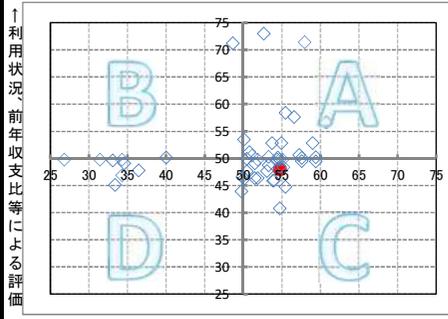
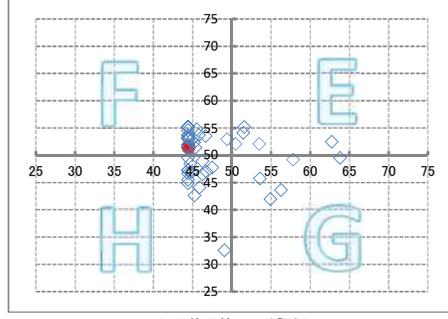


近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-049	天狗下駄展示場	小規模等	0.0
04-027	春野歴史民俗資料館	地域	1.3
03-019	春野文化センター	地域	0.0
25-046	宮川水道倉庫	—	0.5
26-022	気田浄化センター	—	0.6
21-006	春野斎場	地域	0.6
14-118	春野第3分団宮川	コミュニティ	0.8
14-025	天竜消防署春野出張所・防災センター	地域	1.0
01-022	春野支所	地域	1.0
10-017	春野福祉センター	地域	1.2

基本情報	リストNo	04-028	施設コード	02248	主管課	市民部市民協働・地域政策課			
	施設名	白井鐵造記念館			所管課	天竜区・まちづくり推進課			
施設運営分析	複合施設								
	関連政策名	地域総がかりによる文化財の保存・継承と活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		浜松市名誉市民である白井鐵造の功績を称え、紹介するとともに、これを次代に継承する。							
		主な業務内容	施設管理業務						
		主な利用者	観光客や宝塚歌劇団愛好者など						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	宝塚歌劇団や、白井氏が残した功績への関心は高く、需要は確保される						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	宝塚歌劇団や、白井氏が残した功績への関心は高く、ニーズは維持される						
		特記事項	「すみれの花咲く頃」の歌碑が移設された						
主な事業	事業名・開催回数(2024)				年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	白井鐵造愛用品等の展示	2024	—	未定数	2,280	のべ募集人員	参加者数	
			2023	—	未定数	2,422			
			2022	—	未定数	2,081			
			2024	0	0	0			
	事業②	—	2023	0	0	0	—	—	
			2022	—	—	—			
			2024	0	0	0			
	事業③	—	2023	0	0	0	—	—	
			2022	—	—	—			
2024			0	0	0				
事業④	—	2023	0	0	0	—	—		
		2022	—	—	—				
		2024	0	0	0				
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	2,280	2,422	2,081	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	302	302	297	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	4,121	4,485	4,409	1人当たりのコスト(円)	94	97	111	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	712	775	774	
	1日当たり利用者(人)	8	8	7	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>利用状況等による評価→</p>	
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】	<p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い</p> <p>B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある</p> <p>C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある</p> <p>D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い</p> <p>F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある</p> <p>G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある</p> <p>H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>	
	施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	施設全体の老朽化が進んでいるため修繕等が必要である。特に屋根部分は、コケ、カビ等の影響により、錆が生じ雨漏りの発生などにより館内展示資料が汚損する等、施設管理面で大きな影響が出る可能性がある。また、入口や通路のバリアフリー化の要望もある。			
対応策	施設維持のため、緊急性の高いものから修繕を行う。			
今後の方針				
見直し方針	方向性	該当	備考欄	
	廃止	—	—	
	民間移管	—	—	
	管理主体変更	—	—	
	非保有	—	—	
	統廃合	—	—	
	複合化	○	—	
	広域化	—	—	
民活導入	令和元年度より、NPO法人春野のえがおに日常管理を委託している。			
個別方針	当面適切な維持管理に努める。			

基本情報	リストNo	04-029	施設コード	01508	主管課	市民部博物館			
	施設名	水窪民俗資料館			所管課	天竜区・水窪支所			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	多くの人が歴史に接する機会の創出							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		教育、学術及び文化の発展に寄与するため設置(浜松市博物館条例第1条) 山間地の生活文化、街道文化資産の展示・保管施設							
		主な業務内容	考古・民俗・歴史・自然等に関する博物館資料の収集・保管・展示、施設管理						
		主な利用者	市民、児童生徒、観光客						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		当初に比べ来館者は減少している						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		来館者数は現在と比較横ばいと予想される						
	特記事項		貴重な中山間地の民俗資料の保存施設としてのニーズは高い						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		常設展示	2024	—	不特定	746			
			2023	—	不特定	567			
			2022	—	不特定	593			
事業②		巡回展の開催	2024	—	不特定	326			
			2023	—	—	—			
			2022	—	不特定	139			
事業③		—	2024	—	—	—			
			2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
事業④	—	2024	—	—	—				
		2023	—	—	—				
		2022	—	—	—				
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	746	567	593	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	200	200	200	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	5,264	2,905	3,103	1人当たりのコスト(円)	4,810	3,492	3,567	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	17,940	9,900	10,575	
	1日当たり利用者(人)	4	3	3	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→		利用状況等による評価→	
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	経年劣化の進行により、空調設備に不備が生じている。		
対応策	すぐにリニューアルが必要な程には至っていないが、必要な修繕などを施しながら良好な施設の維持に努めていく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	現段階では民活導入は難しい。		
個別方針	当面適切な維持管理に努める。		

基本情報	リストNo	04-030	施設コード	05633	主管課	市民部文化財課			
	施設名	横尾歌舞伎伝承館 開明座(旧東四村農村コミュニティセンター)			所管課	浜名区・北行政センター			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	分野別計画「文化・スポーツ」基本政策1のうち政策4「地域総がかりによる文化財の保存・継承と活用」							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		横尾歌舞伎伝承館「開明座」は静岡県指定無形民俗文化財「横尾歌舞伎」の保存・伝承・公開のための施設である。また、「横尾歌舞伎資料館」は江戸時代以来の台本・衣装・かつらなどが保存され、希望者に公開している。なお、「開明座」は自治会集会所としても利用されている。							
		主な業務内容	横尾歌舞伎伝承活動(稽古・公演)、歌舞伎関連資料の保存・公開、集会所						
		主な利用者	横尾歌舞伎保存会、東四村地区住民、一般市民						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		横尾歌舞伎の定期公演は毎年満席である。また、外部出演の依頼も多く、稽古、衣装整備等の伝承活動は常に行われている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		県指定無形民俗文化財「横尾歌舞伎」の伝承・保存施設として一定の利用が見込まれる。						
	特記事項		200年以上にわたり伝承されてきた民俗芸能を後世に継承していくために重要な施設と考えられる。						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		—	2024	—	—	—			
			2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2024	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2024	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2024	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2024	—	—	—			
利用状況		項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
		利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	4,096	4,191	2,333	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	754	-6	0	1人当たりのコスト(円)	128	-1	0	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

↑利用状況、前年収支比率等による評価

↑前年収支比率、施設1人当たりの市食払額等による評価

【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】

A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】

E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	令和6年度に空調設備更新工事を実施した。令和7年度には、LED化工事を実施する。建築後20年以上経過しており、外観の劣化やトイレのUD化が未対応である点が課題となっている。
対応策	計画的な改修を実施し、適正な維持管理を目指す。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	
	民間移管	—	
	管理主体変更	—	
	非保有	—	
	統廃合	—	
	複合化	—	
	広域化	—	

民活導入

—

個別方針

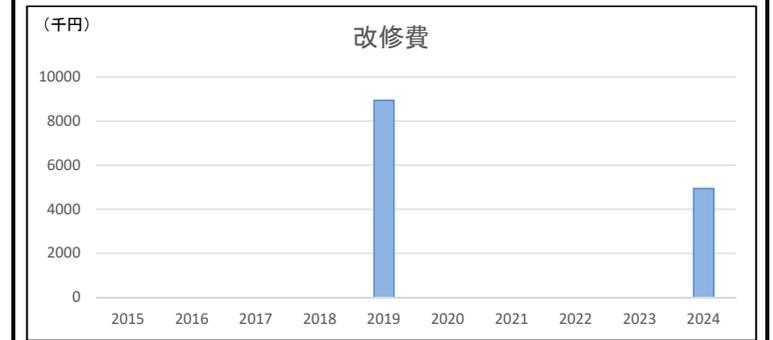
文化財の伝承・保存施設として適正な維持管理に努める。

リストNo	04-031	施設コード	02880	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	蜷塚公園			
所在(町名・番地)	中央区蜷塚四丁目19544			
利用者の圏域別分類等	文化財	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	市民部博物館			
所管課	市民部博物館			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	国指定史跡の蜷塚遺跡を保存し、教育、学術及び文化の発展に寄与するため。			
主な利用者	市民・児童生徒・観光客			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	21,483.00 m ²	総延床面積	553.47 m ²
	うち所有面積	12,588.00 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造
	うち借地面積	8,895.00 m ²	地上階数(主要建物)	2
代表地目(現況地目)	公園		耐震性能(I ₀ 値)(主要建物)	
用途地域	第一種中高層住居専用地域		耐震工事(主要建物)	-
立地適正化計画	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1964/3/1
	都市機能誘導区域	-	経過年数(主要建物)	61
	居住誘導区域	-		
防災情報	土砂災害警戒区域※		身障者用駐車場	○
	浸水エリアの場合の浸水深		車イスでの施設利用	○
	洪水ハザードマップ※		エレベーター	
	南海トラフ巨大地震津波※		多機能トイレ	
緊急避難場所		脱炭素	太陽光発電	
避難所			ZEBの種類	
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。 人件費、清掃業務、警備業務、光熱水費、借地料は博物館で一括計上。			



項目	2024	2023	2022	
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	40	33	34
	収入計(A)	40	33	34
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	3,036	2,944	2,805
	維持補修費(修繕費)	4,931	1,154	1,427
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	7,967	4,098	4,232
行政コスト(B-A)	7,927	4,065	4,198	
収支前年比	195.01	96.83	136.70	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	20	537	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	404,860	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	—	—	—	
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2024	浜松市博物館屋外灯更新工事	4,950			
2019	令和元年度 蜷塚公園復元家屋一号楼改修工事	8,943			



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-008	博物館	市域	0.0
04-032	旧高山家住宅	文化財	0.0
04-013	犀ヶ崖資料館	地域	1.6
04-015	賀茂真淵記念館	地域	1.7
04-007	美術館	市域	1.9
04-012	茶室「松韻亭」	地域	1.9
04-002	浜松城公園天守閣	広域	2.0
16-001	看護専門学校	市域	0.4
22-001	浜松医療センター	広域	0.4
15-102	蜷塚中学校	生活	0.5
13-007	蜷塚団地	地域	0.7
24-001	鴨江雨水調整池	—	0.8
15-122	佐鳴台中学校	生活	0.8
07-013	さなる放課後児童会	生活	0.9
26-007	御前谷ポンプ場	—	0.9

基本情報	リストNo	04-031	施設コード	02880	主管課	市民部博物館		
	施設名	蛭塚公園	所管課	市民部博物館				
施設運営分析	複合施設							
	関連政策名	多くの人が歴史に接する機会の創出						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)	国指定史跡の蛭塚遺跡を保存し、教育、学術及び文化の発展に寄与するため。					
		主な業務内容	縄文時代の復元家屋や貝塚展示施設を利用した歴史教育、体験型イベント、ガイドツアー					
		主な利用者	市民・児童生徒・観光客					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	多くの見学者があり需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	再整備事業を進めており、今後も多くの利用が予想される。						
	特記事項	文化遺産継承に必要な不可欠な遺跡公園(国指定史跡)						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)	年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		小中学校連携事業	2024	—	不特定	1,695		
			2023	—	不特定	2,652		
			2022	—	不特定	3,117		
			2024	0	不特定	201		
事業②		市民向け見学会(7回)	2023	0	0	0		
			2022	—	—	—		
			2024	0	0	0		
事業③		—	2023	0	0	0		
			2022	—	—	—		
	2024		0	0	0			
事業④	—	2023	0	0	0			
		2022	—	—	—			
		2024	0	0	0			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	14,322	7,345	7,585	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

↑利用状況、前年収支比率等による評価 ← 前年収支比率、施設1人当たりの市長報酬等による評価

【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	蛭塚遺跡は史跡整備開始から60年以上経過し、新しい研究成果の反映と現代社会に合わせた公園づくりが期待されている。
対応策	調査研究や史跡の再整備を進める。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	
	民間移管	—	
	管理主体変更	—	
	非保有	—	
	統廃合	○	別館及び第4収蔵庫は、再整備事業に基づき廃止。収蔵品は他施設へ移転する。
	複合化	—	
	広域化	—	

民活導入 博物館との一体的な再整備として、整備手法・運営体制を検討している。

個別方針 史跡蛭塚遺跡保存活用計画及び整備基本計画に基づき、魅力ある史跡を目指して整備を進める。

リストNo	04-032	施設コード	00533	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	旧高山家住宅			
所在(町名・番地)	中央区蛸塚四丁目22-1			
利用者の圏域別分類等	文化財	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	市民部博物館			
所管課	市民部博物館			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	教育、学術及び文化の発展に寄与するため。			
主な利用者	市民・児童生徒・観光客			
運営形態	直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	0.00 m ²	総延床面積	58.00 m ²
	うち所有面積	0.00 m ²	構造(主要建物)	木造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1
用途地域	代表地目(現況地目)		耐震性能(Ia値)(主要建物)	
	用途地域	第一種中高層住居専用地域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1980/3/1
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	45
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	-
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用	-
特記事項	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	-
	緊急避難場所		多機能トイレ	-
	避難所		太陽光発電	
		脱炭素	ZEBの種類	

※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。

歳出、歳入は博物館で一括計上。



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	0.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	—	—	—
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2015	西面茅葺き屋根改修工事	3,564			



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-008	博物館	市域	0.0
04-031	蛸塚公園	文化財	0.0
04-013	犀ヶ崖資料館	地域	1.6
04-015	賀茂真淵記念館	地域	1.7
04-007	美術館	市域	1.9
04-012	茶室「松韻亭」	地域	1.9
04-002	浜松城公園天守閣	広域	2.0
16-001	看護専門学校	市域	0.4
22-001	浜松医療センター	広域	0.4
15-102	蛸塚中学校	生活	0.5
13-007	蛸塚団地	地域	0.7
24-001	鴨江雨水調整池	—	0.8
15-122	佐鳴台中学校	生活	0.8
07-013	さなる放課後児童会	生活	0.9
26-007	御前谷ポンプ場	—	0.9

基本情報	リストNo	04-032	施設コード	00533	主管課	市民部博物館			
	施設名	旧高山家住宅			所管課	市民部博物館			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	多くの人が歴史に接する機会の創出							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		教育、学術及び文化の発展に寄与するため。							
		主な業務内容	古民家としての文化財保護と展示、かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし、昔のくらし体験館						
		主な利用者	市民・児童生徒・観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の見学者があり需要は確保されている。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	博物館や蛸塚公園と一体になった歴史学習の拠点として、継続的な需要を保持している。							
	特記事項	文化遺産継承に必要不可欠な建物							
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし(毎月第2土曜日)	2024	—	不特定	219			
			2023	—	不特定	222			
			2022	—	不特定	211			
			2024	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2024	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2024	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
	2024		—	—	—				
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
	参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
		行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
施設利用率(%)		—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
1日当たり利用者(人)		—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
図書貸出率(%)		—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
入居率(%)		—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	建物の老朽化により補強等の対策が必要となっている。
対応策	かや葺き屋根の葺き替え修繕を主として計画的に修繕を実施する。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—

民活導入 蛸塚遺跡公園内の構成要素の一つとして、再整備の中で事業手法を検討している。

個別方針 文化財として適切な保存に努める。

リストNo	04-033	施設コード	04327		
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設				
施設名	旧浜松銀行協会				
所在(町名・番地)	中央区栄町3-1				
利用者の圏域別分類等	文化財	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
主管課	市民部創造都市・文化振興課				
所管課	市民部創造都市・文化振興課				
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市旧浜松銀行協会条例				
設置目的	市指定有形文化財である歴史的建造物の保存及び活用についての市民意識の高揚を図るとともに、郷土ゆかりの映画監督木下恵介に関する資料の展示施設及び文化芸術活動の拠点施設として市民の文化の向上を図る。(浜松市旧浜松銀行協会条例第1条)				
主な利用者	木下作品のファン、近隣の小学生等				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~				
管理者名	浜松創造都市協議会・東海ビル管理グループ				
開館時間	09:00~17:00				
土地情報	土地面積	564.71 m ²	総延床面積	566.47 m ²	
	うち所有面積	564.71 m ²	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	2	
代表地目(現況地目)	宅地		耐震性能(Ia値)(主要建物)	0.83	
用途地域	近隣商業地域		耐震工事(主要建物)	-	
立地適正化計画	誘導施設	建物情報		建築年月日(主要建物)	1930/4/30
	都市機能誘導区域	-	経過年数(主要建物)	95	
	居住誘導区域	-			
防災情報	土砂災害警戒区域※	U		身障者用駐車場	
	浸水エリアの場合の浸水深	D		車イスでの施設利用	
	洪水ハザードマップ※	化		エレベーター	
	南海トラフ巨大地震津波※	情		多機能トイレ	○
緊急避難場所	報		太陽光発電		
避難所	素		ZEBの種類		
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



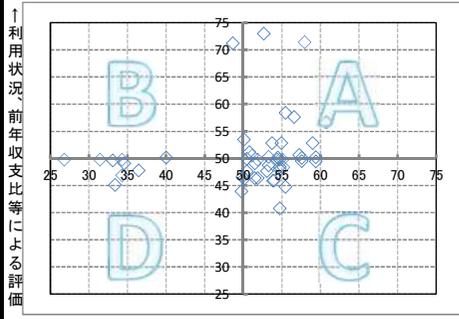
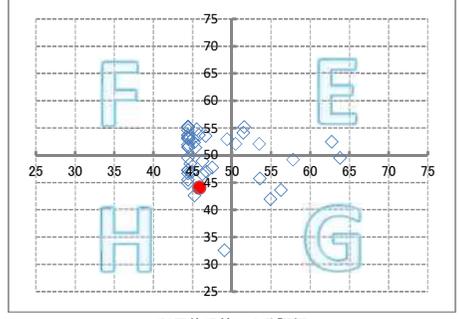
項目	2024	2023	2022	
収入(千円)	使用料・手数料	901	1,238	588
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	69	231	206
	収入計(A)	970	1,469	794
支出(千円)	人件費	11,065	11,116	10,582
	物件費(委託料)	1,392	1,392	1,392
	維持補修費(修繕費)	47	14	0
	物件費(光熱水費)	657	612	697
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	13,161	13,134	12,671	
行政コスト(B-A)	12,191	11,665	11,877	
収支前年比	104.51	98.22	105.12	
(参考)指定管理料	14,360	14,360	14,300	
(参考)減価償却費	2,039	2,039	2,039	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	47,135	61,179	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	—	—	—	
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2018	塀改修工事	5,908			
2009	改修工事	26,784			

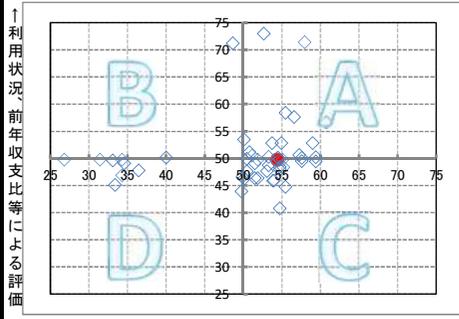
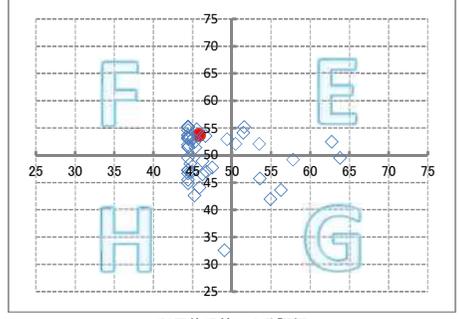


近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-014	浜松復興記念館	地域	0.2
04-002	浜松城公園天守閣	広域	0.8
04-007	美術館	市域	0.8
04-015	賀茂真淵記念館	地域	0.9
04-012	茶室「松韻亭」	地域	1.2
04-001	アクトシティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)	広域	1.3
04-009	浜松科学館	市域	1.4
04-013	犀ヶ崖資料館	地域	1.7
03-007	鴨江アートセンター	地域	0.1
22-004	夜間救急室	市域	0.3
15-001	西小学校	生活	0.4
19-003	ザザシティ駐車場	地域	0.4
07-001	浜松こども館	市域	0.5
01-006	ザザシティ浜松中央館5階	市域	0.5
14-028	浜松第1分団	コミュニティ	0.5
06-001	中央図書館	市域	0.6

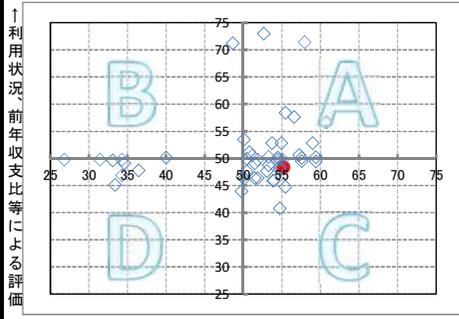
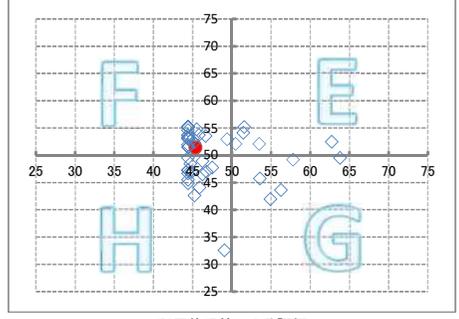
基本情報	リストNo	04-033	施設コード	04327	主管課	市民部創造都市・文化振興課			
	施設名	旧浜松銀行協会			所管課	市民部創造都市・文化振興課			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	音楽のあふれるまちづくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		市指定有形文化財である歴史的建造物の保存及び活用についての市民意識の高揚を図るとともに、郷土ゆかりの映画監督木下恵介に関する資料の展示施設及び文化芸術活動の拠点施設として市民の文化の向上を図る。(浜松市旧浜松銀行協会条例第1条)							
		主な業務内容	展示業務、貸し館業務、上映会等開催業務						
		主な利用者	木下作品のファン、近隣の小学生等						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化が進んでおり、ニーズは変化していく可能性がある。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		展示事業	2024	—	—	のべ募集人員	参加者数		
			2023	—	—	—	1,387		
			2022	—	—	—	1,283		
事業②		上映会事業・毎月いずれか1日(1日2回上映)開催、年間24回	2024	—	1,920	—	1,103		
	2023		—	1,920	—	873			
	2022		—	1,920	—	767			
事業③	出張上映会・6回実施	2024	—	—	—	201			
		2023	—	—	—	190			
		2022	—	—	—	171			
事業④	—	—	—	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	35,040	1,447	738	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	284,160	4,736	7,696	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	6,582	6,242	5,241	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	296	296	296	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	21,521	20,592	20,967	1人当たりのコスト(円)	1,852	1,869	2,266	
	施設利用率(%)	12.3	30.6	9.6	1開館日当たりのコスト(円)	41,186	39,409	40,125	
	1日当たり利用者(人)	22	21	18	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】			
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い			
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある			
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある			
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある			
【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】			
E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い			
F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある			
G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある			
H:利用状況、財務状況全てに課題がある			
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	建造から長期間が経過し、雨水染み込みのための壁面や天井の剥離、建具の建て付けの不良が目立つ。		
対応策	文化財(浜松市指定文化財)を活用した施設のため修繕に制限があるが、状態を確認しながら慎重に修繕等を行う。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
民生導入	複合化	—	—
	広域化	—	—
	歴史的建造物の保存・利用について館の市民周知、郷土ゆかりの映画監督木下恵介の魅力を発信する事業の充実などソフト事業について、民間活力の活用を基本に進める。		
個別方針	文化財として、当面適切な維持管理に努める。		

基本情報	リストNo	04-034	施設コード	02453	主管課	市民部文化財課			
	施設名	舞坂宿脇本陣			所管課	中央区・西行政センター			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	地域総がかりによる文化財の保存・継承と活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		復元した脇本陣を公開し、舞坂宿に関する資料の保存と活用を図り、地方文化の発展に資するため(浜松市舞坂宿脇本陣条例第1条)							
		主な業務内容	脇本陣の保存及び公開、舞坂宿に関する資料の収集、保管、展示						
		主な利用者	観光客						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の来館者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		横ばい						
	特記事項		—						
	事業名・開催回数(2024)		年度	事業費(千円)	実施状況				
主な事業	事業①	2024	—	—	—	—	—		
		2023	—	—	—	—	—		
		2022	—	—	—	—	—		
	事業②	2024	—	—	—	—	—		
		2023	—	—	—	—	—		
		2022	—	—	—	—	—		
	事業③	2024	—	—	—	—	—		
		2023	—	—	—	—	—		
		2022	—	—	—	—	—		
	事業④	2024	—	—	—	—	—		
		2023	—	—	—	—	—		
		2022	—	—	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	4,289	4,700	3,812	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	307	309	308	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	1,891	2,843	1,500	1人当たりのコスト(円)	149	204	133	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	2,081	3,110	1,646	
	1日当たり利用者(人)	14	15	12	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>利用状況等による評価→</p>	
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	修復後20年以上が経過し、経年劣化により修繕が必要な箇所が増えている。また以前施設が蟻害に遭っているため、白蟻対策も課題となる。		
対応策	経年劣化により修繕が必要な箇所が増えているため、重要度や危険度合等を考慮し、優先順位をつけて計画的に修繕を行っていく。蟻害対策については5年に1回の頻度で白蟻防除工事を行う。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	現段階では民活導入は難しいと考える。		
個別方針	文化財として、適切な保存に努める。		

基本情報	リストNo	04-035	施設コード	01198	主管課	市民部文化財課			
	施設名	重要文化財中村家住宅			所管課	中央区・西行政センター			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	地域総がかりによる文化財の保存・継承と活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		重要文化財中村家住宅という歴史的遺産の保存と活用を図り、文化に関する知識を深めるとともに、文化の向上及び発展に資することを目的とする。(重要文化財中村家住宅条例第1条)							
		主な業務内容	中村家住宅の公開、資料の収集・保管及び展示						
		主な利用者	観光客、学生、建築関係者、学識経験者						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の来館者はあり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		横ばい						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		(地域力向上事業)中村家住宅活用事業			2024	380	—	907	
					2023	750	—	1,015	
					2022	450	—	722	
					2024	—	—	—	
事業②		—			2023	—	—	—	
		—			2022	—	—	—	
		—			2024	—	—	—	
事業③		—			2023	—	—	—	
		—			2022	—	—	—	
	—			2024	—	—	—		
事業④	—			2023	—	—	—		
	—			2022	—	—	—		
	—			2024	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	1,988	2,506	2,589	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	164	163	168	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	6,366	3,622	7,884	1人当たりのコスト(円)	1,371	619	1,304	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	16,622	9,515	20,095	
	1日当たり利用者(人)	12	15	15	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		 <p>利用状況等による評価→</p>	
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い</p> <p>B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある</p> <p>C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある</p> <p>D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い</p> <p>F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある</p> <p>G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある</p> <p>H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	大規模解体修理工事後20年が経過しており、経年劣化による施設の老朽化が進んでいる。特に主屋の茅葺屋根の葺き替えが今後の大きな課題である。		
対応策	経年劣化による施設の不具合については、重要性、危険度合等を考慮し計画的に修繕を行っていく。主屋の茅葺屋根の葺き替えについては適切に対処していく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	現段階で民活導入は難しいと考える。		
個別方針	文化財として、適切な保存に努める。		

基本情報	リストNo	04-036	施設コード	00195	主管課	市民部博物館		
	施設名	伊場遺跡公園			所管課	市民部博物館		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	多くの人が歴史に接する機会の創出						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		伊場遺跡を保存し、教育、学術及び文化の発展に寄与するため。						
		主な業務内容	弥生時代の三重環濠の一部や大溝(自然河川)の一部の保存、奈良平安時代の建物跡の展示					
		主な利用者	市民・観光客					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の見学者があり需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		特筆すべき遺構・遺物が確認されており、今後も多くの利用が予想される。					
	特記事項		文化遺産継承に必要な不可欠な遺跡公園					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況 のべ募集人員 参加者数	
事業①		市民向け見学会(2回)	2024	0	不特定	119		
			2023	0	0	0		
			2022	—	—	—		
事業②		—	2024	0	0	0		
			2023	0	0	0		
			2022	—	—	—		
事業③		—	2024	0	0	0		
			2023	0	0	0		
			2022	—	—	—		
事業④	—	2024	0	0	0			
		2023	0	0	0			
		2022	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	38,744	31,872	36,786	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

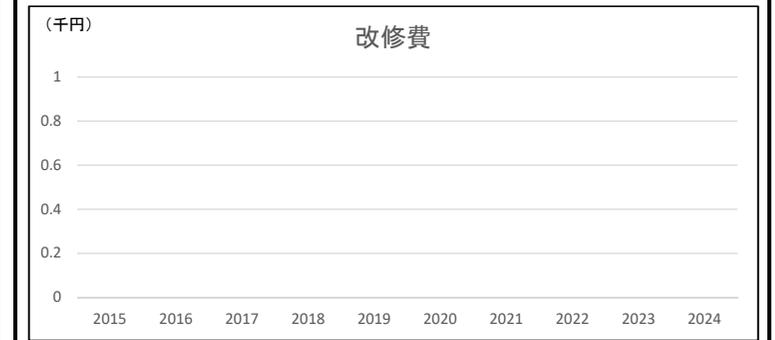
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)			
			<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>
【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】	<p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	昭和50年代に整備された後には大きな変更がなく、全体的に老朽化している。		
対応策	環濠や大溝、建物跡等について、必要な修繕を行う。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
複合化	—	—	
広域化	—	—	
民活導入	現段階では民活導入は難しい。		
個別方針	文化財の伝承・保存施設として適切な維持管理に努める。		

リストNo	04-037	施設コード	04004		
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設				
施設名	ものづくり伝承館				
所在(町名・番地)	天竜区二俣町二俣1112				
利用者の圏域別分類等	文化財	中山間地域			
財産区分	普通財産	普通財産	その他		
主管課	市民部創造都市・文化振興課				
所管課	天竜区・まちづくり推進課				
設置根拠(法)					
条例					
設置目的	国登録有形文化財である旧二俣町役場を活用し、浜松市名誉市民である本田宗一郎氏の偉業を顕彰するとともに、次の時代を担う青少年の人づくりを図り、地域活性化に寄与することを目的に設置する。				
主な利用者	市民				
運営形態	施設包括管理委託				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	10:00～16:30				
土地情報	土地面積	529.85 m ²	総延床面積	467.82 m ²	
	うち所有面積	529.85 m ²	構造(主要建物)	木造	
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	2	
代表地目(現況地目)	宅地		耐震性能(Ia値)(主要建物)	新	
用途地域	第二種住居地域		耐震工事(主要建物)	-	
立地適正化計画	誘導施設			建築年月日(主要建物)	2010/3/10
	都市機能誘導区域	-		経過年数(主要建物)	15
	居住誘導区域	-			
防災情報	土砂災害警戒区域※	○		身障者用駐車場	
	浸水エリアの場合の浸水深			車イスでの施設利用	○
	洪水ハザードマップ※	1m～3m		エレベーター	○
	南海トラフ巨大地震津波※			多機能トイレ	○
緊急避難場所			脱炭素	太陽光発電	
避難所				ZEBの種類	
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



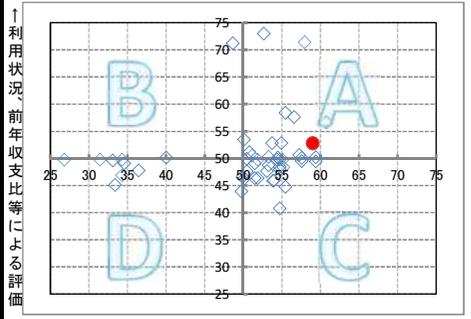
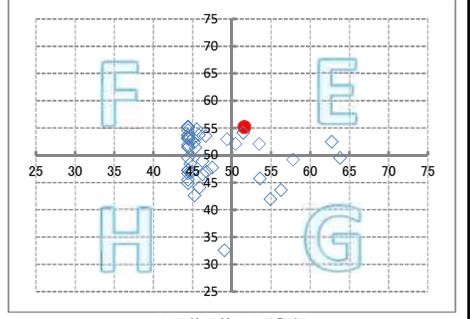
項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	405
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	405
	行政コスト(B-A)	0	0	405
	収支前年比	—	0.00	92.47
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	5,981	5,981	5,981
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	18,074	52,663	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	—	—	—	
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2010	昇降機設置工事(昇降機設備工事)	6,993			
	2010	昇降機設置工事(建築工事)	5,796			
	2009	施設整備工事(建築工事)	104,370			
	2009	施設整備工事(機械設備工事)	12,600			



近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	その他の分類	04-024	ヤマタケの蔵	地域
04-045		二俣歴史散策路	小規模等	0.2
04-011		秋野不矩美術館	市域	0.5
04-025		内山真龍資料館	地域	1.2
04-038		田代家住宅	文化財	1.2
14-090		天竜第1分団諏訪町	コミュニティ	0.1
14-088		天竜第1分団横町	コミュニティ	0.2
07-080		ふたまた児童クラブ	生活	0.3
15-055		二俣小学校	生活	0.3
03-060		二俣ふれあいセンター	生活	0.4
13-061	田組西団地	地域	0.5	
09-009	天竜保健福祉センター	地域	0.6	
01-024	天竜区役所南館	地域	0.6	

基本情報	リストNo	04-037	施設コード	04004	主管課	市民部創造都市・文化振興課			
	施設名	ものづくり伝承館			所管課	天竜区・まちづくり推進課			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	音楽のあふれるまちづくり							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		国登録有形文化財である旧二侯町役場を活用し、浜松市名誉市民である本田宗一郎氏の偉業を顕彰するとともに、次の時代を担う青少年の人づくりを図り、地域活性化に寄与することを目的に設置する。							
		主な業務内容	展示公開、ワークショップ・セミナー等開催						
		主な利用者	市民						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の入館者があり需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		一定の入館者が見込まれる。						
	特記事項		平成22年度より本田宗一郎ものづくり伝承館として活用。						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		本田宗一郎顕彰事業	2024	3,405	不特定	—			
			2023	4,539	不特定	—			
			2022	6,544	不特定	—			
事業②		ものづくり企画運営事業	2024	55	不特定	—			
			2023	166	不特定	—			
			2022	148	不特定	—			
事業③		—	2024	0	0	0			
			2023	0	0	0			
			2022	—	—	—			
事業④	—	2024	0	0	0				
		2023	0	0	0				
		2022	—	—	—				
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	20,995	21,485	20,977	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	248	251	250	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	0	0	866	1人当たりのコスト(円)	0	0	19	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	1,620	
	1日当たり利用者(人)	85	86	84	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

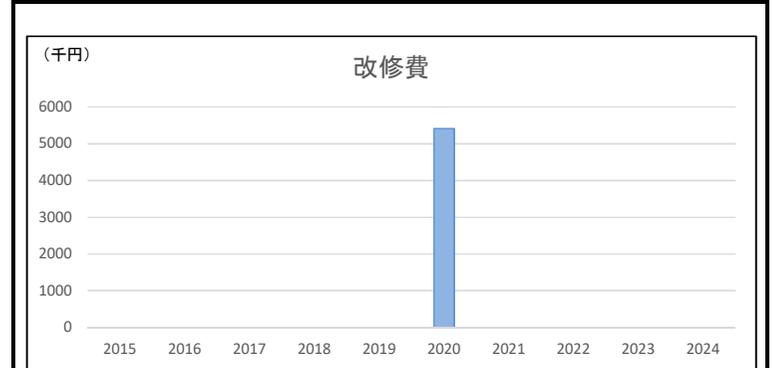
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		 <p>利用状況等による評価→</p>	
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	改築後15年目となり修繕する箇所が少しずつ発生している。		
対応策	入館者の安全・快適な利用をしてもらえるよう、今後も施設の修繕等適切な管理を行っていく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	複合化	—	—
広域化	—	—	
民活導入	—		
個別方針	文化財として、適切な保存に努める。		

リストNo	04-038	施設コード	04777	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	田代家住宅			
所在(町名・番地)	天竜区二俣町鹿島489			
利用者の圏域別分類等	文化財	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	市民部文化財課			
所管課	天竜区・まちづくり推進課			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	国登録有形文化財に登録された歴史的建築物であるとともに、天竜地域の史跡等を結ぶ「歴史散策路」に隣接していることから敷地内にトイレを設置し休憩施設としても活用されている。			
主な利用者	一般市民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	10:00～16:00			
土地情報	土地面積	2,030.65 m ²	総延床面積	400.00 m ²
	うち所有面積	0.00 m ²	構造(主要建物)	木造
	うち借地面積	2,030.65 m ²	地上階数(主要建物)	2
用途地域	代表地目(現況地目)		耐震性能(Ia値)(主要建物)	0.31
	用途地域	第一種住居地域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1859/04/01
立地適正化計画	都市機能誘導区域	-	経過年数(主要建物)	
	居住誘導区域	-		
防災情報	土砂災害警戒区域※	○	身障者用駐車場	
	浸水エリアの場合の浸水深		車イスでの施設利用	
	洪水ハザードマップ※	3m～5m	エレベーター	
	南海トラフ巨大地震津波※		多機能トイレ	
脱炭素	緊急避難場所		太陽光発電	
	避難所		ZEBの種類	
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。			



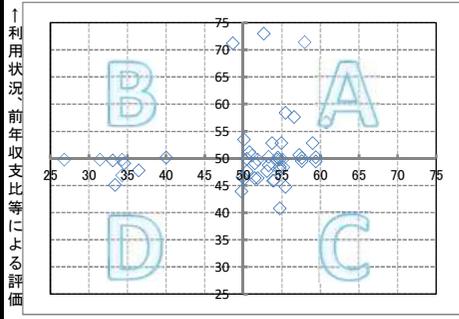
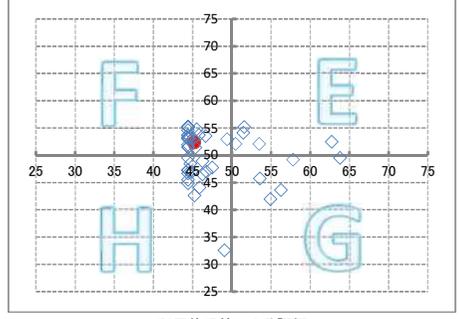
項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	221	238	659
	維持補修費(修繕費)	518	172	110
	物件費(光熱水費)	100	96	110
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	839	506	879	
行政コスト(B-A)	839	506	879	
収支前年比	165.81	57.57	156.96	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	—	—	—
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	国登録有形文化財旧田代家住宅土蔵保存・解体工事	5,412			



近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
04-045	二俣歴史散策路	小規模等	1.1	
04-037	ものづくり伝承館	文化財	1.2	
04-024	ヤマタケの蔵	地域	1.4	
04-011	秋野不矩美術館	市域	1.4	
17-009	鳥羽山公園	地域	0.2	
14-091	天竜第3分団鹿島	コミュニティ	0.6	
14-089	天竜第1分団城下	コミュニティ	0.6	
15-124	清竜中学校	生活	0.7	
03-017	天竜壬生ホール	地域	0.8	
07-081	天竜児童館	生活	0.9	
18-020	旧鹿島保育園	地域	1.0	
15-055	二俣小学校	生活	1.0	

基本情報	リストNo	04-038	施設コード	04777	主管課	市民部文化財課			
	施設名	田代家住宅			所管課	天竜区・まちづくり推進課			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	地域総がかりによる文化財の保存・継承と活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		国登録有形文化財に登録された歴史的建築物であるとともに、天竜地域の史跡等を結ぶ「歴史散策路」に隣接していることから敷地内にトイレを設置し休憩施設としても活用されている。							
		主な業務内容	資料の展示・休憩施設						
		主な利用者	一般市民						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		歴史的建築物としての重要性、ニーズは一定						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		歴史的建築物としての重要性、ニーズは今後も見込まれる。						
	特記事項		令和2年度、経年劣化による倒壊の危険性が判明したため土蔵を解体。						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		各種歴史資料の展示	2024	0	0	0			
			2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2024	0	0	0			
事業②		—	2023	0	0	0			
			2022	—	—	—			
			2024	0	0	0			
事業③		—	2023	0	0	0			
			2022	—	—	—			
	2024		0	0	0				
事業④	—	2023	0	0	0				
		2022	—	—	—				
		2024	0	0	0				
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	1,075	2,583	2,104	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	108	109	105	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	2,098	1,265	2,198	1人当たりのコスト(円)	780	196	418	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	7,769	4,642	8,371	
	1日当たり利用者(人)	10	24	20	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>利用状況等による評価→</p>	
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】		【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】	
A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い		E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い	
B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある		F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある	
C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある		G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある	
D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある		H:利用状況、財務状況全てに課題がある	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	平成27年度の耐震診断では補強が必要とされ、平成28年度の地質調査では耐震対策工事に伴う地盤強化が必要とされた。主屋の修理の緊急性が高まっている。解体された土蔵について、施設管理団体から外観復旧の要望がある。		
対応策	主屋については耐震対策及び改修等工事に向け、令和7年度に基本設計を実施。再建予定の土蔵については旧田代家住宅の一体として活用を検討していく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	—		
個別方針	文化財として、適切な保存に努める。		

リストNo	04-039	施設コード	00114	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	ヒラシロ遺跡			
所在(町名・番地)	天竜区熊683-2			
利用者の圏域別分類等	文化財	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	市民部文化財課			
所管課	天竜区・まちづくり推進課			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	平成4年に縄文時代の住居跡が発見され、北遠地方の縄文時代の生活を知る貴重な資料として保存・復元及び周辺整備を行った。			
主な利用者	一般市民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	1,152.00 m ²	総延床面積	50.00 m ²
	うち所有面積	1,152.00 m ²	構造(主要建物)	木造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1
立地適正	代表地目(現況地目)	雑種地	耐震性能(Ia値)(主要建物)	新
	用途地域	都市計画区域外	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1994/3/22
防災情報	土砂災害警戒区域※	○	経過年数(主要建物)	31
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	-
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用	-
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	-
特記事項	緊急避難場所	脱炭素	多機能トイレ	-
	避難所		太陽光発電	
※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。				



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	59	59	230
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	28	26	30
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	87	85	260
行政コスト(B-A)	87	85	260	
収支前年比	102.35	32.69	104.42	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	28	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	—	—	—	
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

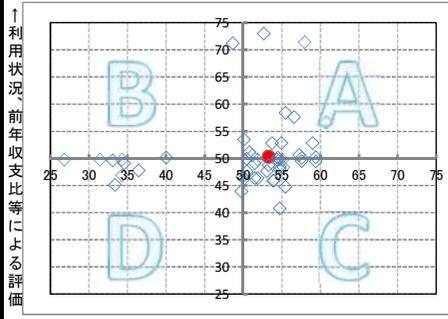
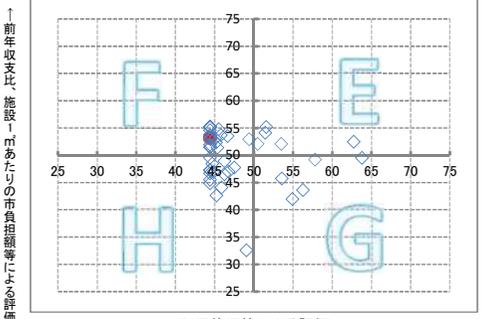
年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)



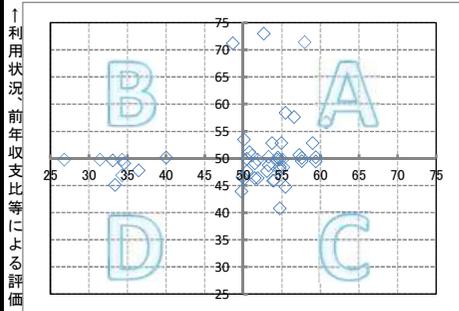
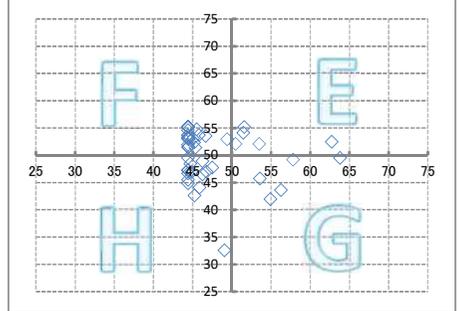
近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)

区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	—	—	—
国・県	—	—	—
寄付金	—	—	—
その他	—	—	—
市債	—	—	—
一般財源	—	—	—

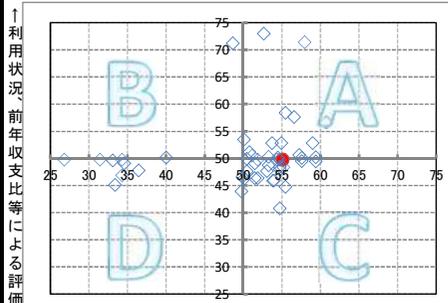
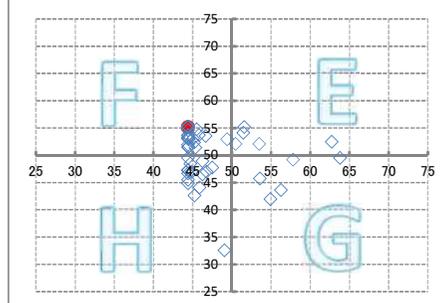
基本情報	リストNo	04-039	施設コード	00114	主管課	市民部文化財課			
	施設名	ヒラシロ遺跡			所管課	天竜区・まちづくり推進課			
施設運営分析	複合施設								
	関連政策名	地域総がかりによる文化財の保存・継承と活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		平成4年に縄文時代の住居跡が発見され、北遠地方の縄文時代の生活を知る貴重な資料として保存・復元及び周辺整備を行った。							
		主な業務内容	出土品の展示、復元住居の公開						
		主な利用者	一般市民						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用(小学生の社会科見学等)がある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も一定の利用(小学生の社会科見学等)が見込まれる。						
	特記事項		—						
主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—		2024	0	0	0		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
	事業②	—		2024	0	0	0		
		—		2023	0	0	0		
		—		2022	—	—	—		
	事業③	—		2024	0	0	0		
		—		2023	0	0	0		
		—		2022	—	—	—		
事業④	—		2024	0	0	0			
	—		2023	0	0	0			
	—		2022	—	—	—			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	117	117	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	1,740	1,700	5,200	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	726	2,222	
	1日当たり利用者(人)	—	0	0	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		 <p>利用状況等による評価→</p>	
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い</p> <p>B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある</p> <p>C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある</p> <p>D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い</p> <p>F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある</p> <p>G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある</p> <p>H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	復元住居は、茅、葛、天然木などを使用するため老朽化が早い。現時点でも平成24～27年度にかけ修繕を行ったものが、傷み朽ちてきており、ポリカーボネート等で応急処置をしている状況である。地元から復元住居更新の要望がある。		
対応策	復元住居の更新については、地元の意向を踏まえつつ、他市の整備事例を参考に、整備・維持管理に係る経費や、施設管理のしやすさを考慮した整備方法を検討していく。合わせて遺跡公園の機能についても検討し、整備していく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	—		
個別方針	文化財として、適切な保存に努める。		

基本情報	リストNo	04-040	施設コード	00516	主管課	市民部文化財課			
	施設名	旧王子製紙製品倉庫			所管課	天竜区・春野支所			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	地域総がかりによる文化財の保存・継承と活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		静岡県指定有形文化財(建造物)の保存・活用							
		主な業務内容	施設公開						
		主な利用者	一般市民 観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用がある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も一定の利用が予想される。						
	特記事項		地域の文化遺産継承に必要な不可欠な施設						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業②		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業③		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業④		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	11,822	461	539	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
			
<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>利用状況等による評価→</p>	
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い</p> <p>B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある</p> <p>C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある</p> <p>D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い</p> <p>F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある</p> <p>G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある</p> <p>H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	施設の老朽化に伴い、木製窓枠や外壁(レンガ)等の修繕が必要となる。		
対応策	建物調査(耐震診断調査を含む)を依頼し、その調査結果を踏まえ、文化財建造物として修理計画を進めていく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	—		
個別方針	文化財として、適切な保存に努める。		

基本情報	リストNo	04-041	施設コード	02679	主管課	市民部博物館			
	施設名	旧久保家住宅			所管課	天竜区・水窪支所			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	多くの人が歴史に接する機会の創出							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		移築した古民家を活用して水窪民俗資料館の展示物の一部を紹介するため設置							
		主な業務内容	展示業務(水窪民俗資料館の展示物の一部)						
		主な利用者	市民、児童生徒、観光客						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		当初に比べ来館者は減少している						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		来館者数は現在と比較横ばいと予想される						
	特記事項		貴重な民俗資料としてのニーズは高い						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業②		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業③		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業④		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
利用状況		項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
		利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
		利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

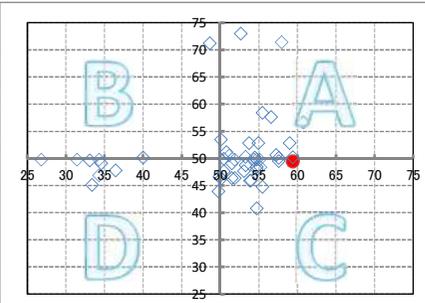
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
 <p>↑利用状況、前年収支比率等による評価</p> <p>→前年収支比率、施設1人当たりの市食料額等による評価</p> <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		 <p>供給状況等による評価→</p>					
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>				<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>			
施設に関する課題等(ハード面から)							
課題	150年以上前の民家を移築し保存しているため、老朽化が著しい。						
対応策	必要な修繕などを施しながら、良好な状態での維持・保存に努めていく。						
今後の方針							
見直し方針	方向性	該当	備考欄				
	廃止	—	—				
	民間移管	—	—				
	管理主体変更	—	—				
	非保有	—	—				
	統廃合	—	—				
	複合化	—	—				
	広域化	—	—				
民活導入	現段階では民活導入は難しい。						
個別方針	文化財として、適切な保存に努める。						

基本情報	リストNo	04-042	施設コード	00808	主管課	市民部文化財課			
	施設名	高根城復元施設			所管課	天竜区・水窪支所			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	地域総がかりによる文化財の保存・継承と活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		高根城跡(浜松市指定史跡)の保存・活用							
		主な業務内容	展示業務						
		主な利用者	一般						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		近年、山城が注目を集めていることもあり減少はしていない						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		横ばいと予想される						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業②		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業③		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業④		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	10,987	1,777	1,765	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→ ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。	
			供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)
【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある			
【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある			
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	経年劣化により柵等の木部に腐食有り。		
対応策	今後も必要な修繕などを施しながら良好な施設の維持に努めていく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
複合化	—	—	
広域化	—	—	
民活導入	—		
個別方針	文化財として、適切な保存に努める。		

基本情報	リストNo	04-043	施設コード	04945	主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
	施設名	館山寺門前広場・門前通り公共駐車場			所管課	中央区・西行政センター			
施設運営分析	複合施設								
	関連政策名	魅力ある観光コンテンツ造成による観光誘客の促進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		館山寺温泉観光客を対象にした休憩・ビューポイント及び駐車場として運営するため							
		主な業務内容	散策・休憩施設、無料駐車場						
		主な利用者	観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	館山寺のメイン通りに面して利用は多い。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	スマートインターの整備等により、今後もニーズが見込まれる。						
		特記事項	—						
主な事業	事業名・開催回数(2024)				年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—			2024	—	—	—	
		—			2023	—	—	—	
		—			2022	—	—	—	
	事業②	—			2024	—	—	—	
		—			2023	—	—	—	
		—			2022	—	—	—	
	事業③	—			2024	—	—	—	
		—			2023	—	—	—	
		—			2022	—	—	—	
	事業④	—			2024	—	—	—	
		—			2023	—	—	—	
		—			2022	—	—	—	
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	12,292	35,903	44,097	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

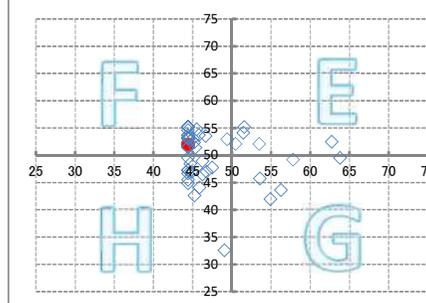
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)



建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)



利用状況等による評価→

【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】

A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】

E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	施設の老朽化等大きな問題はない。
対応策	必要な修繕により維持管理していく。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	
	民間移管	—	
	管理主体変更	—	
	非保有	—	
	複合化	—	
	広域化	—	

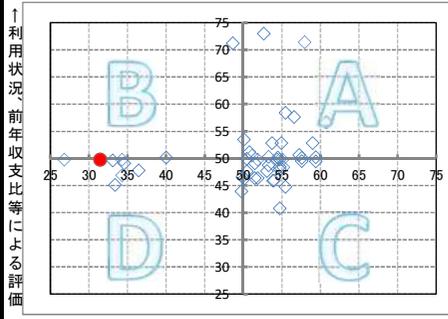
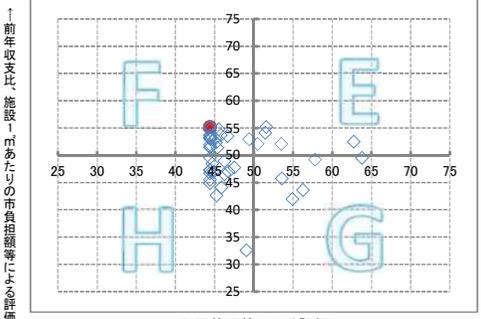
民活導入

ニーズや費用対効果を踏まえて民間活力導入の可能性について検討していく。

個別方針

当面適切な維持管理に努める。更新時には、利用状況を踏まえて必要性を検証する。

基本情報	リストNo	04-044	施設コード	02506	主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
	施設名	弁天島駅観光案内所			所管課	中央区・西行政センター			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	「魅力ある観光コンテンツ造成による観光誘客の促進」							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		弁天島地区の観光振興及び情報発信の拠点として運営するため							
		主な業務内容	浜松市内の観光施設等及び宿泊施設の照会、案内所周辺の清掃						
		主な利用者	観光客						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		弁天島をはじめとする浜名湖周辺を訪れる観光客に需要がある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		引き続き弁天島を訪れる観光客のニーズが見込まれる。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—			2024	0	0	0	
		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
		—			2024	0	0	0	
事業②		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
		—			2024	0	0	0	
事業③		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
		—			2024	0	0	0	
事業④		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
		—			2024	0	0	0	
利用状況		項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
		利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		 <p>利用状況等による評価→</p>	
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い</p> <p>B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある</p> <p>C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある</p> <p>D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い</p> <p>F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある</p> <p>G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある</p> <p>H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	経年劣化に伴う施設の老朽化が進んでいる。		
対応策	必要な修繕により維持管理していく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
民活導入	民間活力による弁天島海浜公園の再整備の可能性を考慮しながら、公園と連携した管理運営等について検討していく。		
個別方針	民間導入による弁天島海浜公園の再整備の状況を注視しながら、公園との一体的な管理運営等について検討していく。		

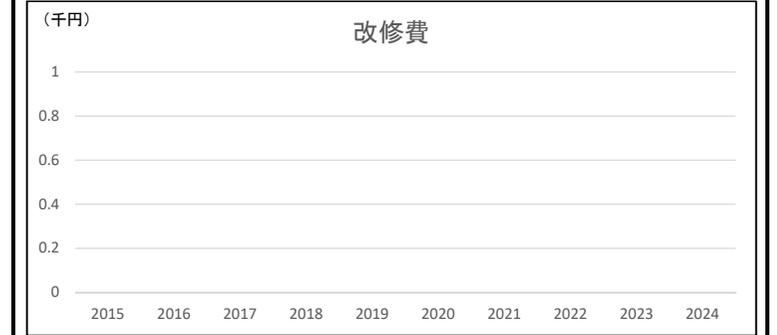
リストNo	04-045	施設コード	02829	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	二俣歴史散策路			
所在(町名・番地)	天竜区二俣町二俣850-1			
利用者の圏域別分類等	小規模等	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
所管課	天竜区・まちづくり推進課			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	散策路、遊歩道などの休憩場所として設置			
主な利用者	散策路、遊歩道などの利用者			
運営形態	直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	4,598.87 m ²	総延床面積	20.25 m ²
	うち所有面積	4,555.47 m ²	構造(主要建物)	木造
	うち借地面積	43.40 m ²	地上階数(主要建物)	1
立地適正 化計画	代表地目(現況地目)	山林	耐震性能(Ia値)(主要建物)	新
	用途地域	第一種住居地域	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1996/3/1
防災情報	土砂災害警戒区域※	○	経過年数(主要建物)	29
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	-
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用	-
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	-
特記事項	緊急避難場所		多機能トイレ	-
	避難所		脱炭素 太陽光発電 ZEBの種類	

※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。



項目		2024	2023	2022
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	117	0	0
	維持補修費(修繕費)	451	935	0
	物件費(光熱水費)	53	42	58
	物件費(借地料)	105	105	105
行政コスト(B-A)	726	1,082	163	
収支前年比	67.10	663.80	111.64	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
BS 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	110	0	0	
区分	建設事業費 (千円)	土地取得事 業費(千円)	計	
設置事業費	6,200	—	6,200	
財源	国・県	2,800	—	2,800
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	3,400	—	3,400

年度	内容	金額(千円)		
		年度	内容	金額(千円)



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-037	ものづくり伝承館	文化財	0.2
04-024	ヤマタケの蔵	地域	0.3
04-011	秋野不矩美術館	市域	0.7
04-038	田代家住宅	文化財	1.1
04-025	内山真龍資料館	地域	1.3
07-080	ふたまた児童クラブ	生活	0.1
15-055	二俣小学校	生活	0.1
14-090	天竜第1分団諏訪町	コミュニティ	0.3
14-088	天竜第1分団横町	コミュニティ	0.4
14-089	天竜第1分団城下	コミュニティ	0.5
03-060	二俣ふれあいセンター	生活	0.5
09-009	天竜保健福祉センター	地域	0.7
01-024	天竜区役所南館	地域	0.7

基本情報	リストNo	04-045	施設コード	02829	主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
	施設名	二俣歴史散策路			所管課	天竜区・まちづくり推進課			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	魅力ある観光コンテンツ造成による観光誘客の促進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		散策路、遊歩道などの休憩場所として設置							
		主な業務内容	休憩所						
		主な利用者	散策路、遊歩道などの利用者						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		アウトドアブームや自然・健康志向の高まりもあり、当面の需要は確保されると考える。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		アウトドアブームや自然・健康志向の高まりもあり、当面の需要は確保されると考える。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業②		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業③		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
事業④		—		2024	—	—	—		
		—		2023	—	—	—		
		—		2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	35,852	53,432	8,049	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

↑利用状況、前年収支比率等による評価

←前年収支比率、施設1人当たりの市食料額等による評価

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	屋外にある木造施設のため、年数が経つと木部の腐食や塗装の剥がれが発生する。県補助金等によって建設した施設。遊歩道は全体的に腐食や破損箇所が多く見られ、通行に危険な箇所が点在している。
対応策	休憩所については、定期的に施設を点検し、計画的な維持修繕をしていく。 遊歩道については、安全面の配慮から利用を停止し、存廃を検討していく。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	
	民間移管	—	
	管理主体変更	—	
	非保有	—	
	統廃合	—	
	複合化	—	
	広域化	—	

民活導入

公共性が高く、管理主体となる受け皿等がないため、民間活力の導入は困難である。

個別方針

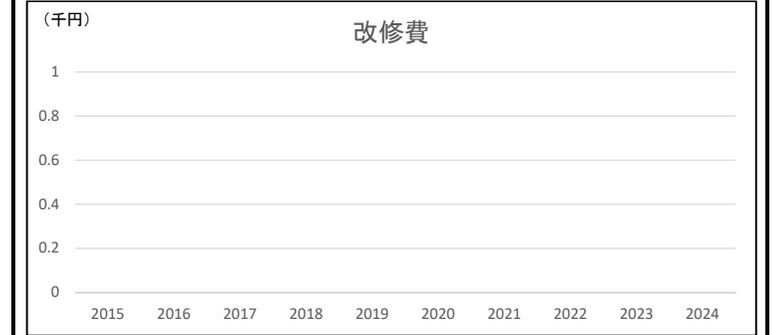
当面適切な維持管理に努める。更新時には、利用状況を踏まえて必要性を検証する。

リストNo	04-046	施設コード	00833	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	黒滝あずまや			
所在(町名・番地)	天竜区熊1914-2			
利用者の圏域別分類等	小規模等	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
所管課	天竜区・まちづくり推進課			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	散策路、遊歩道などの休憩場所として設置			
主な利用者	散策路、遊歩道などの利用者			
運営形態	直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	58.30 m ²	総延床面積	11.56 m ²
	うち所有面積	0.00 m ²	構造(主要建物)	木造
	うち借地面積	58.30 m ²	地上階数(主要建物)	1
立地適正 化計画	代表地目(現況地目)		耐震性能(Ia値)(主要建物)	新
	用途地域	都市計画区域外	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1988/3/1
防災情報	土砂災害警戒区域※	○	経過年数(主要建物)	37
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	-
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用	-
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	-
	緊急避難場所		多機能トイレ	-
避難所		脱炭素	太陽光発電	
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。			



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地利)	3	3	3
支出計(B)		3	3	3
行政コスト(B-A)		3	3	3
収支前年比		100.00	100.00	100.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	—	—	—	
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	14-112	天竜第11分団熊	コミュニティ 1.7
	25-023	旧熊市場簡易水道	— 1.7
	03-063	熊ふれあいセンター	生活 1.8
	10-016	くまみデイサービスセンター	地域 1.8
	15-058	熊小学校	生活 1.8

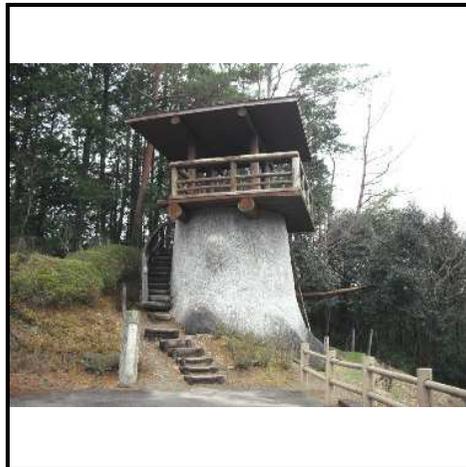
基本情報	リストNo	04-046	施設コード	00833	主管課	産業部観光・シティプロモーション課		
	施設名	黒滝あずまや			所管課	天竜区・まちづくり推進課		
施設運営分析	関連政策名	魅力ある観光コンテンツ造成による観光誘客の促進						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		散策路、遊歩道などの休憩場所として設置						
		主な業務内容	休憩所					
		主な利用者	散策路、遊歩道などの利用者					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		アウトドアブームや自然・健康志向の高まりもあり、需要は確保されると考える。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		アウトドアブームや自然・健康志向の高まりもあり、当面の需要は確保されると考える。					
	特記事項		—					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—		2024	—	—	—	
		—		2023	—	—	—	
		—		2022	—	—	—	
事業②		—		2024	—	—	—	
		—		2023	—	—	—	
		—		2022	—	—	—	
事業③		—		2024	—	—	—	
		—		2023	—	—	—	
		—		2022	—	—	—	
事業④	—		2024	—	—	—		
	—		2023	—	—	—		
	—		2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	260	260	260	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	<p>↑ 利用状況、前年収支比率等による評価</p> <p>→ 前年収支比率、施設1人当たりの市食料額等による評価</p> <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>	供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)	<p>供給状況等による評価→</p>
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	屋外にある木造施設のため、年数が経つと木部の腐食や塗装の剥がれが発生する。		
対応策	定期的に施設を点検し、計画的な維持修繕をしていく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	公共性が高く、管理主体となる受け皿等がないため、民間活力の導入は困難である。		
個別方針	当面適切な維持管理に努める。更新時には、利用状況を踏まえて必要性を検証する。		

基本情報	リストNo	04-047	施設コード	01174	主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
	施設名	秋葉山表参道あずまや			所管課	天竜区・まちづくり推進課			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	魅力ある観光コンテンツ造成による観光誘客の促進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		散策路、遊歩道などの休憩場所として設置							
		主な業務内容	休憩所						
		主な利用者	散策路、遊歩道などの利用者						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		アウトドアブームや自然・健康志向の高まりもあり、当面の需要は確保されると考える。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		アウトドアブームや自然・健康志向の高まりもあり、当面の需要は確保されると考える。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—		2024	—	—	—	—	
		—		2023	0	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	—	
		—		2021	—	—	—	—	
事業②		—		2024	—	—	—	—	
		—		2023	0	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	—	
		—		2021	—	—	—	—	
事業③		—		2024	—	—	—	—	
		—		2023	0	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	—	
	—		2021	—	—	—	—		
事業④	—		2024	—	—	—	—		
	—		2023	0	0	0	0		
	—		2022	—	—	—	—		
	—		2021	—	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	2,701	2,701	30,787	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

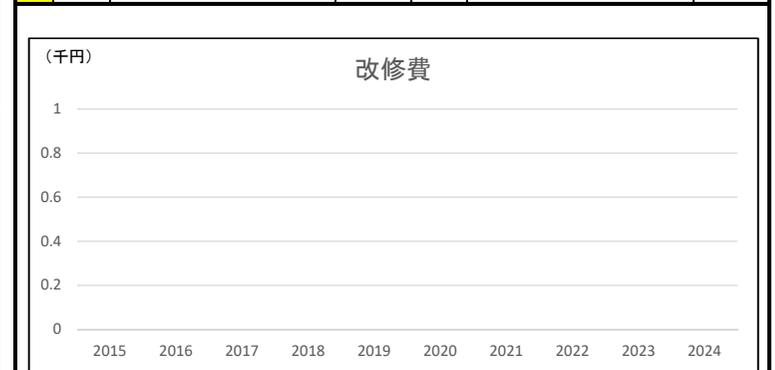
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>	
			<p>↑利用状況、前年収支比率等による評価</p>
供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)		<p>↑前年収支比率、施設1人当たりの市食料額等による評価</p>	
【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】	<p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		
【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】	<p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	屋外にある木造施設のため、年数が経つと木部の腐食や塗装の剥がれが発生する。県補助金等により建設した施設。		
対応策	定期的に施設を点検し、計画的な維持修繕をしていく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	公共性が高く、管理主体となる受け皿等がないため、民間活力の導入は困難である。		
個別方針	当面適切な維持管理に努める。更新時には、利用状況を踏まえて必要性を検証する。		

リストNo	04-048	施設コード	01620	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	青洞の丘展望台			
所在(町名・番地)	天竜区春野町堀之内1819-1			
利用者の圏域別分類等	小規模等	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
所管課	天竜区・まちづくり推進課			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	豊かな森林資源がもつ素晴らしい景観が一望でき、入込客の増加を図ることを目的として設置			
主な利用者	観光客			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	1,088.00 m ²	総延床面積	17.38 m ²
	うち所有面積	0.00 m ²	構造(主要建物)	木造
	うち借地面積	1,088.00 m ²	地上階数(主要建物)	1
立地適正化計画	代表地目(現況地目)		耐震性能(Ia値)(主要建物)	新
	用途地域	都市計画区域外	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1990/3/20
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	35
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	-
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用	-
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	-
緊急避難場所		多機能トイレ	-	
避難所		脱炭素	太陽光発電	
特記事項	※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。			



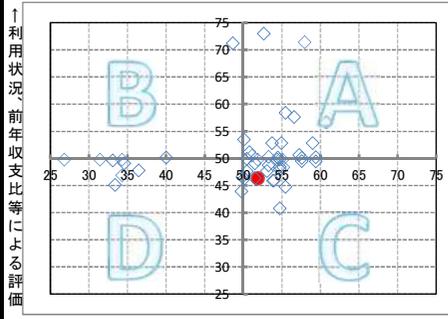
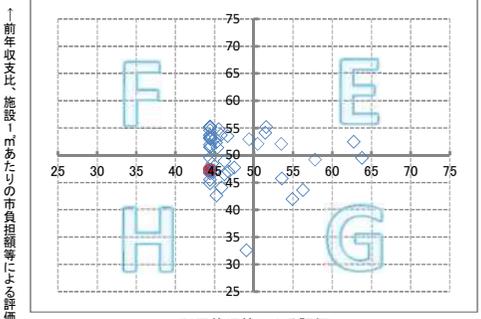
項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	208	202	197
	維持補修費(修繕費)	0	0	935
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	92	92	92
支出計(B)	300	294	1,224	
行政コスト(B-A)	300	294	1,224	
収支前年比	102.04	24.02	218.18	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	18,428	—	18,428	
財源	国・県	6,700	—	6,700
	寄付金	—	—	—
	その他	10,000	—	10,000
	市債	—	—	—
一般財源	1,728	—	1,728	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-114	春野第1分団平野	コミュニティ	1.0
その他の分類			

基本情報	リストNo	04-048	施設コード	01620	主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
	施設名	青洞の丘展望台			所管課	天竜区・まちづくり推進課			
	複合施設								
施設運営分析	関連政策名	魅力ある観光コンテンツ造成による観光誘客の促進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		豊かな森林資源がもつ素晴らしい景観が一望でき、入込客の増加を図ることを目的として設置							
		主な業務内容	展望台						
		主な利用者	観光客						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		春野町の玄関口である県道沿いにあり交通量は多いため、需要は確保されていると考える。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		春野町の玄関口である県道沿いにあり交通量は多いため、当面の需要は確保されると考える。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)				年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—			2024	—	—	—	
		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
		—			2021	—	—	—	
事業②		—			2024	—	—	—	
		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
事業③		—			2024	—	—	—	
		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
事業④		—			2024	—	—	—	
		—			2023	0	0	0	
	—			2022	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	17,261	16,916	70,426	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

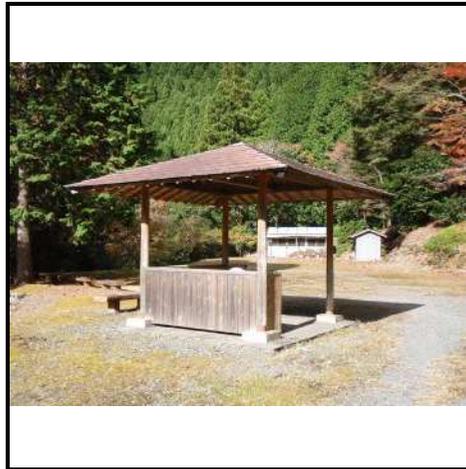
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		 <p>利用状況等による評価→</p>	
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い</p> <p>B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある</p> <p>C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある</p> <p>D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い</p> <p>F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある</p> <p>G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある</p> <p>H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	屋外にある木造施設のため、年数が経つと木部の腐食や塗装の剥がれが発生する。県補助金等により建設した施設。		
対応策	定期的に施設を点検し、計画的な維持修繕をしていく。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	公共性が高く、管理主体となる受け皿等がないため、民間活力の導入は困難である。		
個別方針	当面適切な維持管理に努める。施設更新時には、利用状況を踏まえて必要性を検証する。		

基本情報	リストNo	04-049	施設コード	01967	主管課	—		
	施設名	天狗下駄展示場			所管課	天竜区・春野支所		
	複合施設							
施設運営分析	関連政策名	魅力ある観光コンテンツ造成による観光誘客の促進						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		春野地域内観光振興及び地域振興を目的として設置						
		主な業務内容	秋葉の山に住むという天狗に因み、天狗下駄等を展示					
		主な利用者	観光客					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		ツーリング等の観光客増加により観光ポイントの一つとなっている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		観光ポイントとして、今後も継続した利用が予測される。					
	特記事項		隣接する日本一の大天狗面と一体の施設であり、観光振興には必要な施設					
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		天狗の里に因んだ天狗グッズの展示。	2024	0	0	0		
			2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2024	0	0	0		
事業②		—	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2024	0	0	0		
事業③		—	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
			2024	0	0	0		
事業④		—	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—		
	2024		0	0	0			
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	11,078	11,930	24,662	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)	
<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		<p>利用状況等による評価→</p>	
<p>【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】</p> <p>A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い</p> <p>B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある</p> <p>C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある</p> <p>D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある</p>		<p>【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】</p> <p>E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い</p> <p>F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある</p> <p>G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある</p> <p>H:利用状況、財務状況全てに課題がある</p>	
施設に関する課題等(ハード面から)			
課題	木造建築のため、直射日光や雨の影響を受ける外壁等の部分は、定期的なメンテナンス(塗装工事)を実施する必要がある。また、築36年が経過し設備の老朽化がすすんでいる。		
対応策	隣接する大天狗面とともに、適切な修繕を行う。		
今後の方針			
見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—
民活導入	令和3年10月1日から地場産品販売所来訪者の休憩スペースとして活用を開始(地域団体により行政財産使用許可取得) 令和4年4月1日から地域団体に天狗下駄展示場施設管理業務の委託を開始		
個別方針	当面適切な維持管理に努める。更新時には、利用状況を踏まえて必要性を検証する。		

リストNo	04-050	施設コード	00475	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	岩岳山登山口休憩舎			
所在(町名・番地)	天竜区春野町小俣京丸263			
利用者の圏域別分類等	小規模等	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
所管課	天竜区・まちづくり推進課			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	登山道などの休憩場所として設置			
主な利用者	岩岳山登山者			
運営形態	直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	23.18 m ²	総延床面積	23.18 m ²
	うち所有面積	0.00 m ²	構造(主要建物)	木造
	うち借地面積	23.18 m ²	地上階数(主要建物)	1
立地適正 化計画	代表地目(現況地目)		耐震性能(Ia値)(主要建物)	新
	用途地域	都市計画区域外	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	1990/3/20
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	35
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	-
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用	-
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	-
特記事項	緊急避難場所		多機能トイレ	-
	避難所		脱炭素 太陽光発電 ZEBの種類	

※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。



項目		2024	2023	2022
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	0	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	29,022	—	29,022	
財源	国・県	14,500	—	14,500
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	12,000	—	12,000
一般財源	2,522	—	2,522	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)

同分類
その他の分類

基本情報	リストNo	04-050	施設コード	00475	主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
	施設名	岩岳山登山口休憩舎			所管課	天竜区・まちづくり推進課			
施設運営分析	関連政策名	魅力ある観光コンテンツ造成による観光誘客の促進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		登山道などの休憩場所として設置							
		主な業務内容	休憩所						
		主な利用者	岩岳山登山者						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		登山道の荒廃等により利用者は減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		登山道の再整備等が行われない状況においては、利用者が増加に転じる可能性は低いと見込まれる。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—		2024	—	—	—	—	
		—		2023	0	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	—	
		—		2021	—	—	—	—	
事業②		—		2024	—	—	—	—	
		—		2023	0	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	—	
		—		2021	—	—	—	—	
事業③		—		2024	—	—	—	—	
		—		2023	0	0	0	0	
		—		2022	—	—	—	—	
		—		2021	—	—	—	—	
事業④	—		2024	—	—	—	—		
	—		2023	0	0	0	0		
	—		2022	—	—	—	—		
	—		2021	—	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

↑利用状況、前年収支比率等による評価

↑前年収支比率、施設1人当たりの市食料額等による評価

【品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)】
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)】
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	屋外にある木造施設のため、年数が経つと木部の腐食や塗装の剥がれが発生する。岩岳山登山道は国有林を借地し整備したが、当初と比較すると登山道の荒廃が進んでいる。また、利用者も著しく減少しているため、登山道廃止も含めて、今後の方向性を調整する必要がある。県補助金等により建設した施設。
対応策	今後の方向性を地元関係者や国と調整していく。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	上記課題に記載のとおり
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—

民活導入

公共性が高く、管理主体となる受け皿等がないため、民間活力の導入は困難である。

個別方針

当面適切な維持管理に努める。更新時には、利用状況を踏まえて必要性を検証する。

基本情報	リストNo	04-051	施設コード	04314	主管課	産業部農業振興課		
	施設名	水窪観光展示休憩所			所管課	産業部農業振興課		
施設運営分析	複合施設							
	関連政策名	安全・安心な農水産物の安定供給						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		水窪地域の観光名所・旧跡、行事を紹介し観光客の利便や誘致を図ると共に、農産物の販売や品評会、各種イベントを開催し、地域の活性化を図る。						
		主な業務内容	観光案内所、観光展示休憩所、地域のイベント開催					
		主な利用者	市内外のレジャー目的の観光客					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	H27年度から隣接施設と一体管理し活用されている					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	横ばい					
		特記事項	—					
主な事業	事業名・開催回数(2024)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2024	—	—	—	—	
		—	2023	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
	事業②	—	2024	—	—	—	—	
		—	2023	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
	事業③	—	2024	—	—	—	—	
		—	2023	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
	事業④	—	2024	—	—	—	—	
		—	2023	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—
					園児・児童・生徒数	—	—	—
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示							

品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】
 A:建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B:利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C:建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D:建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】
 E:利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F:財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G:利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H:利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	築20年が経過して施設の老朽化が進んでいる、今後修繕が必要と予想される。
対応策	契約に基づき、民間法人(旬碧(アオイ))が修繕を行う。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	
	民間移管	—	
	管理主体変更	—	
	非保有	—	
	統廃合	—	
	複合化	—	
	広域化	—	

民活導入 —

個別方針
適切な維持管理を指導する。

リストNo	04-052	施設コード	05226	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設			
施設名	瀬尻不動の滝遊歩道			
所在(町名・番地)	天竜区龍山町瀬尻890-1			
利用者の圏域別分類等	小規模等	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
所管課	天竜区・まちづくり推進課			
設置根拠(法)				
条例				
設置目的	散策路、遊歩道などの休憩場所として設置			
主な利用者	散策路、遊歩道などの利用者			
運営形態	直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
土地情報	土地面積	0.00 m ²	総延床面積	29.40 m ²
	うち所有面積	0.00 m ²	構造(主要建物)	木造
	うち借地面積	0.00 m ²	地上階数(主要建物)	1
立地適正 化計画	代表地目(現況地目)		耐震性能(Ia値)(主要建物)	新
	用途地域	都市計画区域外	耐震工事(主要建物)	-
	誘導施設		建築年月日(主要建物)	2006/3/29
防災情報	土砂災害警戒区域※		経過年数(主要建物)	19
	浸水エリアの場合の浸水深		身障者用駐車場	-
	洪水ハザードマップ※		車イスでの施設利用	-
	南海トラフ巨大地震津波※		エレベーター	-
特記事項	緊急避難場所		多機能トイレ	-
	避難所		太陽光発電	
		脱炭素	ZEBの種類	

※浜松市防災マップを基に表示。洪水ハザードマップの浸水深は想定最大規模を記載。



項目		2024	2023	2022
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	43	41	41
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	43	41	41
	行政コスト(B-A)	43	41	41
	収支前年比	104.88	100.00	54.67
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	0	0	1,950
BS 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	0	
区分	建設事業費 (千円)	土地取得事 業費(千円)	計	
設置事業費	—	—	—	
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)



近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
18-024	旧龍山北小学校	地域	0.6
02-008	龍山明窓寮教職員住宅	地域	0.7
14-126	佐久間第2分団瀬尻車庫	コミュニティ	0.7
03-023	龍山森林文化会館	地域	0.9
その 他の 分類			

基本情報	リストNo	04-052	施設コード	05226	主管課	産業部観光・シティプロモーション課			
	施設名	瀬尻不動の滝遊歩道			所管課	天竜区・まちづくり推進課			
施設運営分析	関連政策名	魅力ある観光コンテンツ造成による観光誘客の促進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		散策路、遊歩道などの休憩場所として設置							
		主な業務内容	休憩所						
		主な利用者	散策路、遊歩道などの利用者						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		アウトドアブームや自然・健康志向の高まりもあり、当面の需要は確保されていると考える。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		アウトドアブームや自然・健康志向の高まりもあり、当面の需要は確保されていると考える。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2024)			年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—			2024	—	—	—	
		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
		—			2024	—	—	—	
事業②		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
		—			2024	—	—	—	
事業③		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
		—			2024	—	—	—	
事業④		—			2023	0	0	0	
		—			2022	—	—	—	
	—			2024	—	—	—		
利用状況	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	利用時間数(分)/年※	—	—	—	図書貸出冊数/年	—	—	—	
	利用可能時間数(分)/年※	—	—	—	蔵書数	—	—	—	
	施設利用者数/年	—	—	—	入居戸数	—	—	—	
	開館日数/年	—	—	—	全戸数	—	—	—	
	施設定員数	—	—	—	クラス数	—	—	—	
					園児・児童・生徒数	—	—	—	
参考指標	項目	2024	2023	2022	項目	2024	2023	2022	
	行政コスト/面積(円)	1,463	1,395	1,395	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
備考	※2023年度以前の時間数(分)はコマ数にて表示								

品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価→

※50が評価の平均で、●が当施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)

利用状況等による評価→

↑利用状況、前年収支比率等による評価 ← 前年収支比率、施設1人当たりの市食料額等による評価

【品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)】
 A: 建物評価も高く、利用状況、財務状況も平均値より高い
 B: 利用状況、財務状況の評価は高いが、建物状況に課題がある
 C: 建物状況の評価は高いが、利用状況、財務状況に課題がある
 D: 建物状況、利用状況、財務状況全てに課題がある

【供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)】
 E: 利用状況等の評価が高く、財務状況も平均値より高い
 F: 財務状況の評価は高いが、利用状況に課題がある
 G: 利用状況等の評価は高いが、財務状況に課題がある
 H: 利用状況、財務状況全てに課題がある

施設に関する課題等(ハード面から)

課題	屋外にある木造施設のため、年数が経つと木部の腐食や塗装の剥がれが発生する。
対応策	定期的に施設を点検し、計画的な維持修繕をしていく。

今後の方針

見直し方針	方向性	該当	備考欄
	廃止	—	—
	民間移管	—	—
	管理主体変更	—	—
	非保有	—	—
	統廃合	—	—
	複合化	—	—
	広域化	—	—

民活導入

公共性が高く、管理主体となる受け皿等がないため、民間活力の導入は困難である。

個別方針

当面適切な維持管理に努める。施設更新時には、利用状況を踏まえて必要性を検証する。